

一般廃棄物処理基本計画



平成28年2月

岐 南 町

目 次

第1章 計画策定の趣旨

1. 計画の位置づけ	1
2. 計画の対象区域	2
3. 計画で扱う廃棄物の範囲	2
4. 計画の期間	2

第2章 計画策定の背景

1. 社会の動き	3
2. 岐南町の動き	4

第3章 前計画の総括

1. 前計画の目標進捗状況	7
2. 前計画の施策実施状況	9

第4章 ごみ処理の現状

1. ごみ処理の体制	11
2. ごみ処理の実績	16
3. 家庭のごみと資源に関するアンケート結果	21
4. ごみ処理の課題	25

第5章 ごみ処理基本計画

1. 基本理念・基本方針	26
2. 数値目標	27
3. 目標達成のための施策	29
4. ごみの発生量及び処理量の見込み	33
5. ごみ処理に関する基本的事項	39
6. ごみ処理施設整備に関する事項	43
7. その他ごみ処理に関し必要な事項	44

第6章 生活排水処理の現状

1. 生活排水処理の沿革	45
2. 生活排水の処理主体	45
3. 処理体系	46
4. 生活排水処理形態別人口の推移	47
5. し尿及び汚泥の排出状況	48
6. 収集・運搬	48
7. 生活排水処理施設	49
8. 生活排水処理事業の課題	51

第7章 生活排水処理基本計画

1. 基本理念・基本方針	53
2. 生活排水処理の数値目標	53
3. 目標達成のための取り組み	54
4. 生活排水処理の将来予測	55
5. し尿及び浄化槽汚泥の処理計画	58
6. 広報・啓発活動	58

第8章 計画の推進

1. 廃棄物減量等推進協議会	59
2. 地球温暖化への配慮	59
3. 計画の推進と公表	59

資料編

資料1 本町の概況	61
資料2 ごみ量の将来予測	72
資料3 生活排水処理の将来予測	107
資料4 アンケート結果	109
資料5 パブリックコメント	117

第1章 計画策定の趣旨

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第6条第1項の規定により、市町村は、当該市町村の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければなりません。

岐南町(以下、「本町」という。)は、平成24年2月に見直しを行った岐南町一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理編)[平成24年度～28年度](以下、「前計画」という。)により、主にごみの分別・リサイクルの観点からごみの減量施策を計画し、ごみの減量化を図ってきました。

この度、本町の可燃ごみを焼却している岐阜羽島衛生施設組合※(以下、「組合」という。)のごみ処理施設が稼働停止を余儀なくされることに伴い、処理を民間業者委託することに変更するため、計画の見直しを行うとともに、生活排水処理に関する事項を追加し、新たな岐南町一般廃棄物処理基本計画[平成28年度～37年度](以下、「本計画」という。)を策定します。

1. 計画の位置づけ

本計画と関連計画との位置づけを整理すると、図1-1に示すとおりであり、本計画は、本町総合計画で示された将来像を目指すための一般廃棄物分野における計画として、国が示す廃棄物処理の方針や循環型社会形成推進基本法の趣旨に則った計画です。

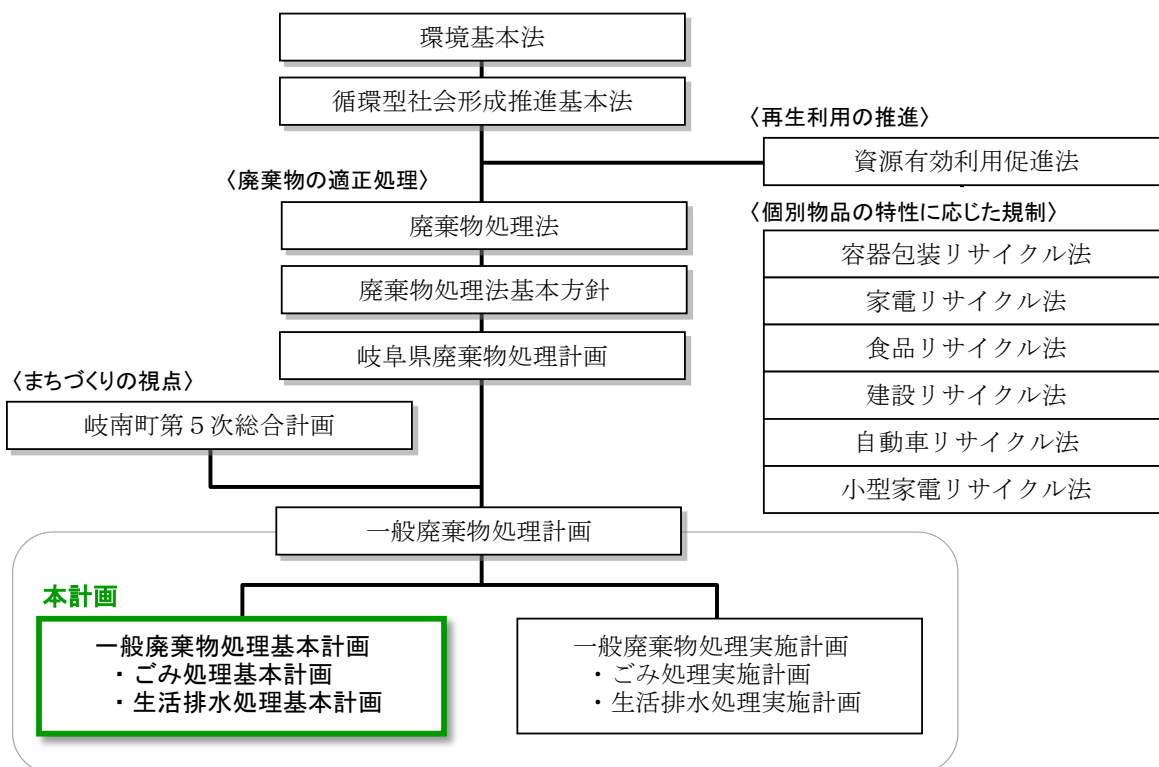


図1-1 計画の位置づけ

※ 岐南町、岐阜市、羽島市、笠松町の2市2町が廃棄物の処理並びに施設の建設及び維持管理等を共同で行うために組織した一部事務組合。

2. 計画の対象区域

本計画の対象区域は、本町全域とします。

3. 計画で扱う廃棄物の範囲

廃棄物の種類と本計画の範囲は、図 1-2 に示すとおりです。

廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に区分され、処理において市町村が統括的な責任を有する一般廃棄物を、本計画の範囲とします。

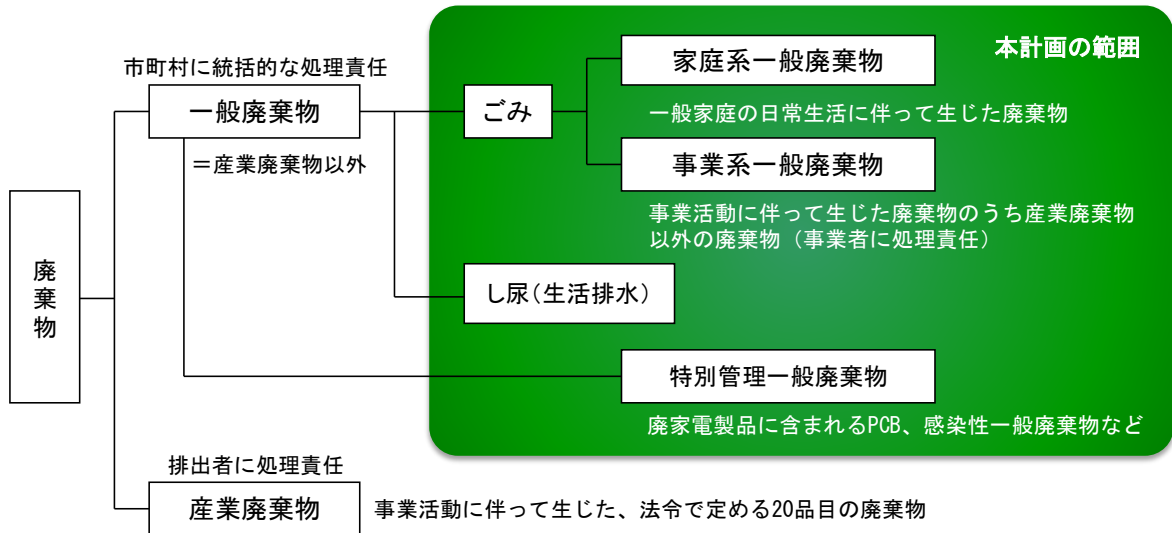


図 1-2 廃棄物の種類と計画の範囲

4. 計画の期間

本計画の期間は、平成 28 年度から平成 37 年度の 10 年間とします。

なお、計画は 5 年ごとに見直すこととしますが、社会経済情勢の変動があった場合や、国や岐阜県における方針の変更等、計画の前提となる諸条件に大きな変更が生じた場合にはその都度見直しを行います。

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
内容・計画期間	H19.3策定																			
	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画					前計画					本計画(10年間)									
						一般廃棄物(ごみ)処理基本計画					一般廃棄物(ごみ・生活排水)処理基本計画									
											岐南町第5次総合計画									
国											廃棄物処理法に基づく基本方針									
県											第2次岐阜県廃棄物処理計画									

図 1-3 計画の期間

第2章 計画策定の背景

1. 社会の動き

大量生産・大量消費型の経済社会活動は、大量廃棄型の社会を形成し、環境保全と健全な物質循環を阻害する側面を持ち、温室効果ガスの排出による地球温暖化問題、天然資源の枯渇、大規模な資源採取による自然破壊など様々な環境問題にも密接に関係しています。

我が国では、これまで、3R の取組進展、個別リサイクル法等の法的基盤の整備とそれに基づく努力、国民の意識の向上等により、資源化率の向上、最終処分量の大幅削減が実現しています。

今後、循環型社会の形成を更に推進していくためには、循環を「量」の側面から捉えて廃棄物の減量化に重きをおく「リサイクル（資源化）」の推進だけでなく、循環を「質」の面からも捉え、環境保全と安心・安全を確保した上で、廃棄物等を貴重な資源やエネルギー源として一層有効活用して資源生産性を高め、枯渇が懸念される天然資源の消費を抑制するという、「リデュース（発生抑制）」「リユース（再使用）」の2Rを優先的に進める新たなステージへの移行が求められています。

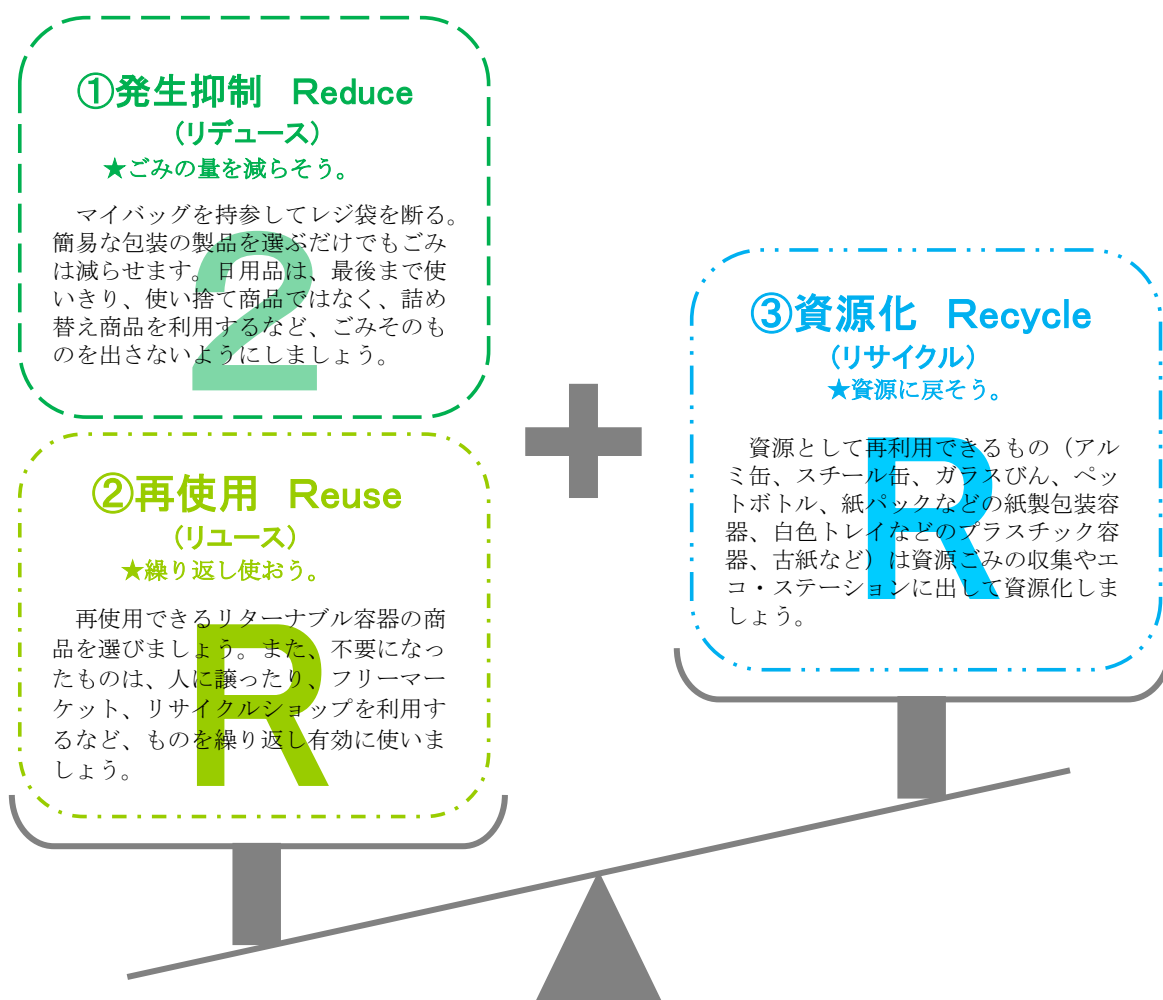


図 2-1 2R（発生抑制・再使用）の推進

2. 岐南町の動き

(1) 廃棄物処理の歴史

① 清掃事業の経緯

本町の清掃事業の経緯を、表 2-1 に示します。

表 2-1 清掃事業等の経緯年表

年度	事業の経緯
昭和 31	10 月 1 日、八剣村と上羽栗村が合併し、岐南町制施行
36	岐阜市、羽島郡 4 町で、岐阜市羽島郡衛生施設組合設立
38	組合のし尿処理施設竣工、し尿の広域処理を開始
40	組合のごみ処理施設竣工、ごみの広域処理を開始
49	岐南町廃棄物の処理及び清掃に関する条例交付
53	下水道事業認可
59	岐南町ごみ減量化に関する助成金制度（コンポスト助成金）開始
平成 4	資源回収奨励金制度開始
5	生活排水対策推進地域に指定
	岐南町を清潔で美しいまちにする条例交付
6	生活排水対策推進計画策定
7	4 月：びん、缶の分別回収開始
	可燃ごみ指定袋制度開始
8	岐南町環境美化監視員発足
9	4 月：ペットボトルの分別回収開始
10	電動生ごみ処理機購入助成金制度開始
13	10 月：プラスチック製容器包装の分別回収開始
14	7 月：紙製容器包装類の分別回収開始
	剪定ごみ粉碎機購入助成金制度開始
	羽島市加入により組合名称を、岐阜羽島衛生施設組合に改称
18	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定
20	エコ・ステーション開設
	レジ袋有料化開始
22	4 月：緑ごみの分別回収開始
	ダンボールコンポスト購入助成金制度開始
	資源回収奨励金制度廃止
23	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画見直し
	災害廃棄物処理計画策定
24	廃棄物減量等推進協議会発足
	生活排水対策推進計画改訂
27	9 月：モデル地区で雑がみの分別回収開始
	3 月：組合のごみ処理施設停止
	一般廃棄物（ごみ・生活排水）処理基本計画策定

② ごみ排出量の推移

過去 14 年間における本町のごみ排出量は、平成 15 年度にピークを迎え、平成 19 年度以降は減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降は微増しています。

ピーク時の平成 15 年度と比較すると、平成 26 年度のごみ排出量は約 20%減少し 9,000 トンを下回っています。

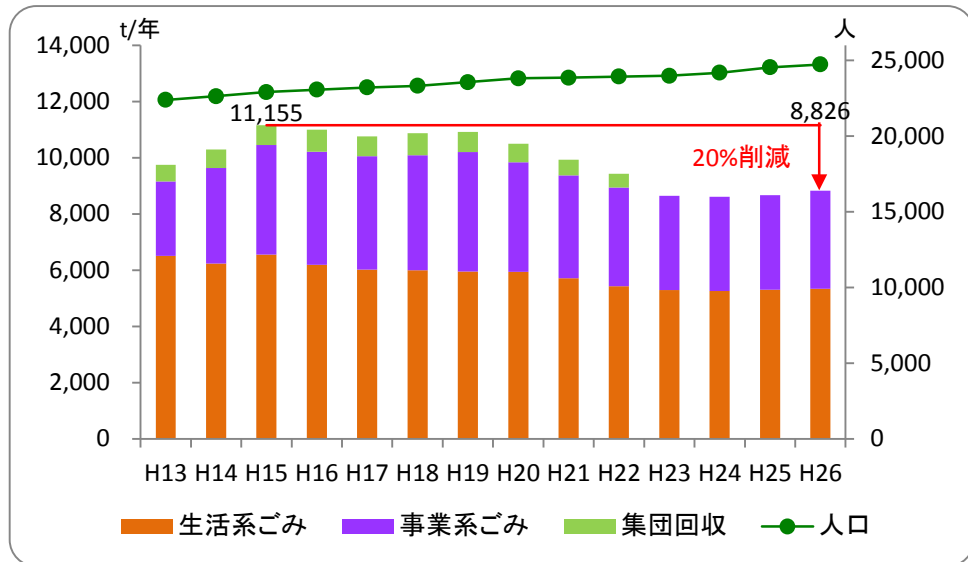


図 2-2 ごみ排出量の推移

③ 生活排水処理率の推移

過去 7 年間における本町の生活排水処理率[※]は、公共下水道人口の増加に伴い上昇しています。

平成 20 年度と比較すると平成 26 年度の生活排水処理率は、7.6%増加しています。

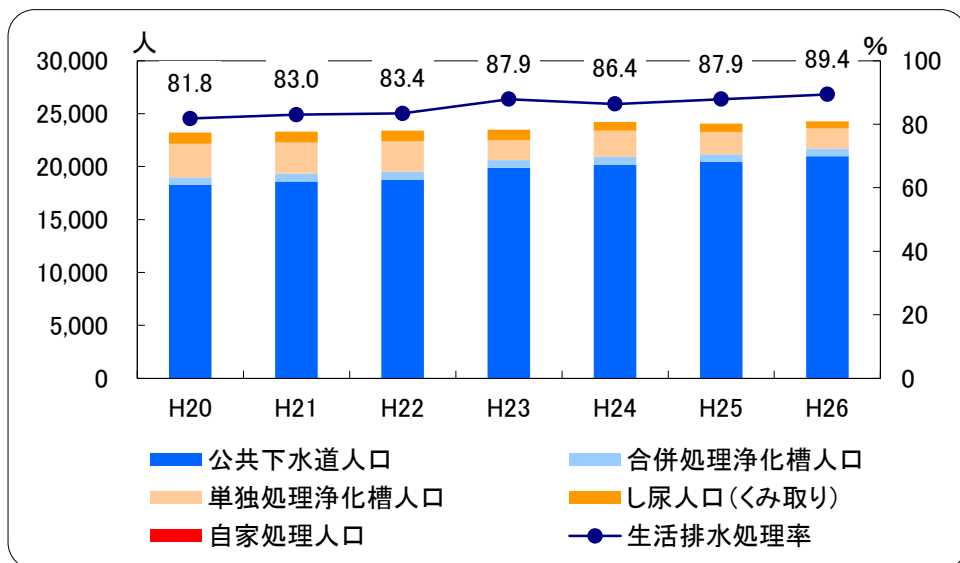


図 2-3 生活排水処理率の推移

※ 生活排水処理率：総人口に対して、公共下水道及び合併処理浄化槽を使用している人口の割合

(2) ごみ処理の評価

本町のごみ処理の状況（平成 26 年度実績）を、表 2-2 に示す 7 つの項目について岐阜県の平均値（平成 25 年度実績）と比較し、指数により評価しました。

図 2-4 は、岐阜県平均を 100 とした時の本町の評価値[※]の比率を表しており、100 よりも大きな値であると高評価になることから、レーダーチャートの七角形が大きいほど、ごみ処理が優れていることを表します。

本町の評価値は、家庭系可燃ごみ排出量を除き基準値 100 を下回り、低い評価となっています。特に「家庭系不燃・粗大ごみ排出量」と、「家庭系資源ごみ排出量」の項目が低くなっています。

表 2-2 7 つの評価項目及び評価値

評価項目	単位	岐南町	岐阜県	評価値
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	978	928	94.6
家庭系可燃ごみ排出量	g/人・日	452	482	106.0
家庭系不燃・粗大ごみ排出量	g/人・日	73	47	46.1
家庭系資源ごみ排出量	g/人・日	61	141	43.1
リサイクル率	%	10.8	19.7	54.8
最終処分率	%	10.4	8.3	74.7
1人あたり処理費用	円/人	15,366	12,414	76.2

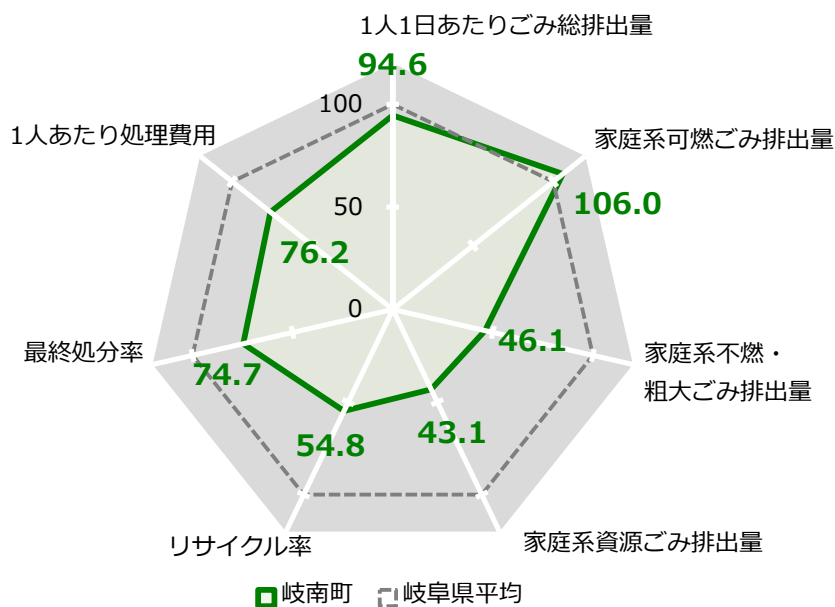


図 2-4 本町のごみ処理の評価（岐阜県平均との比較）

※ 評価値は『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』（平成 25 年 4 月・環境省）により算出しました。

第3章 前計画の総括

1. 前計画の目標進捗状況

前計画で数値目標を定めた、ごみ総排出量、再生利用率、及び最終処分量の目標進捗状況は、表 3-1 及び図 3-1～図 3-3 に示すとおりです。

ごみ総排出量は、目標値を下回っていますがやや増加傾向で推移しています。

再生利用率、最終処分量の目標値は、新たなごみ処理施設の稼働を前提にした目標値であるため、達成が困難な状況です。

なお、民間企業による古紙等の資源回収拡大に伴う資源ごみの減少により、再生利用率は減少傾向が続いていますが、聞き取り調査による民間回収量を加えた平成 26 年度の再生利用率は、20.5%となっています。

表 3-1 目標進捗状況

項目	基準値	実績値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 28 年度)
ごみ総排出量	9,930 t (平成 21 年度)	8,826 t (11.1%削減)	9,004 t (9.3%削減)
再生利用率	17.6% (平成 22 年度)	10.8% (6.8%減少)	23.6% ^{注)} (6%増加)
最終処分量	941 t (平成 22 年度)	918 t (23t 削減)	805 t ^{注)} (189t 削減)

注) 再生利用率、最終処分量の目標値は、新たなごみ処理施設の稼働を前提としていました。

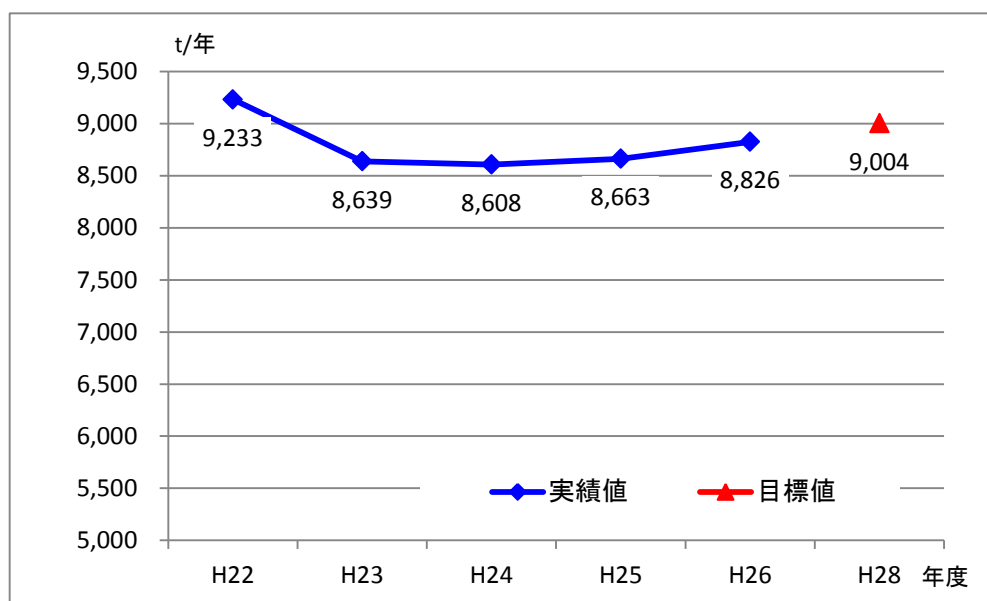


図 3-1 ごみ総排出量の目標進捗状況

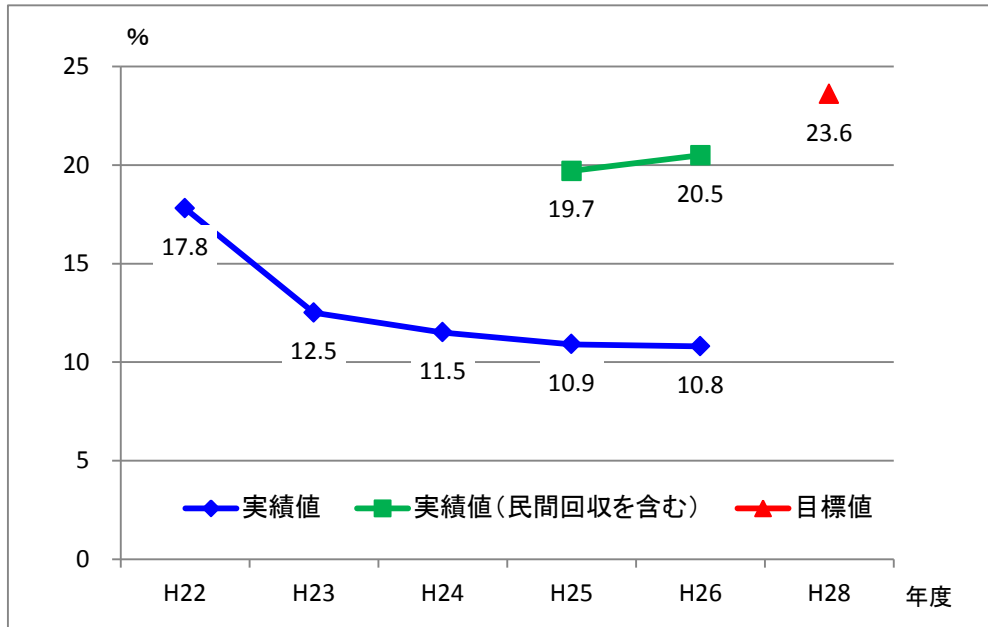


図 3-2 再生利用率の目標進捗状況

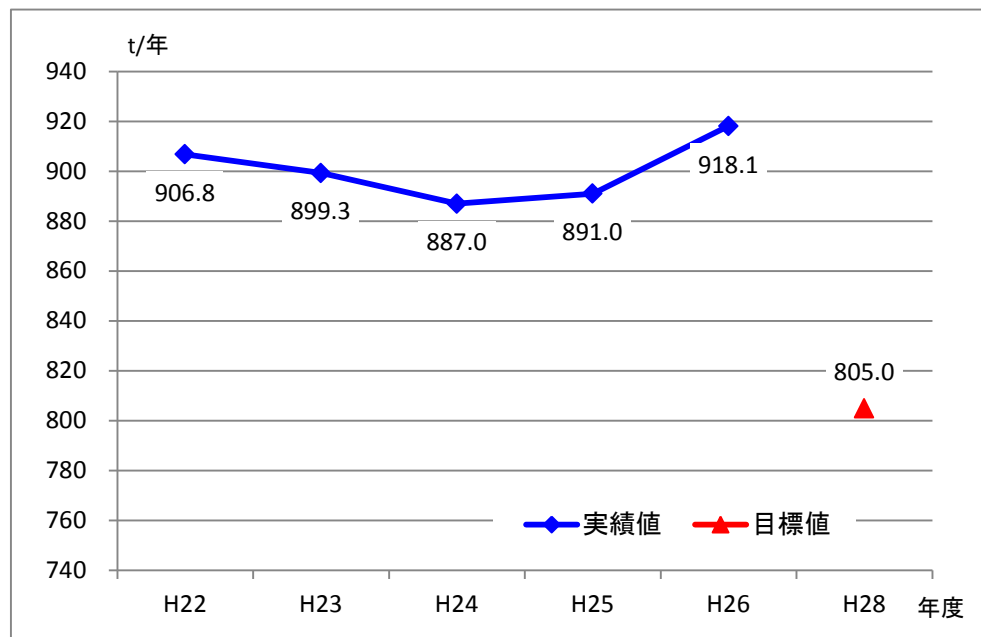


図 3-3 最終処分量の目標進捗状況

2. 前計画の施策実施状況

前計画に示された施策の実施状況は、表 3-2 に示すとおりです。

表 3-2 前計画に示された施策の実施状況

内 容	実施状況	評価
生ごみ水切りの徹底	平成 27 年度に水切り器を全小学校児童に配布	○
生ごみ堆肥化処理装置の助成金交付	平成 22 年度にダンボールコンポスト購入助成金を追加	○
レジ袋削減・有料化	平成 20 年度から実施	○
ごみ袋有料化の検討	検討中	○
ごみ袋利用の適正化推進	指定袋が大きくなるほど割高になる料金設定になっていない。	×
エコ・ステーションの設置	平成 20 年度に運用開始	○
資源化可能なごみについて分別区分変更の検討	平成 22 年 4 月から緑ごみの収集開始、平成 27 年 9 月からモデル地区で雑がみの収集開始	○
ポスターでの啓発、標語募集、作文コンクール	未実施	×
清掃活動による表彰	環境美化活動者及び企業を対象に実施	○
環境学習の充実（空きカン回収などの体験学習、ごみ処理施設見学会）	小学 4 年生を対象に出張授業を実施	○
環境に配慮した適正な収集運搬体制（収集運搬体制の見直し、ステーションの管理、不法投棄の防止）	平成 22 年より監視カメラを設置(5 台)	△
災害廃棄物処理計画の策定	平成 23 年度に策定	○
廃棄物減量等推進協議会の設置	平成 24 年度に設置	○

※ 評価欄記号の説明 ○⇒実施済 ・ △⇒一部実施済 ・ ×⇒未実施

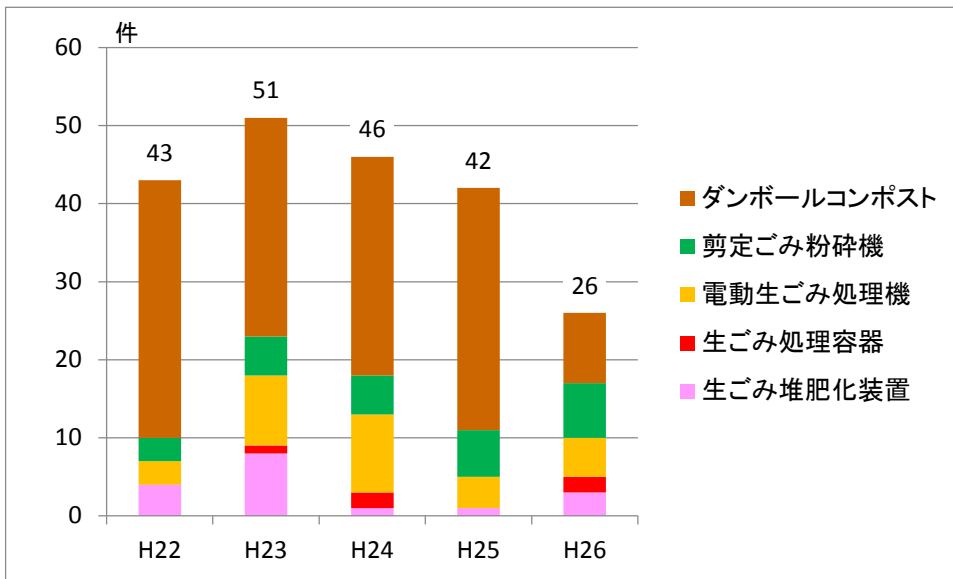


図 3-4 ごみ減量化に関する助成金交付実績



全小学生に配布した水切り器（平成 27 年度）



監視カメラ設置状況（宮町南自治会・平成 27 年 12 月 24 日撮影）

第4章 ごみ処理の現状

1. ごみ処理の体制

(1) ごみ区分の定義

本町及び組合が受け入れているごみは、その排出源によって「家庭ごみ（家庭系一般廃棄物）」と「事業系ごみ（事業系一般廃棄物）」に大別されます。

さらに、家庭ごみは、品目によって「可燃ごみ」「不燃ごみ」「燃える大型ごみ」「リサイクル資源」の4つに区分され、そのうちリサイクル資源を除く処理処分を必要とするごみを「家庭系ごみ」と区分します。

また、地域の各種団体が行う集団回収、民間事業者による古紙回収、食品トレイ、インクカートリッジ等の店頭回収、家電リサイクル法やパソコンリサイクル法等に基づく家電製品等のメーカー回収が行われています。

なお、笠松競馬場及び厩舎等から発生する馬ふんは、事業系ごみとして町外の堆肥化施設で資源化されていますが、本計画で量の把握は行いません。

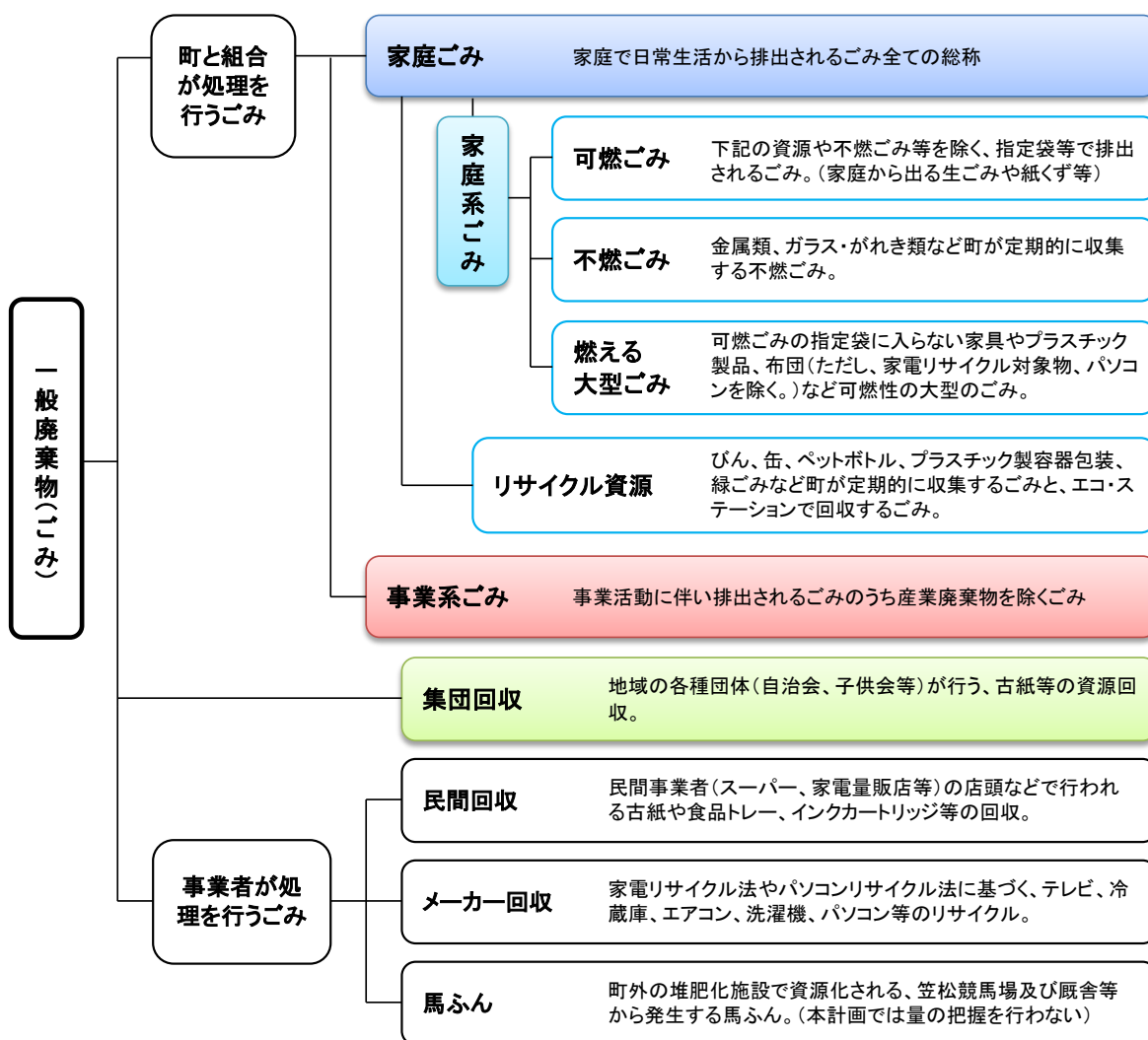


図 4-1 ごみの区分

(2) 分別区分

本町における家庭系ごみの分別区分は、表 4-1 に示すとおりです。
 なお、平成 27 年 9 月から、モデル地区で雑がみの分別回収を実施しています。

表 4-1 分別区分（平成 27 年度）

ごみの種類		内 容
可燃ごみ		台所ごみ（残飯等）、食用油、靴、小物類、紙おむつ等
不燃ごみ（金属類）		傘、自転車、小型電化製品、乾電池、ナベ、フライパン等
不燃ごみ（ガラス・がれき類）		陶器類：茶碗、皿、植木鉢等 ガラス類：グラス、電球、ガラス製食器等
燃える大型ごみ		木製品類：タンス、木製机、ソファ等 プラスチック製品類：玩具、ビデオテープ、カセットテープ等 その他：毛布、布団、カーペット、カーテン等
リサイクル資源	びん類	無色透明、茶色、その他の色に分別
	缶類	スチール缶、アルミ缶に分別
	ペットボトル	飲料用ペットボトル
	プラスチック製容器包装	プラスチック製容器包装マークの付いた、ケース、パック、カップ、袋、ボトル、チューブ等
	トレイ・発泡スチロール	食品用白色トレイ、発泡スチロール
	紙・古着類	新聞、チラシ、雑誌、ダンボール、ボール紙、衣類、牛乳パックに分類
	紙製容器包装	紙製容器包装マークの付いた、紙箱、包装紙、紙袋、台紙等
	緑ごみ	剪定枝、葉、草、竹、切り株、わら、もみがら
	小型家電	携帯電話、デジタルカメラ、携帯型ゲーム機
収集できないごみ		危険なごみ：タイヤ、オイル・塗料、LPG ボンベ、消火器、オートバイ、劇薬・農薬、バッテリー 事業活動に伴うごみ 引っ越しや改築など一時的に排出されるごみ

注) 平成 27 年 9 月からモデル地区で雑がみの分別収集を実施。

(3) ごみ処理フロー

平成 27 年度における本町のごみ処理フローは、図 4-2 に示すとおりです。

なお、本町では小中学校の PTA が自主的に集団回収を行っています。平成 22 年度以降は奨励金による助成を行っていないため、集団回収量の把握は行っていません。

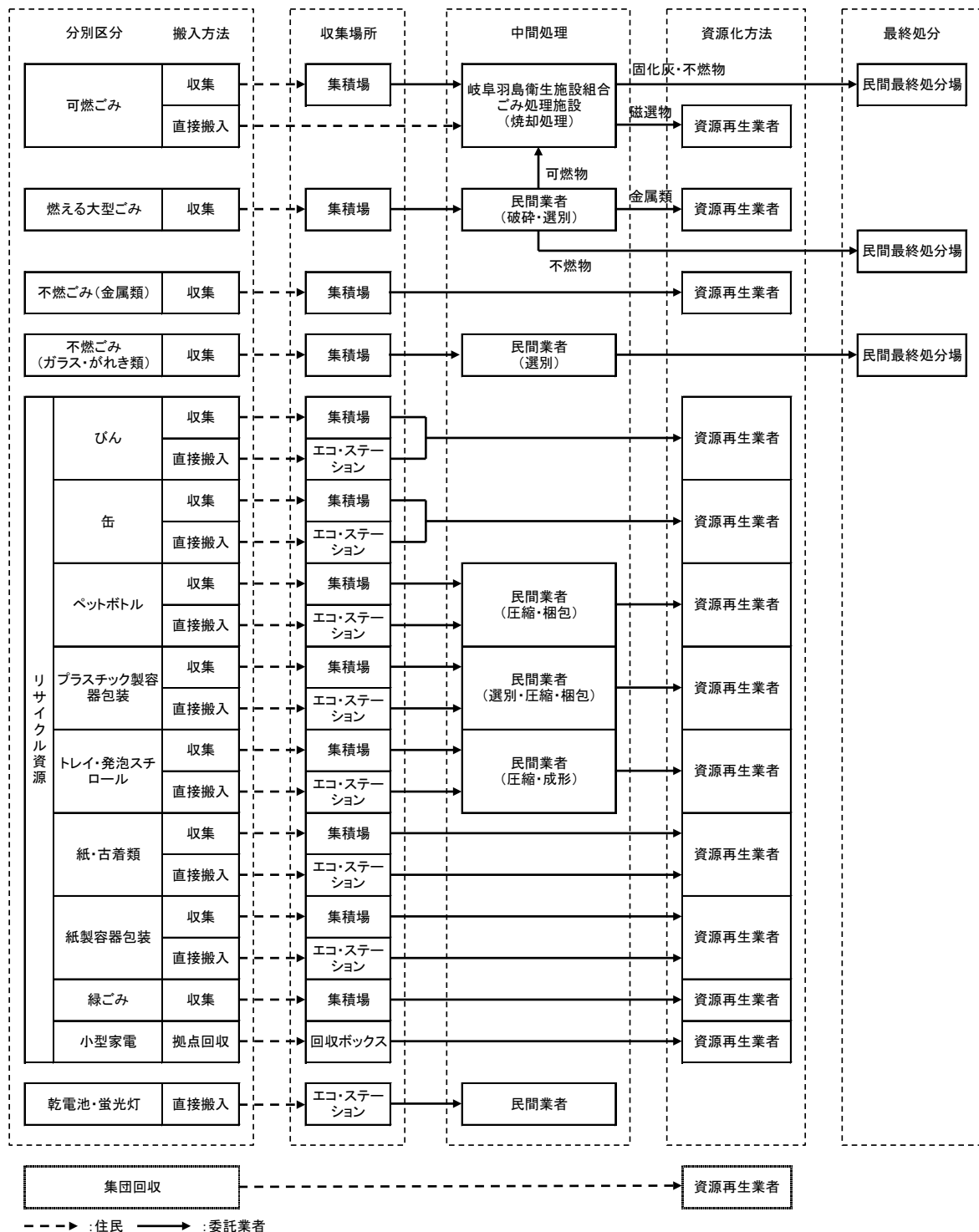


図 4-2 ごみ処理フロー (平成 27 年度)

(4) 収集・運搬

本町における家庭系ごみの収集・運搬体制は、表 4-2 に示すとおりです。

家庭から出る資源を直接持ち込めることのできる施設として、エコ・ステーションを開設しています。

事業系ごみの収集・運搬は、許可業者もしくは事業者自ら行います。

表 4-2 収集・運搬体制（平成 27 年度）

ごみの種類		収集形態	収集方法	収集回数	収集容器
可燃ごみ		委託	ステーション回収	週 2 回	指定袋
不燃ごみ（金属類）				隔月	-
不燃ごみ（ガラス・がれき類）					
燃える大型ごみ					
リサイクル資源	びん類			月 1 回	コンテナ
	缶類				
	ペットボトル			月 2 回	網カゴ
	プラスチック製容器包装				
	トレイ・発泡スチロール			月 1 回	-
	紙・古着類				網カゴ
	紙製容器包装	-			
	緑ごみ	-			
小型家電	拠点回収		随時	ボックス	

表 4-3 エコ・ステーションの概要

項目	内容
名称	エコ・ステーション
所在地	羽島郡岐南町平成 6-110
開設日時	月曜日～土曜日（祝日を含む、年末年始は休み） 午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分
回収品目	びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、トレイ・発泡スチロール、紙・古着類、紙製容器包装、乾電池、蛍光管、廃食用油、ペットボトルキャップ、小型家電

(5) 中間処理

本町の可燃ごみは、組合のごみ処理施設において、焼却処理が行われています。

不燃ごみ及び燃える大型ごみについては、民間業者の中間処理施設で破碎・選別後、焼却処理、資源化、最終処分が行われています。

リサイクル資源のうち、ペットボトル、プラスチック製容器包装、トレイ・発泡スチロールは民間業者の施設で中間処理後に資源再生業者へ、その他は直接資源再生業者に引き渡され、資源化されています。

表 4-4 岐阜羽島衛生施設組合ごみ処理施設の概要

項目	内容
名称	岐阜羽島衛生施設組合 ごみ処理施設
所在地	岐阜市境川 5 丁目 147 番地
面積	敷地面積：6,200m ² 建築面積：工場棟・管理棟 1,821m ²
処理能力	180t/日 (60t/24h×3 炉)
処理対象物	可燃ごみ
処理方式	全連続燃焼式焼却炉 (流動床式)
運転管理	直営・委託
建設年度	平成 7 年 3 月竣工

(6) 最終処分

本町は、最終処分場を有していません。このため、可燃ごみについては、岐阜羽島衛生施設組合による中間処理後、本町割り当て分について民間の最終処分場に処分を委託しています。

不燃ごみ (ガラス・がれき類) については、民間の処理業者に最終処分を委託しています。

2. ごみ処理の実績

(1) ごみ排出区分の定義

本計画におけるごみに関する用語の定義は、図 4-3 に示すとおりとします。

本計画では、住民及び事業者等によって排出される全ての不用物の量を「ごみ発生量」とします。

しかし、潜在ごみである事業者独自の資源回収・処理や民間事業者による資源の回収、住民による自家処理（生ごみの減量化等）によって資源回収等がなされているもの等については、実数として捉えることが困難なことから、これを除いたものを「ごみ総排出量」とします。

次に、「ごみ総排出量」から、本町のごみ処理施設等で処理を行わない集団回収によって集められた資源を除いたものを「ごみ排出量」とします。

「ごみ排出量」のうち、本町の家庭から排出されたものを「生活系ごみ」、事業所や公共施設から排出されたごみを事業系ごみとし、生活系ごみのうちリサイクル資源と資源集団回収で集められた資源を除いた可燃ごみや燃える大型ごみ等の処理・処分を必要なごみを「家庭系ごみ」とします。

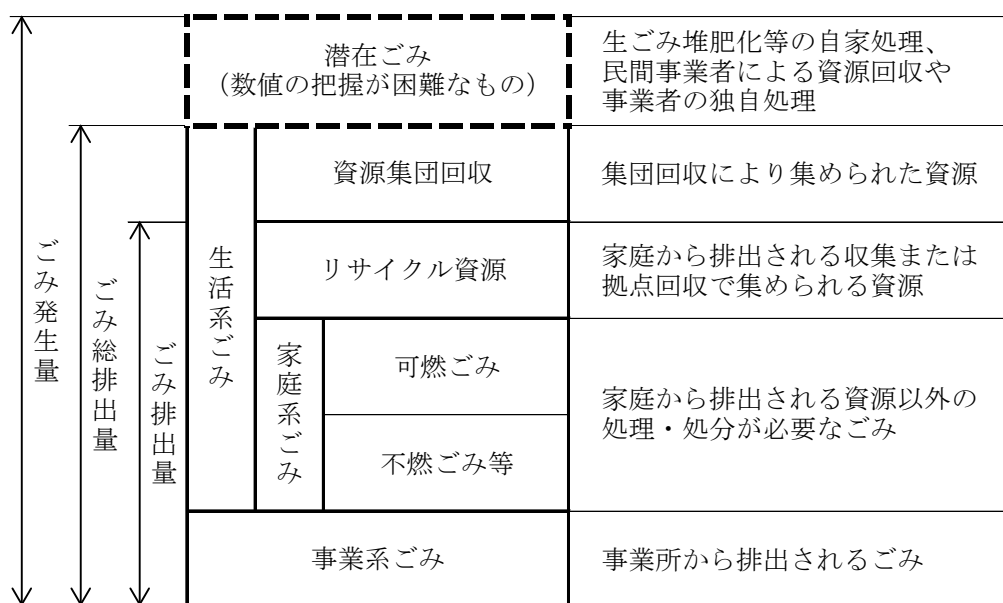


図 4-3 ごみ排出区分の定義

(2) ごみ総排出量及び1人1日あたりごみ総排出量

本町における過去5年間のごみ総排出量及び1人1日あたりごみ総排出量*の推移は、表4-5及び図4-4に示すとおりです。

平成23年度以降、1人1日あたりごみ総排出量は横ばいですが、1人1日あたり家庭系ごみ排出量はやや増加傾向です。

表4-5 ごみ総排出量の推移

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26
人口（年度末人口）	人	23,931	23,981	24,183	24,539	24,729
ごみ総排出量	t	9,234	8,639	8,608	8,663	8,826
可燃ごみ	t	7,045	7,035	7,088	7,202	7,336
不燃ごみ	t	333	311	290	283	278
燃える大型ごみ	t	385	365	363	363	378
資源ごみ	t	980	925	864	812	831
有害ごみ	t	3	3	3	3	3
集団回収量	t	488	0	0	0	0
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	1,057	984	975	967	978
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	509	517	519	522	526

注) エコ・ステーションで集められた蛍光灯及び乾電池を「有害ごみ」と区分しています。

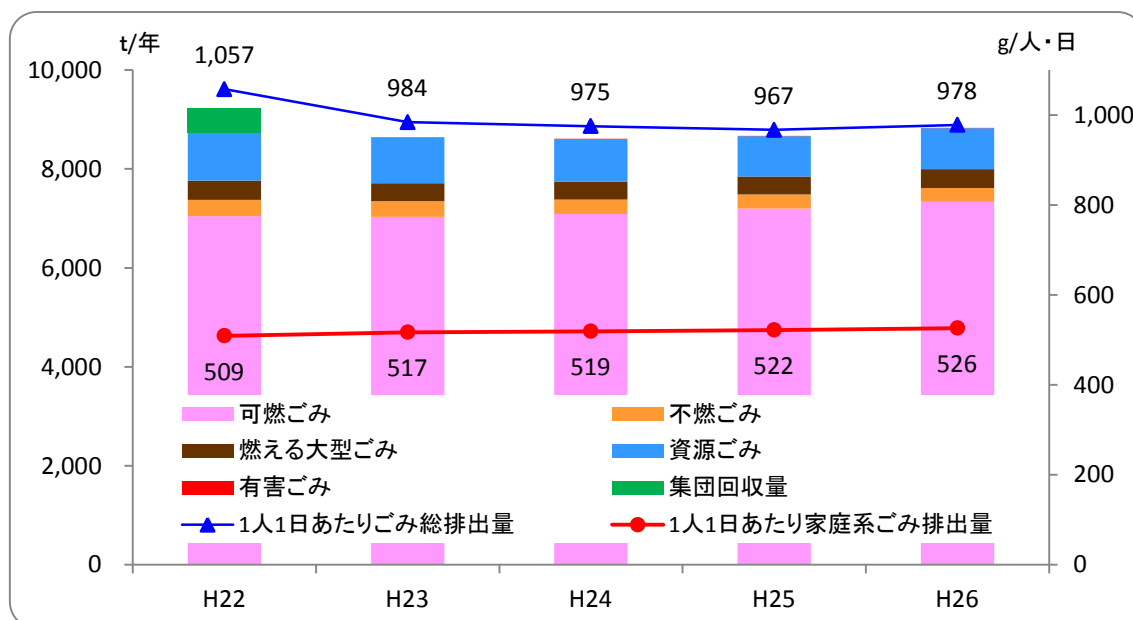


図4-4 ごみ総排出量の推移

*1 1人1日あたりごみ総排出量=ごみ総排出量÷人口÷年間日数

(3) 再生利用率

本町における過去5年間の資源化量及び再生利用率^{※1}の推移は、表4-6及び図4-5に示すとおりです。

資源ごみ量の減少に伴い、再生利用率は減少傾向であり、平成26年度は10.8%となっています。

なお、本町が町内に古紙等の回収ボックスを設置している資源再生業者^{※2}から、任意で聞き取りを行い把握した民間事業者による資源回収量を加えた平成26年度の再生利用率は、20.5%でした。

表4-6 資源化の推移

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26
ごみ総排出量	t	9,234	8,639	8,608	8,663	8,826
総資源化量	t	1,642	1,081	994	942	950
資源ごみ量（収集＋直接搬入）	t	980	925	864	812	831
不燃ごみ（金属類）	t	154	136	111	111	101
集団回収量	t	488	0	0	0	0
焼却処理による資源化量	t	20	20	19	19	18
再生利用率	%	17.8	12.5	11.5	10.9	10.8
民間回収量	t	0	0	0	949	1,080
再生利用率（民間回収を含む）	%	0.0	0.0	0.0	19.7	20.5

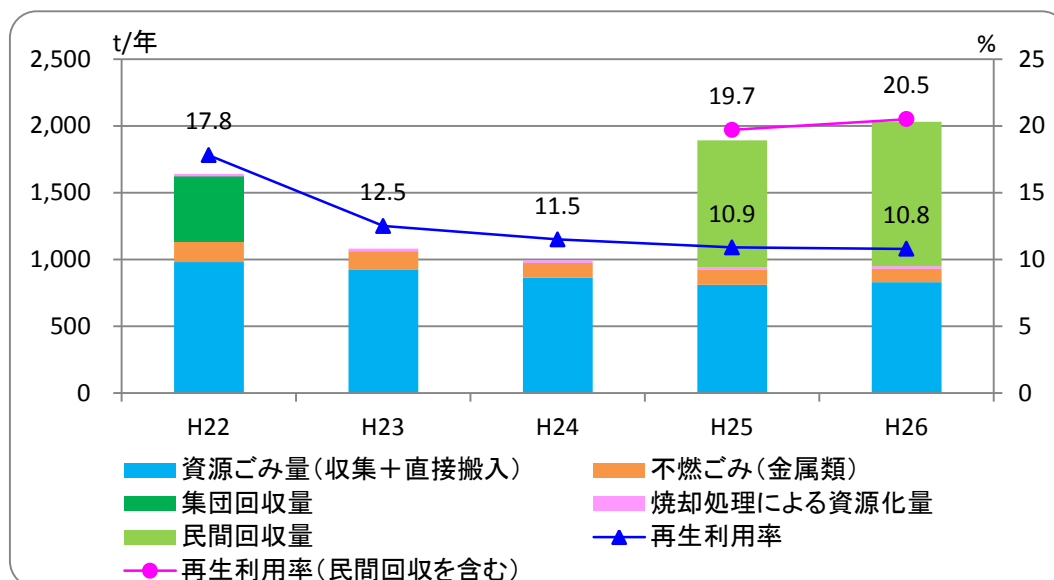


図4-5 資源化の推移

※1 再生利用率＝総資源化量（資源ごみ＋集団回収量＋焼却処理による資源化量）÷ごみ総排出量

※2 平成26年度は、5業者・8ヶ所の回収量に対し、資源再生業者から回答がありました。

(4) 最終処分量

本町における過去 5 年間の最終処分量及び最終処分率[※]の推移は、表 4-7 及び図 4-6 に示すとおりです。

過去 5 年間の実績は、概ね横ばいです。

表 4-7 最終処分の推移

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26
ごみ総排出量	t	9,234	8,639	8,608	8,663	8,826
最終処分量	t	907	899	887	891	919
不燃ごみ（ガラス類・がれき類）	t	179	174	179	172	178
焼却処理による最終処分量	t	728	725	708	719	741
最終処分率	%	9.8	10.4	10.3	10.3	10.4

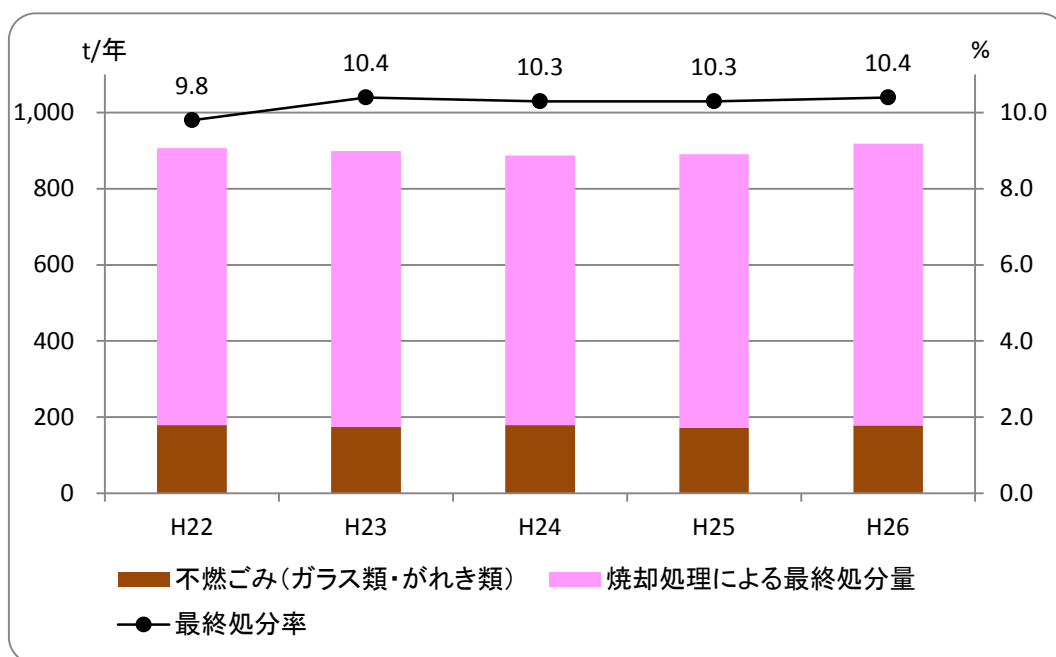


図 4-6 最終処分の推移

※ 最終処分率=最終処分量（不燃ごみ（ガラス・がれき類）+焼却処理による最終処分量）÷ごみ総排出量

(5) 事業系ごみ排出量

本町における過去5年間の事業系ごみ排出量の推移は、表4-8及び図4-7に示すとおりです。

1日あたり事業系ごみ排出量の実績は、概ね横ばいです。

表4-8 事業系ごみ排出量の推移

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26
生活系ごみ	t	5,915	5,461	5,442	5,483	5,579
事業系ごみ	t	3,318	3,177	3,166	3,180	3,248
1日あたり事業系ごみ量	t/日	9.1	8.7	8.7	8.7	8.9

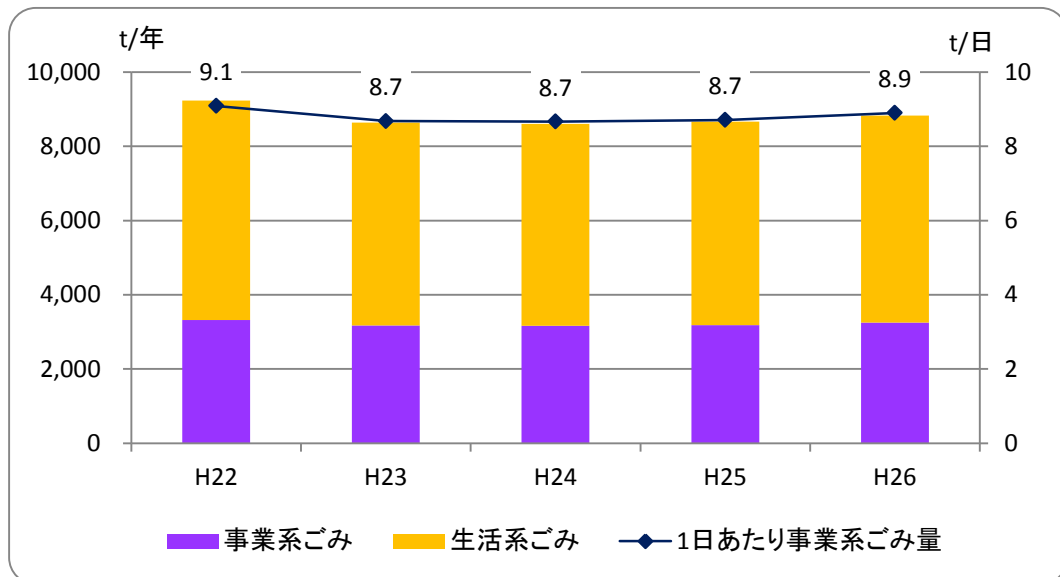


図4-7 事業系ごみ排出量の推移

3. 家庭のごみと資源に関するアンケート結果

一般廃棄物処理基本計画策定にあたり、住民満足度を把握するとともに、ごみ出しの状況やごみに対する考えを把握し、計画策定のための資料とすることを目的とし、アンケート調査を実施しました。

(1) 調査の概要

調査の概要は、以下に示すとおりです。

調査対象：住民基本台帳から 20 歳以上 1,000 件を無作為抽出

調査方法：郵送による送付・回収

実施期間：平成 27 年 5 月 29 日（送付日）～6 月 15 日（調査票回収期限）

回収状況：回収数 428 通、回収率 42.8%

(2) 調査結果（抜粋）

後述するごみ処理の課題に関するアンケート結果は、以下に示すとおりです。

問 2：あなたの世帯の人数を教えてください。

60 代及び 70 代の半数以上が、一人暮らしもしくは二人暮らしであり、高齢者のみの世帯が多いと推測されます。

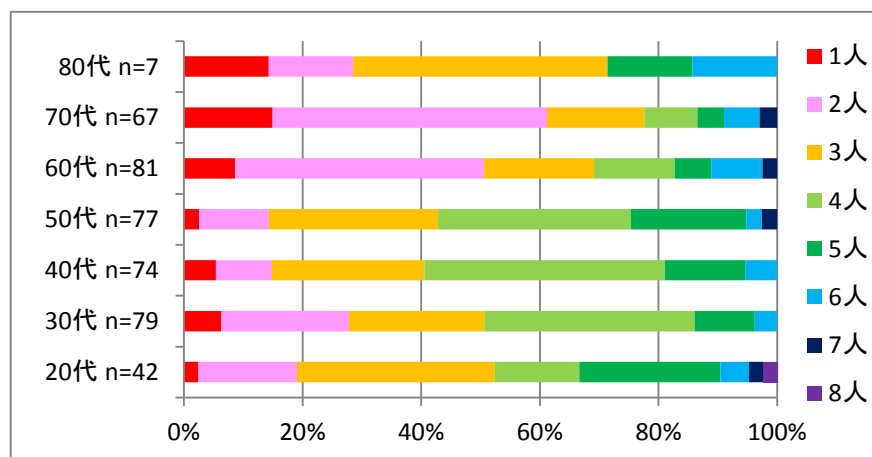


図 4-8 年代別世帯の人数※

※ 図中の「n=」の値は母数を示します。

問 8 : あなたはごみの出し方で困ったことがありますか？

約 3 割の方が、ごみの出し方で困ったことがあると回答しています。年代別に見ると、30 代、40 代、50 代は約 4 割の方が困ったことがあると回答しています。

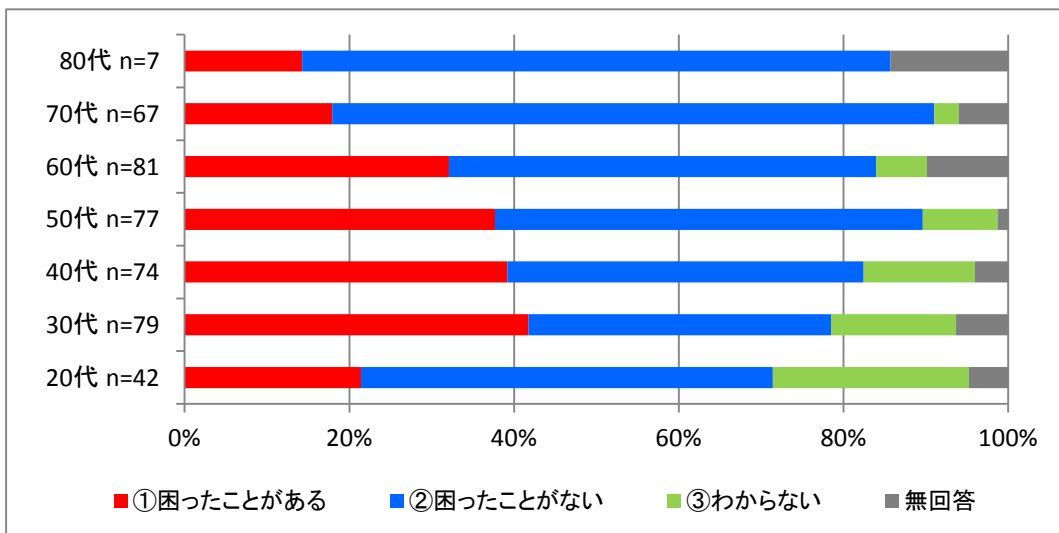


図 4-9 問 8 年代別クロス集計結果 ※

表 4-9 ごみの出し方で困ったことのある内容

内 容	件数	割合
分別方法	62	14.5 %
収集場所が遠い	16	3.7 %
資源など収集回数が少ない	16	3.7 %
7 時～9 時の収集時間に出せない	13	3.0 %
カラスの被害	9	2.1 %
ルールが守られずにごみが集積場に出される	8	1.9 %
町外の方がごみを出しに来る	2	0.5 %

※ 図中の「n=」の値は母数を示します。

問 15 あなたが行ったことのある再利用（リユース）の取り組みはどれですか？

最も盛んなリユースの取り組みは、リサイクルショップの利用です。

マイタウンぎなんの紙上フリーマーケットは、出品も購入も1%程度の利用であり、リサイクルショップやインターネットオークションでの再利用が一般的であることから、その役割は終えていると考えられます。

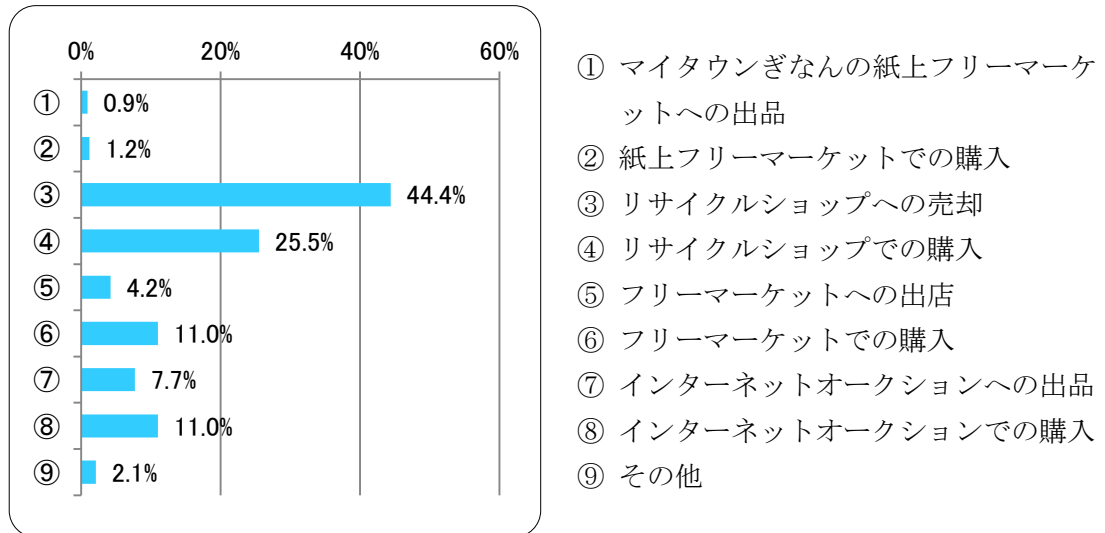


図 4-10 再利用（リユース）の取り組み内容

（3）住民満足度

『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』に示されているアンケート調査項目について、回答の総合得点により住民満足度指数を算出し、評価を行いました。

① 集計方法

- ・ 「満足している」5点、「やや満足している」4点、「やや不満である」2点、「不満である」を1点として設問毎に回答の平均得点を算出しました。「わからない」及び無回答は有効回答数に加えません。（平均得点を算出する際の有効回答者数に加えない）平均得点が3.0点以上となれば、よく評価していると判断できます。
- ・ 設問毎に平均得点を算出します。（得点の合計÷有効回答者数）なお、それぞれの平均得点が住民満足度に関する補足指標となります。
- ・ 設問毎の平均得点の平均値を算出し、住民満足度の総合評価とします。
- ・ 「わからない」及び「無回答」は回収数に対する割合を算出することにより、住民の認知度を測る指標として活用できます。

② 集計結果

アンケート調査の結果、4問の平均得点による総合評価は3.9点となり、平均3点を上回りました。

しかしながら、問17及び問18の3Rの取り組みや情報公開については、「分からない」及び「無回答」の有効回答数に対する割合は、それぞれ31.8%、36.7%と非常に高くなっており、町からの発信が十分でなく認知度が低くなっています。住民の皆様にとってより一層わかりやすい情報の提供方法を検討する必要があります。

【設問】

問5：ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？

問17：3R（ごみ減量・再使用・リサイクル）への取り組みに満足していますか？

問18：ごみ処理や3R（ごみ減量・再使用・リサイクル）の情報公開や提供に満足していますか？

問19：街の清潔さに関して、あなたは満足していますか？

表 4-10 回答結果

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	総回答数	有効回答数	得点	平均点
問5	189	104	72	26	18	409	391	1,531	3.9
問17	99	155	27	11	119	411	292	1,180	4.0
問18	78	134	41	18	139	410	271	1,026	3.8
問19	100	196	70	21	36	423	387	1,445	3.7
総合評価									3.9

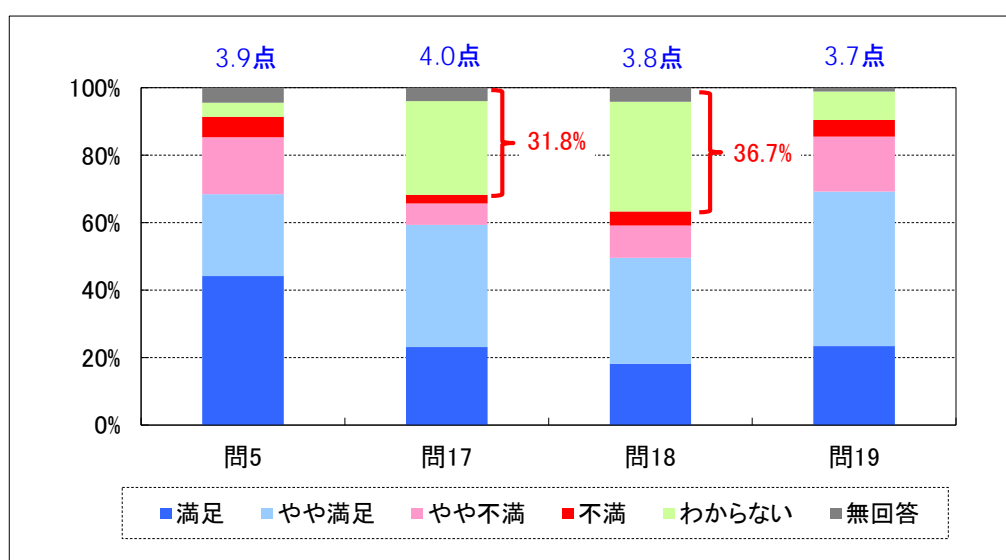


図 4-11 住民満足度指標

4. ごみ処理の課題

本町におけるごみ処理の課題は、以下に示すとおりです。

表 4-11 ごみ処理の課題

項目	現状・課題
目標値	再生利用率、最終処分量の目標値が大幅に下回っています。
ごみ排出量	1人1日あたりごみ総排出量が岐阜県平均を下回り、特に不燃ごみ・粗大ごみの量が約1.5倍も多くなっています。
	ごみ総排出量は県平均を上回っているが、家庭系可燃ごみの量は県平均を下回っていることから、事業系ごみが多いと推測されます。
	資源ごみの排出量が県平均より少なく、リサイクル率も低くなっています。
アンケート	60代、70代の半数以上が高齢者のみの世帯と推測されます。
	分別について困っている人が全回答者の約15%います。
	びん、缶、ペットボトルの収集回数に不満を感じている人が全回答者の約15%います。
	紙上フリーマーケットの利用者が極めて少なくなっています。
	住民満足度は平均3を上回る3.9点であるものの、3Rの取り組みや情報公開に対する認知度が低くなっています。
ごみ処理	燃える大型ごみの収集前夜に、大量に不適正排出（不法投棄）される集積場が複数あります。
	可燃ごみ以外のステーションが自治会ごとに1箇所となっているため少なく、中には国道や線路（高架）を越えて運ばなければいけない地区があります。
	可燃ごみの処理を委託している組合のごみ処理施設が平成28年3月で停止するため、県外の民間業者に委託先を切り替える必要があります。
前計画の施策	可燃ごみ処理手数料の見直しを実施されていません。
	可燃ごみ指定袋の1Lあたり料金が、大（45L）よりも小（30L）が高いため、経済的な動機付けにより小さなごみ袋を選ぶような、ごみ袋利用の適正化推進の施策が実施されていません。
	ポスターでの啓発、標語募集、作文コンクールが実施されていません。

第5章 ごみ処理基本計画

1. 基本理念・基本方針

平成28年3月末に組合のごみ処理施設が稼働停止し、次期ごみ処理施設が完成するまでの間、組合を構成する各市町は、各々の責任でごみ処理を行う必要があります。

このため、この先の10年間は本町では可燃ごみの処理を県外の民間業者に委託しますが、組合管内から出たごみは組合管内で責任を持って処理するというのが本来の姿であり、次期ごみ処理施設の建設が必要不可欠なことに変わりはありません。

今後も次期ごみ処理施設の建設に向けて、本町、組合、構成市町が一丸となって進めるとともに、第5次総合計画に示された「安全で快適に暮らせるまちづくり」を実現するため、リサイクル（ごみの資源化）に比べ取り組みが遅れている2R「リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（ものの再使用）」の取り組みを積極的に進め、資源循環型の社会システムの構築を目的として、基本理念に「うるおいとやすらぎを実感できる資源循環型のまち」を掲げます。

基本理念のもと、「発生抑制」「資源化」「適正処理」の3つの基本方針により、4つの施策と19の取り組みを実施していきます。

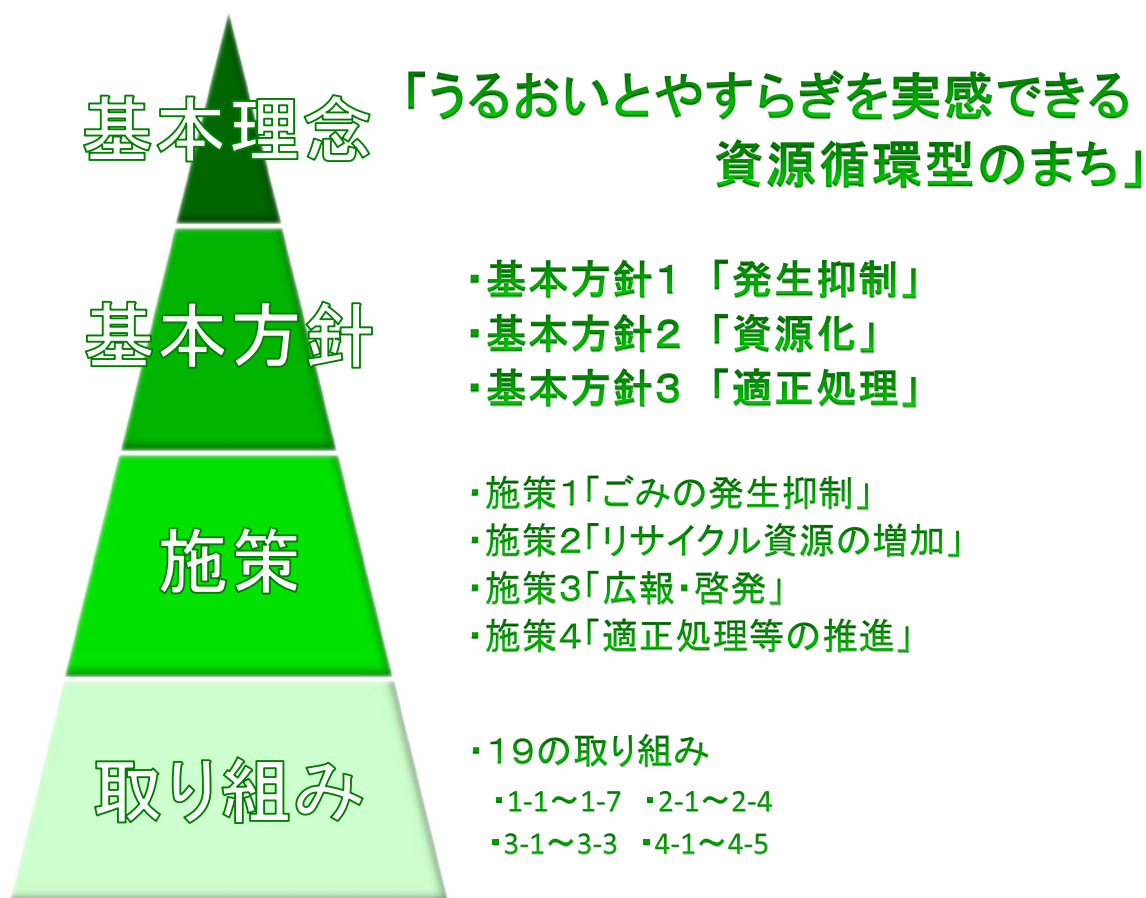


図 5-1 施策の体系

2. 数値目標

平成 37 年度における数値目標は前計画に掲げた「再生利用率」、「1 日あたり最終処分量」の 2 項目を継続するとともに、ごみ量の目標値として排出される全てのごみの原単位である「1 人 1 日あたりごみ総排出量」に加えて、国が第 3 次循環型社会形成推進基本計画及び廃棄物処理法に基づく基本方針に掲げた目標指標である「1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量」を追加した、4 項目とします。

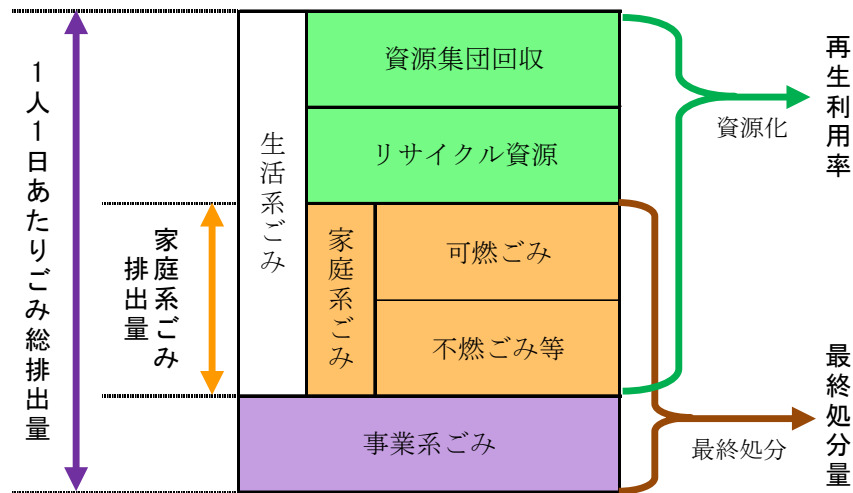


図 5-2 数値目標の考え方

(1) ごみ量

平成 26 年度における 1 人 1 日あたりごみ総排出量は 978g/人・日であり、将来のごみ量は増加していく予測ですが、排出抑制の施策を進めることにより、平成 32 年度の目標値を 937g/人・日、平成 37 年度の目標値を 933g/人・日とします。

1 人 1 日あたりごみ総排出量を、

平成 32 年度に 937 g/人・日 とし、

平成 37 年度に 933 g/人・日 にします。

国の掲げる 1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量の目標値は、平成 32 年度に 500g/人・日ですが、本町の平成 26 年度における 1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量は 526g/人・日と、目標値を上回っている状況です。

このため、雑がみの分別収集や可燃ごみ指定袋料金の適正化を進めることにより、国の掲げる平成 32 年度の目標値を 500g/人・日の達成を目指します。

1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量を、
平成 32 年度に 500 g/人・日 とします。

(2) 再生利用率

平成 28 年度から可燃ごみの処理を民間業者に委託するため、焼却施設から発生する燃え殻や飛灰を焼成によって無害化し土木資材として再資源化されるため、資源化率の増加が見込まれることから、平成 37 年度における再生利用率の目標値を、24.7%とします。

平成 37 年度の再生利用率を、24.7% にします。

(3) 最終処分量

平成 28 年度から可燃ごみの処理を民間業者に委託するため、焼却施設から発生する燃え殻や飛灰の多くが再資源化され、最終処分量の減少が見込まれることから、平成 37 年度における最終処分量の目標値を、335 t/年とします。

平成 37 年度の最終処分量を、335 t/年 にします。

3. 目標達成のための施策

前述した目標を達成するために取り組む4つの施策と19の取り組みは、以下に示すとおりです。

表 5-1 施策一覧

施策・取り組み		基本方針		
		排出抑制	資源化	適正処理
施策1 ごみの発生抑制				
1-1	多量排出事業者への減量・資源化指導	○		
1-2	事業系可燃ごみの有料化	○		
1-3	可燃ごみ指定袋料金適正化の検討	○	○	
1-4	生ごみ堆肥化装置等への助成金交付	○		
1-5	レジ袋削減（有料化）の継続	○		
1-6	不法投棄対策の強化（監視カメラの設置）	○		○
1-7	不燃ごみ・燃える大型ごみ有料化の検討	○		
施策2 リサイクル資源の増加				
2-1	雑がみ分別収集の実施		○	
2-2	分別ガイドブックの定期的な全戸配布		○	
2-3	エコ・ステーションの継続及び周知		○	
2-4	小型家電回収の継続及び品目拡大の検討		○	
施策3 広報・啓発				
3-1	環境学習の推進	○	○	○
3-2	清掃の日における環境美化運動の継続			○
3-3	環境美化活動者及び団体に対する表彰制度の継続		○	○
施策4 適正処理等の推進				
4-1	高齢者等訪問収集の検討			○
4-2	紙上フリーマーケットの廃止			○
4-3	環境美化監視員制度の継続	○	○	○
4-4	クリーンパトロールの継続			○
4-5	廃棄物減量等推進協議会の開催	○	○	○

(1) 取り組み内容

4つの施策に基づく19の取り組み内容は、以下に示すとおりです。

表 5-2 (1) 19の取り組み内容

No.	取り組み	内容
施策1 ごみの発生抑制		
1-1	多量排出事業者への減量・資源化指導	多量排出事業者に対し、立入検査を実施し、減量計画の作成要請や、資源化の指導を行います。
1-2	事業系可燃ごみの有料化	可燃ごみの積み替えを共同で行う笠松町と同時期に、事業系可燃ごみの有料化を実施します。
1-3	可燃ごみ指定袋料金適正化の検討	可燃ごみ指定袋の料金について、減量化・資源化に効果的な料金設定の検討を行います。
1-4	生ごみ堆肥化装置等への助成金交付	生ごみ処理容器やダンボールコンポストなど、ごみ減量化に関する助成金制度を継続します。
1-5	レジ袋削減(有料化)の継続	消費者団体・事業所・行政で構成する「レジ袋削減(有料化)協議会」による、レジ袋削減の取り組みを継続します。
1-6	不法投棄対策の強化(監視カメラの設置)	不法投棄の多い集積場から順次、監視カメラを増設します。
1-7	不燃ごみ・燃える大型ごみ有料化の検討	ステーション収集から戸別回収または直接搬入方式への変更とともに、不燃ごみ・燃える大型ごみの有料化を検討します。
施策2 リサイクル資源の増加		
2-1	雑がみ分別収集の実施	平成28年4月から町内全域で雑がみの分別収集を実施します。
2-2	分別ガイドブックの定期的な全戸配布	3年おきを目安に、分別ガイドブックを改訂し、全戸配布します。
2-3	エコ・ステーションの継続及び周知	リサイクル資源の持込場所であるエコ・ステーションを継続し、周知を図ります。
2-4	小型家電回収の継続及び品目拡大の検討	ボックス回収による小型家電回収を継続するとともに、回収品目の拡大について検討します。

表 5-2 (2) 19 の取り組み内容

No.	取り組み	内容
施策 3 広報・啓発		
3-1	環境学習の推進	小学生 4 年生を対象に行っている、ごみの減量とリサイクルを推進するための出張授業を継続します。
3-2	清掃の日における環境美化運動の継続	奇数月の第 3 日曜日に実施している、住民と企業が自主的に参加する、環境美化活動である「清掃の日」を継続します。
3-3	環境美化活動者及び団体に対する表彰制度の継続	環境美化活動を行っている者及び団体に対する表彰制度を継続します。
施策 4 適正処理等の推進		
4-1	高齢者等訪問収集の検討	福祉セクションと連携し、高齢者の単独世帯や障がい者世帯など、ごみ出しが不自由な世帯に対して戸別収集の制度を検討・実施します。
4-2	紙上フリーマーケットの廃止	利用者が非常に少ない紙上フリーマーケットを廃止します。
4-3	環境美化監視員制度の継続	自治会ごとに 1 名委嘱している、環境美化監視事業を継続し、分別の指導や持ち去り行為の監視等を行います。
4-4	クリーンパトロールの継続	クリーンパトロールによる不法投棄の監視活動を継続します。
4-5	廃棄物減量等推進協議会の開催	定期的に廃棄物減量等推進協議会を開催し、ごみ処理の状況について報告します。

(2) 施策のスケジュール

施策のスケジュールは、表 5-3 に示すとおりです。

表 5-3 施策のスケジュール

No.	取り組み	年度									
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
1-1	多量排出事業者への指導	調査	実施	→							
1-2	事業系可燃ごみの有料化	検討	→		実施	→					
1-3	可燃ごみ指定袋料金適正化の検討	検討	→								
1-4	生ごみ堆肥化装置への助成金交付	←				継続実施	→				
1-5	レジ袋削減（有料化）の継続	←				継続実施	→				
1-6	不法投棄対策の強化	実施	→								
1-7	不燃ごみ・粗大ごみ有料化の検討	検討	→								
2-1	雑がみ分別収集の実施	実施	→								
2-2	分別ガイドブックの定期的な配布	配布	-	-	配布	-	-	配布	-	-	配布
2-3	エコ・ステーションの周知	←				継続実施	→				
2-4	小型家電回収拡大の検討	検討	→								
3-1	環境学習の推進	←				継続実施	→				
3-2	清掃の日の継続	←				継続実施	→				
3-3	環境美化活動に対する表彰制度	←				継続実施	→				
4-1	高齢者等訪問収集の検討	検討	→		実施	→					
4-2	紙上フリーマーケットの廃止	廃止									
4-3	クリーンパトロールの継続	←				継続実施	→				
4-4	環境美化監視員制度の継続	←				継続実施	→				
4-5	廃棄物減量等推進協議会の開催	←				継続開催	→				

4. ごみの発生量及び処理量の見込み

将来ごみ発生量の予測方法は、図 5-3 に示すとおりです。

将来ごみ量の予測は、人口の将来予測値及び過去 10 年間のごみ排出量の実績に基づいて、トレンド推計式により将来数値を推計する手法を用いました。この手法は、『ごみ処理施設構造指針解説』に示された方法です。

家庭系ごみ及び集団回収量については、ごみ種別の発生原単位推計結果×人口推計の予測値×年間日数で算出し、事業系ごみについては、ごみ種別の発生原単位×年間日数で算出しました。

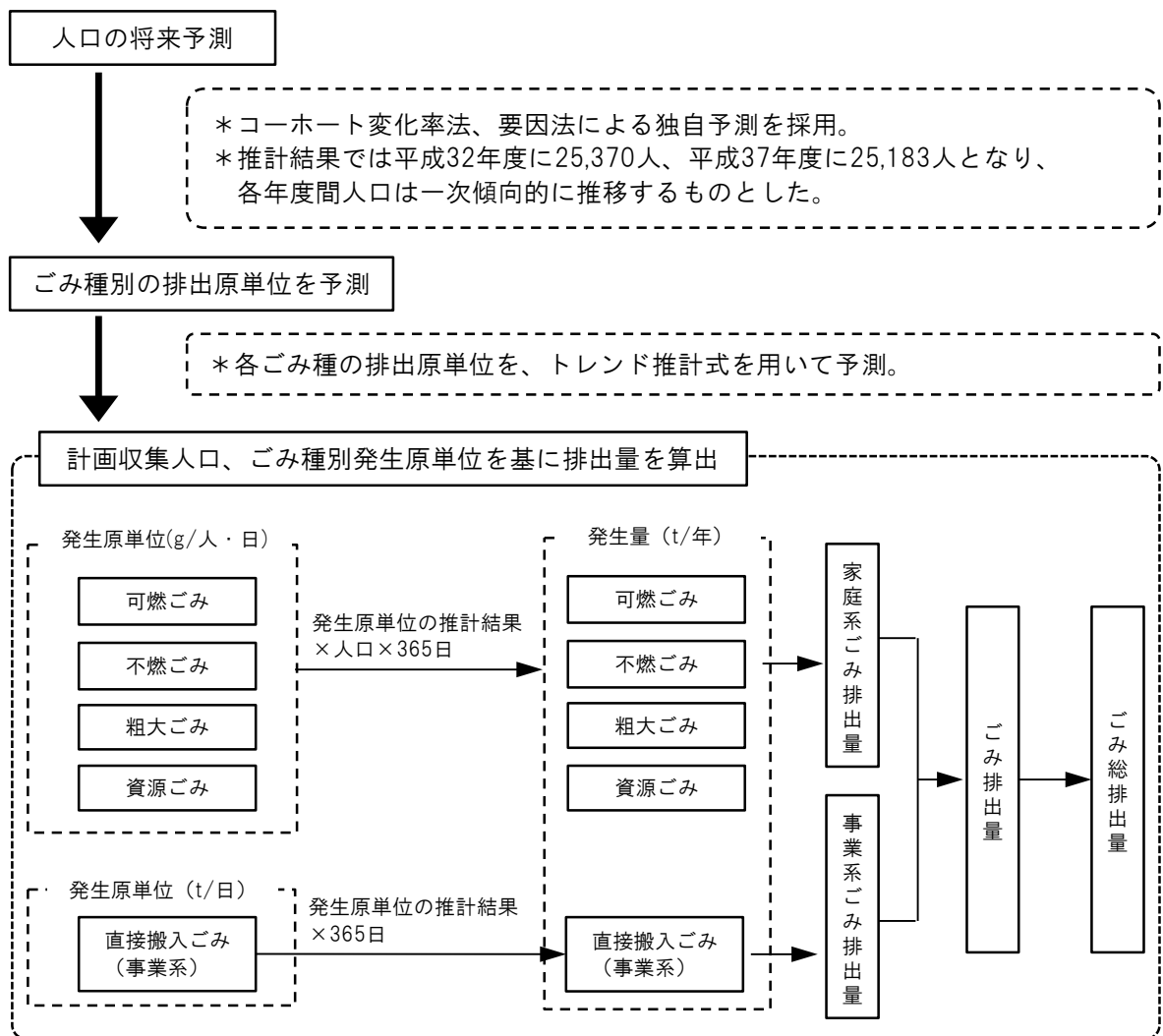


図 5-3 将来ごみ量の予測フロー

(1) 人口推計

① 推計方法

本町は、子育て支援施策の充実などから人口が増加傾向であり、平成 28 年度には 25,000 人に達すると見込まれていることから、平成 32 年度まではコーホート変化率法により人口が増加すると仮定し、その後国立人口問題研究所のコーホート要因法による推計結果に準じて減少傾向に転ずると推計しました。

表 5-4 人口推計手法

	平成 27 年～平成 32 年	平成 33 年～平成 37 年
推計方法	コーホート変化率法	コーホート要因法（国立人口問題研究所の平成 25 年 3 月推計の仮定値を使用）

② 推計結果

人口の将来推計結果は、以下に示すとおりです。

表 5-5 将来人口推計結果

	年	総数	男	女
実績	平成22年	23,715	11,642	12,073
	平成27年	24,729	12,263	12,466
推計	平成28年	24,857	12,327	12,530
	平成29年	24,985	12,391	12,594
	平成30年	25,113	12,455	12,658
	平成31年	25,241	12,519	12,722
	平成32年	25,370	12,595	12,775
	平成33年	25,334	12,584	12,750
	平成34年	25,291	12,569	12,722
	平成35年	25,248	12,554	12,694
	平成36年	25,205	12,539	12,666
平成37年	25,183	12,534	12,648	

注) 人口の実績値は各年 10 月 1 日であるため、ごみ処理の実績に使用した年度末人口と異なります。

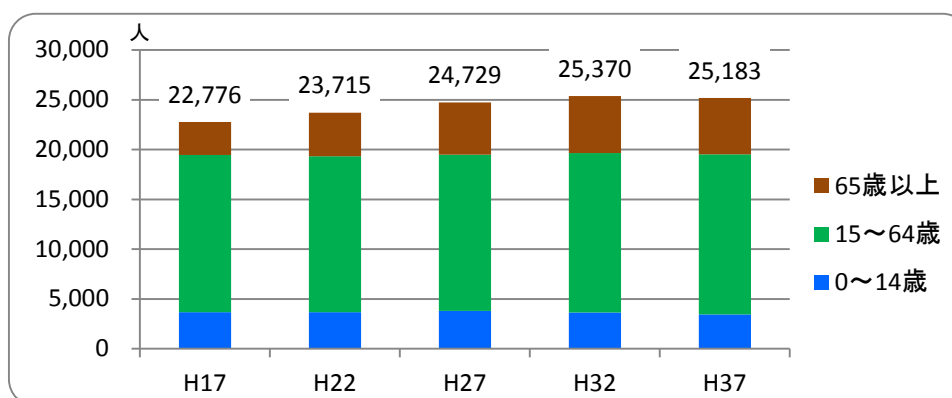


図 5-4 将来人口推計結果 (年齢 3 区分別人口)

(2) ごみ排出量の将来予測

ごみ総排出量及び1人1日あたりごみ総排出量の将来予測は、表5-6及び図5-5に示すとおりです。

表5-6 ごみ総排出量の予測結果

項目	単位	実績					予測	
		H22	H23	H24	H25	H26	H32	H37
人口(年度末人口)	人	23,931	23,981	24,183	24,539	24,729	25,370	25,183
ごみ総排出量	t	9,234	8,639	8,608	8,663	8,826	8,677	8,578
可燃ごみ	t	7,045	7,035	7,088	7,202	7,336	7,106	7,076
不燃ごみ	t	333	311	290	283	278	204	170
燃える大型ごみ	t	385	365	363	363	378	368	346
資源ごみ	t	980	925	864	812	831	996	983
有害ごみ	t	3	3	3	3	3	3	3
集団回収量	t	488	0	0	0	0	0	0
1人1日あたりごみ総排出量(対策前)	g/人・日	1,057	984	975	967	978	987	986
1人1日あたりごみ総排出量(対策後)	g/人・日	—	—	—	—	—	937	933
1人1日あたり家庭系ごみ排出量(対策前)	g/人・日	509	517	519	522	526	519	516
1人1日あたり家庭系ごみ排出量(対策後)	g/人・日	—	—	—	—	—	509	503

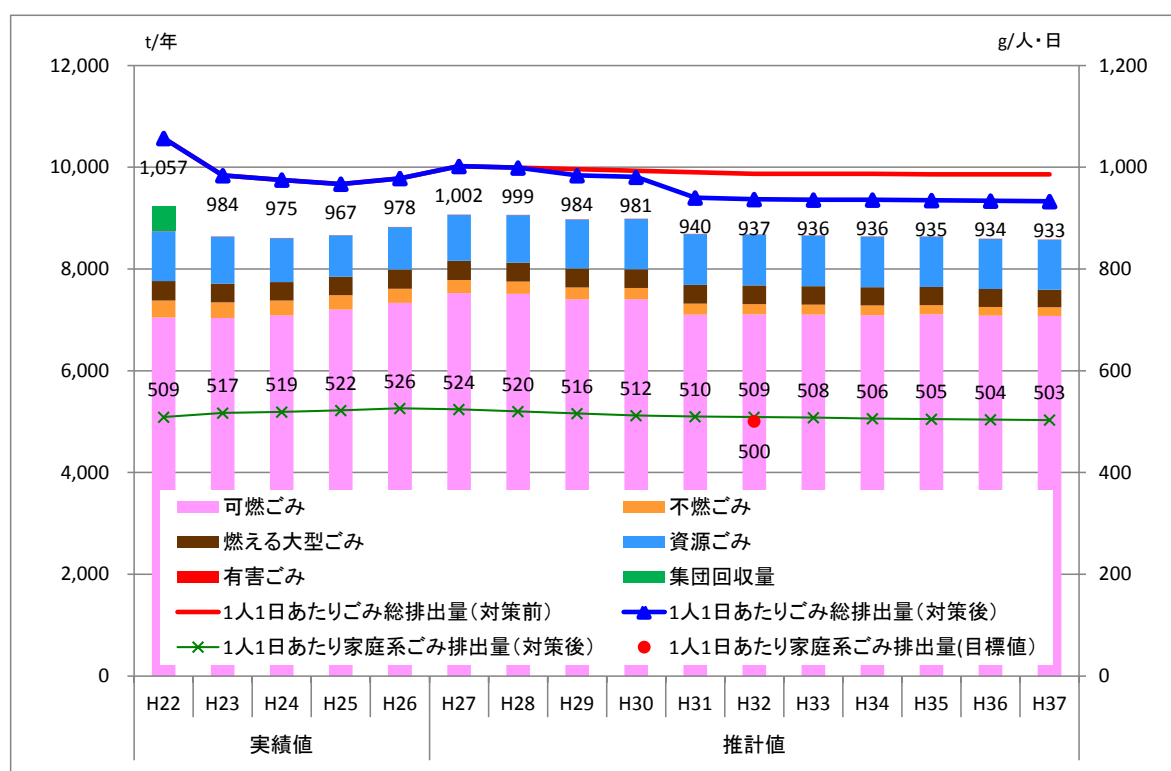


図5-5 ごみ総排出量の予測結果

(3) 再生利用率の将来予測

総資源化量及び再生利用率の将来予測は、表 5-7 及び図 5-6 に示すとおりです。

平成 28 年度から可燃ごみの処理を民間業者に委託するため、焼却施設から発生する燃え殻や飛灰を焼成によって無害化し土木資材として再資源化されるため、資源化率の増加が見込まれることから、焼却処理による資源化量が増加し、再生利用率が上昇します。

表 5-7 総資源化量の将来予測

項目	単位	実績					予測	
		H22	H23	H24	H25	H26	H32	H37
ごみ総排出量	t	9,234	8,639	8,608	8,663	8,826	8,677	8,578
総資源化量	t	1,642	1,081	994	942	950	2,155	2,116
資源ごみ量 (収集+直接搬入)	t	980	925	864	812	831	996	983
不燃ごみ (金属類)	t	154	136	111	111	101	46	24
集団回収量	t	488	0	0	0	0	0	0
焼却処理による資源化量	t	20	20	19	19	18	1,113	1,109
再生利用率(対策前)	%	17.8	12.5	11.5	10.9	10.8	23.6	23.4
再生利用率(対策後)	%	—	—	—	—	—	24.8	24.7

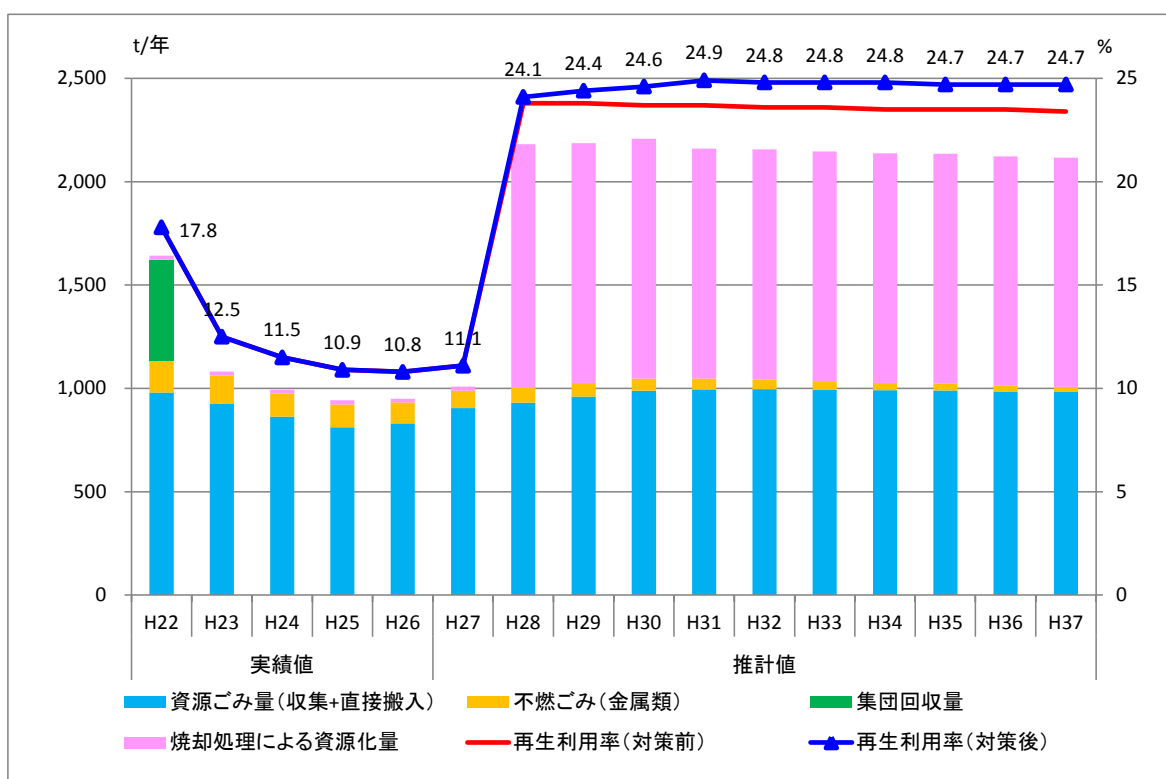


図 5-6 総資源化量の将来予測

(4) 最終処分量の将来予測

最終処分量及び最終処分率の将来予測は、表 5-8 及び図 5-7 に示すとおりです。

総資源化量と同様に、平成 28 年度から可燃ごみの処理を民間業者に委託するため、焼却施設から発生する燃え殻や飛灰の多くが再資源化され、最終処分量の減少が見込まれることから、焼却処理による最終処分量が減少し、最終処分率が低下します。

表 5-8 最終処分量の将来予測

項目	単位	実績					予測	
		H22	H23	H24	H25	H26	H32	H37
ごみ総排出量	t	9,234	8,639	8,608	8,663	8,826	8,677	8,578
最終処分量	t	907	899	887	891	919	348	335
不燃ごみ (ガラス類・がれき類)	t	179	174	179	172	178	158	146
焼却処理による最終処分量	t	728	725	708	719	741	190	189
最終処分率(対策前)	%	9.8	10.4	10.3	10.3	10.4	4.0	3.8
最終処分率(対策後)	%	—	—	—	—	—	4.0	3.9

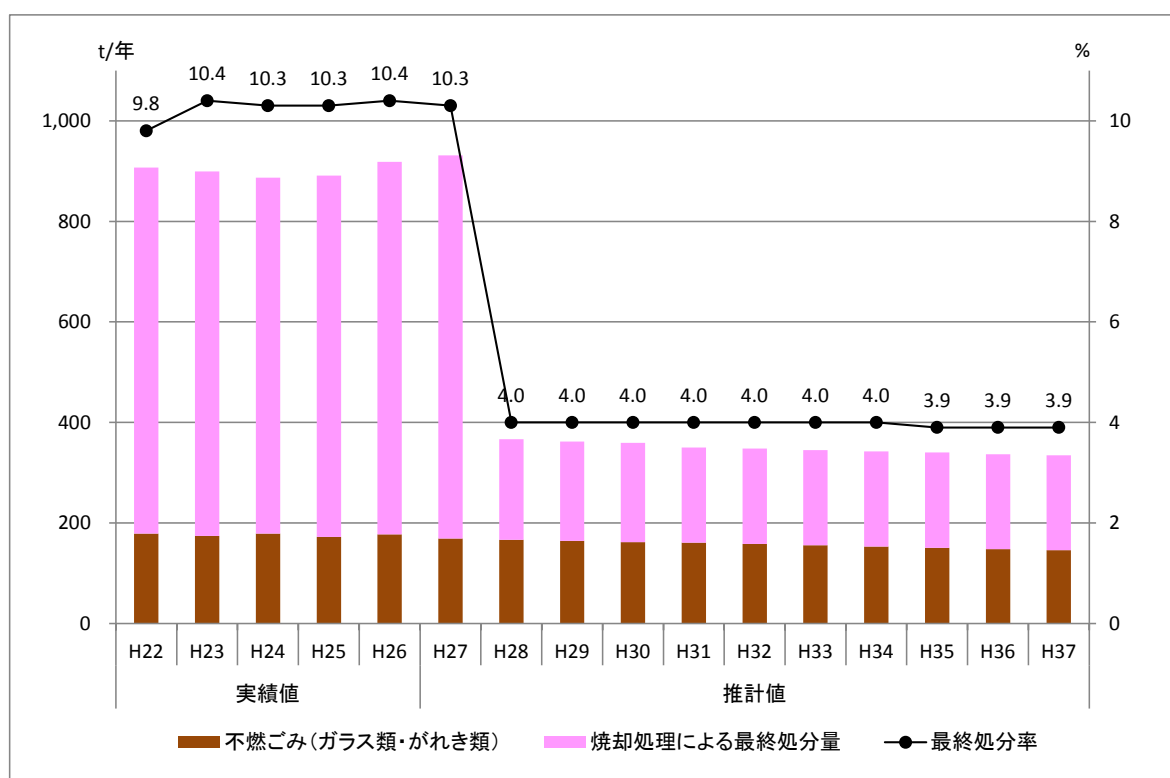


図 5-7 最終処分量の将来予測

(5) 事業系ごみ排出量の将来予測

事業系ごみ排出量の将来予測は、表 5-9 及び図 5-8 に示すとおりです。

表 5-9 事業系ごみ排出量の将来予測

項目	単位	実績					予測	
		H22	H23	H24	H25	H26	H32	H37
生活系ごみ	t	5,915	5,461	5,442	5,483	5,579	5,709	5,609
事業系ごみ	t	3,318	3,177	3,166	3,180	3,248	2,969	2,969
1日あたり事業系ごみ量(対策前)	t/日	9.1	8.7	8.7	8.7	8.9	9.4	9.4
1日あたり事業系ごみ量(対策後)	t/日	—	—	—	—	—	8.1	8.1

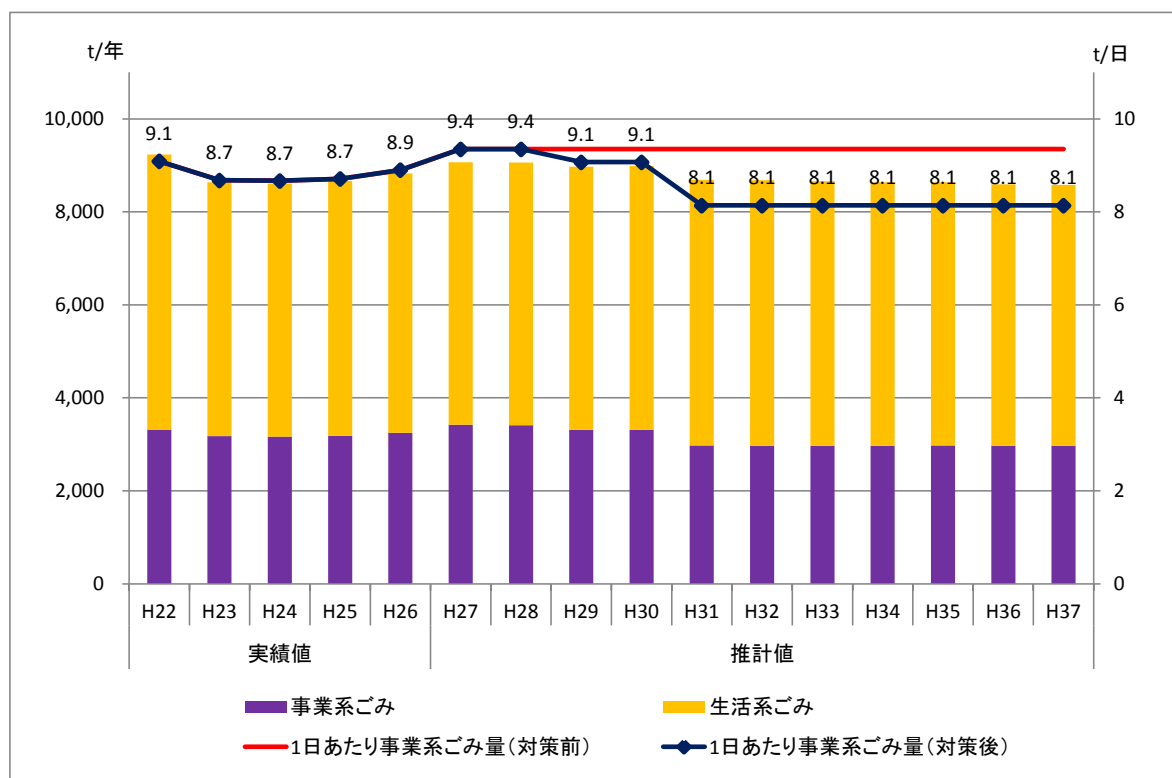


図 5-8 事業系ごみ排出量の将来予測

5. ごみ処理に関する基本的事項

(1) 目標年度のごみ処理フロー

目標年度である、平成 37 年度のごみ処理フローは、図 5-9 に示すとおりです。

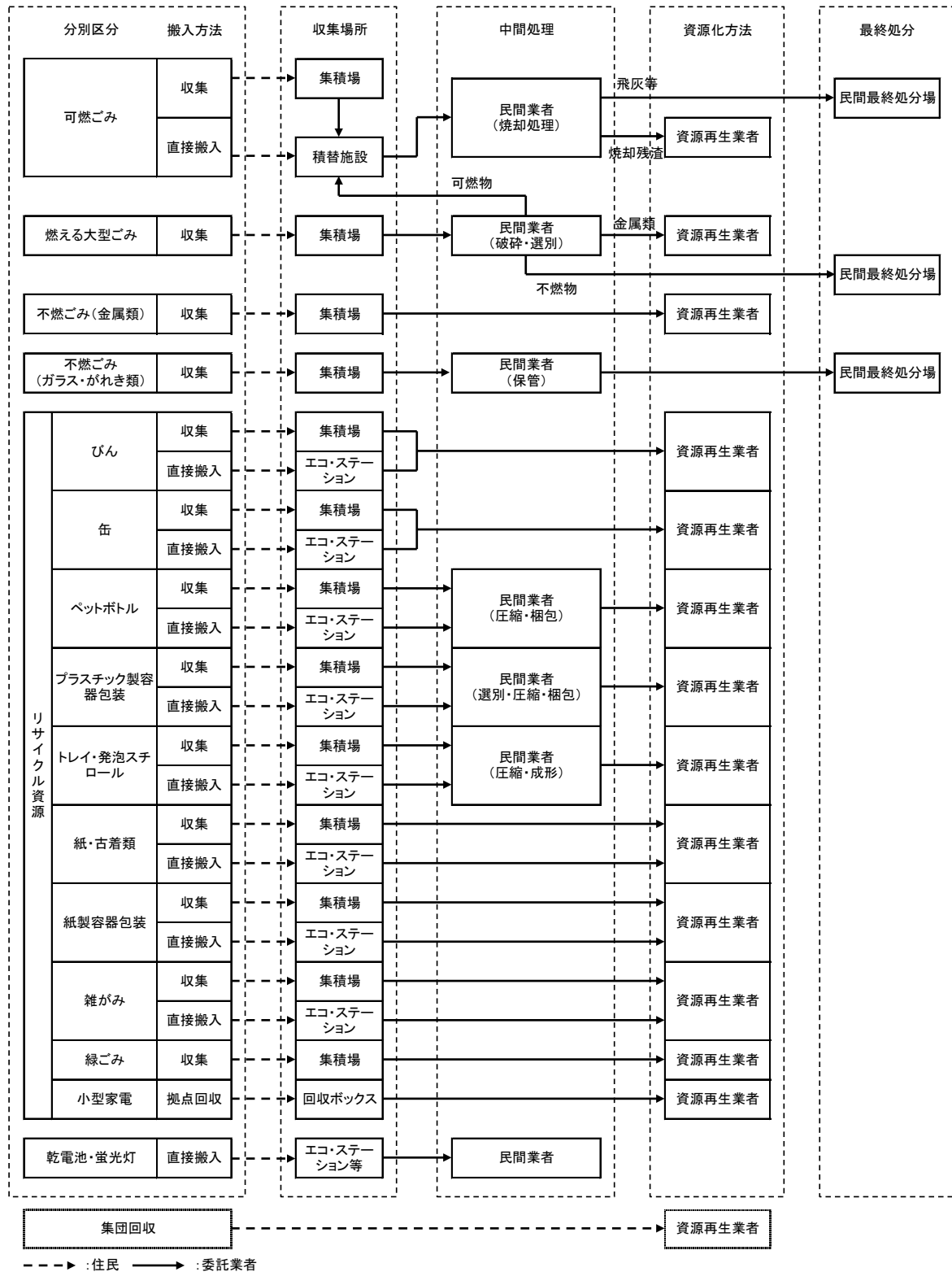


図 5-9 目標年度（平成 37 年度）のごみ処理フロー

(2) 収集・運搬計画

① 収集形態・収集回数

平成 37 年度における家庭系ごみの収集は、表 5-10 に示すとおりです。

なお、事業系ごみについては、現状と同様に自己搬入または許可業者による随時収集とします。

現在、不燃ごみとして収集している乾電池・蛍光灯は、収集時に破損すると使用されている水銀による汚染が懸念されるため、拠点回収方式に移行します。

また、不燃ごみ・燃える大型ごみの有料化手法について、現状のステーション方式では品目別の料金設定の徴収を行うことが難しいため、予約制による戸別回収方式または持込施設への直接搬入方式への変更とともに、不燃ごみ・粗大ごみを持ち込むことのできる施設整備の検討を行います。

表 5-10 収集運搬体制（平成 37 年度）

ごみの種類		収集形態	収集方法	収集回数	
可燃ごみ		委託	ステーション回収	週 2 回	
不燃ごみ（金属類）				隔月	
不燃ごみ（ガラス・がれき類）					
燃える大型ごみ					
リサイクル資源	びん類			月 1 回	
	缶類				
	ペットボトル				
	プラスチック製容器包装				月 2 回
	トレイ・発泡スチロール				月 1 回
	紙・古着類				
	紙製容器包装				
	雑がみ				
	緑ごみ				
	小型家電	拠点回収	随時		
乾電池・蛍光灯					

注) 不燃ごみ・燃える大型ごみについては有料化の手法の検討結果により変更する。

② 排出禁止物

ごみの適正かつ効率的な処理のため、表 5-11 に示すものを排出禁止物とします。

表 5-11 排出禁止物

項 目	内 容
危険なごみ	LPG ボンベ、消火器、オイル、ペンキ、劇薬・農薬、バッテリー、消火器等
適正処理困難物	タイヤ、畳、ピアノ、金庫、オートバイ、焼却灰等
一時多量ごみ	引っ越しや改築など一時的に排出されるごみ
事業ごみ	事業活動（事務所・商店・飲食店・工場等）に伴うごみ、従業員が出す弁当の空き箱や紙くず

③ 在宅医療廃棄物

在宅医療廃棄物については、感染性を有した鋭利なもの以外（血の付いた包帯、ガーゼ、おむつ等）については可燃ごみとして本町で委託業者により収集運搬し、焼却処理を行うものとします。

なお、注射器やカテーテルなどの感染性を有している鋭利なものについては、医師会や薬剤師会等と連絡を密に取りながら、適正な処理を行うことができるよう調整を行います。

④ 収集・運搬体制

収集運搬体制は、現状の体制の維持を予定しており、今後も委託業者による収集運搬を実施する予定です。

(3) 中間処理計画

平成 37 年度における中間処理体制は、表 5-12 に示すとおりです。

表 5-12 中間処理体制

ごみの種類		収集形態
可燃ごみ		収集後、積替施設で大型コンテナに積み替え、県外の民間業者に運搬し、焼却処理を行います。
不燃ごみ（金属類）		収集後、資源再生業者に引き渡します。
不燃ごみ（ガラス・がれき類）		収集後、委託業者が保管し、民間の最終処分業者で処分します。
燃える大型ごみ		委託業者の中間処理施設で破碎・選別し、可燃物は可燃ごみとともに焼却処分、金属類は資源再生業者に引き渡し、不燃物は民間の最終処分業者で処分します。
リサイクル資源	びん類	収集後、資源再生業者に引き渡します。
	缶類	収集後、資源再生業者に引き渡します。
	ペットボトル	収集後、委託業者の中間処理施設で圧縮・梱包し、資源再生業者に引き渡します。
	プラスチック製容器包装	収集後、委託業者の中間処理施設で選別・圧縮・梱包し、資源再生業者に引き渡します。
	トレイ・発泡スチロール	収集後、委託業者の中間処理施設で圧縮・成形し、資源再生業者に引き渡します。
	紙・古着類	収集後、資源再生業者に引き渡します。
	紙製容器包装	収集後、資源再生業者に引き渡します。
	雑がみ	収集後、資源再生業者に引き渡します。
	緑ごみ	収集後、資源再生業者に引き渡します。
	小型家電	回収後、資源再生業者に引き渡します。
乾電池・蛍光灯		回収後、専門の処理業者に引き渡します。

(4) 最終処分計画

本町は一般廃棄物最終処分場を保有しておらず、民間業者に委託しています。埋め立て対象物は不燃ごみ（ガラス・がれき類）等の不燃物です。

最終処分量は岐阜県平均と比較すると少ない状況ですが、埋立物は無くならないことから最小限にとどめ、今後も民間業者に委託し処分します。

6. ごみ処理施設整備に関する事項

(1) 中継施設

笠松町と共同で可燃ごみを県外の民間業者へ運搬するため、小型収集車から 10t クラスの大型コンテナ車に積み替えるための積替施設と、車両及びコンテナ保管施設を、収集運搬委託業者が建設しました。

表 5-13 積替施設の概要

項目	内容
名称	積替施設
所在地	羽島郡岐南町平成地内
建屋面積	約 500m ²
周辺対策設備	活性炭吸着脱臭装置、消臭剤噴霧装置、エアカーテン

表 5-14 車両及びコンテナ保管施設の概要

項目	内容
名称	車両及びコンテナ保管施設
所在地	羽島郡笠松町円城寺地内
建屋面積	約 850m ²

(2) ごみ処理施設（熱回収施設）

平成 27 年度で現在のごみ処理施設の稼働が停止するため、組合は次期ごみ処理施設（熱回収施設）の建設事業を進めています。

平成 18 年 12 月には、次期ごみ処理施設建設候補地として、羽島市下中町城屋敷及び加賀野井地域を発表しましたが、この場所での施設建設は困難な状況です。

このため、平成 26 年 10 月 27 日開催の岐阜羽島衛生施設組合議会全員協議会において、「現計画地とは別に新たな候補地を羽島市内で探すこと」が了承され、公募方式で羽島市民の皆様から候補地を募集したものの、候補地は決定していません。

次期ごみ処理施設は必要不可欠であることから、今後も本町、組合、構成市町で建設に向けて進めていきます。

7. その他ごみ処理に関し必要な事項

(1) 災害対策

震災時及び水害時に発生する災害廃棄物の処理は、防災的観点から「震災廃棄物対策指針」（平成 10 年 10 月）及び「水害廃棄物対策指針」（平成 17 年 6 月）に基づき策定した、「災害廃棄物処理計画」（平成 24 年 2 月）に基づき実施します。

(2) 不適正排出及び不法投棄対策

不適正排出、不法投棄は、生活環境や自然環境に大きな影響をおよぼすため、本計画の着実な実施を図るためにも、不法投棄に関する取り組みを強力に進めていく必要があります。

① 啓発の推進

住民や事業者に、広報など様々な機会を通じて、リサイクル費用の負担等を含めたごみの適正な処理方法を周知します。

② 監視体制の強化

不法投棄の多い集積場から順次、監視カメラを増設します。【施策 1-6】

環境美化監視員やクリーンパトロール、地域との連携により、不法投棄に対する監視体制を強化するとともに地域の清掃活動など環境美化への推進を図ります。

【施策 4-3、施策 4-4】

③ 投棄者への対応

投棄者が判明した場合には、投棄者自身に処理させるなど厳しく指導します。

また、投棄者の調査や処罰については、警察と連携し厳格に対応します。

第6章 生活排水処理の現状

1. 生活排水処理の沿革

生活排水処理に係る処理施設には、集合処理施設（下水道、農業集落排水処理施設など）及び、個別処理施設（浄化槽など）があります。

本町では現在、木曾川右岸流域下水道に接続する公共下水道を整備して、生活排水の集合処理を進めています。

集合処理の推進策として、集合処理区域での住宅改築などによる水洗化を促進するため、「排水設備等改造助成金交付要綱」及び「排水設備等改造資金利子補給規則」を定めて、助成金並びに利子補給を実施し、接続率向上に努めています。

合併処理浄化槽については、かつて、宅地開発や規模の大きな施設を中心に設置されてきましたが、平成10年4月の「岐阜県浄化槽の設置に関する指導要綱」の制定、その後の、平成13年4月の浄化槽法改正に伴い、公共用水域に排出される汚濁負荷量が多い単独処理浄化槽の設置が禁止され、一般家庭などについても合併処理浄化槽の普及が進んできました。

新設が原則廃止となった、し尿のみを処理する単独処理浄化槽は、便所の水洗化に伴いし尿のみ取りから切り替えられてきましたが、まだ浄化槽の7割を占めており、既設のものについては、早期に下水道や合併処理浄化槽への転換を進めています。

本町のし尿の収集・運搬については、本町が許可した業者が行っています。

2. 生活排水の処理主体

本町における生活排水の処理主体は、表6-1に示すとおりです。

表6-1 生活排水の処理主体

区域	処理施設の種類	対象となる生活排水	処理主体
処 集 理 合	公共下水道	し尿及び生活雑排水	本町
個 別 処 理	合併処理浄化槽	し尿及び生活雑排水	個人等
	単独処理浄化槽	し尿	個人等
	し尿処理施設	し尿及び浄化槽汚泥	組合

3. 処理体系

平成 27 年度における本町の生活排水処理の流れは、図 6-1 に示すとおりです。

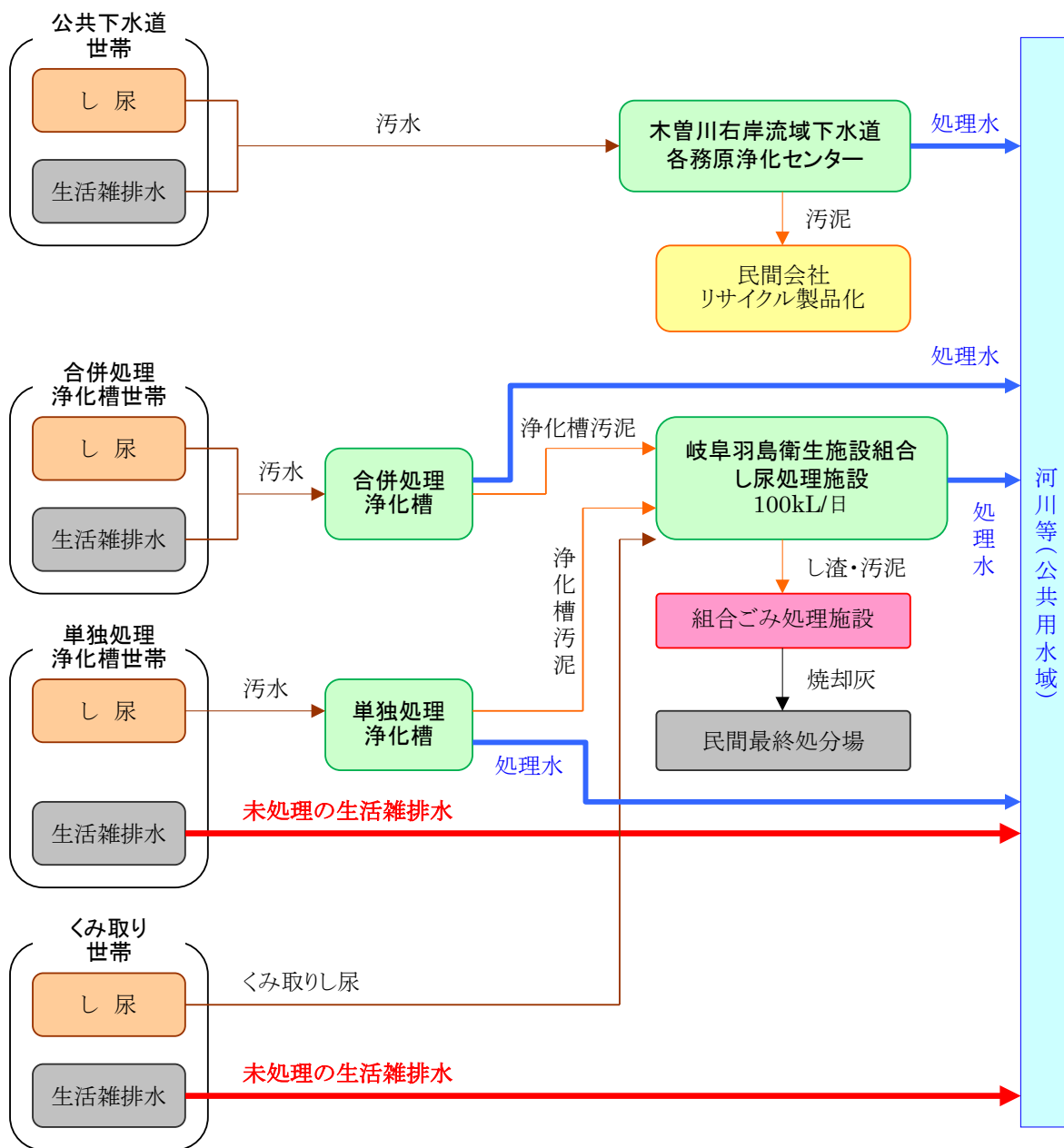


図 6-1 生活排水処理の流れ

4. 生活排水処理形態別人口の推移

本町における過去5年間の生活排水処理形態別人口の推移は、表6-2及び図6-2に示すとおりです。

平成26年度における本町の生活排水処理率[※]は、89.4%となっています。

表6-2 生活排水処理形態別人口の推移

区分	単位	実績				
		H22	H23	H24	H25	H26
計画処理区域内人口	人	23,402	23,483	24,216	24,050	24,274
水洗化・生活雑排水処理人口	人	19,524	20,630	20,911	21,149	21,708
公共下水道人口	人	18,781	19,900	20,175	20,420	20,982
合併処理浄化槽人口	人	743	730	736	729	726
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	2,861	1,848	2,497	2,135	1,902
単独処理浄化槽人口	人	2,861	1,848	2,497	2,135	1,902
非水洗化人口	人	1,017	1,005	808	766	664
し尿人口(くみ取り)	人	1,017	1,005	808	766	664
自家処理人口	人	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	83.4	87.9	86.4	87.9	89.4

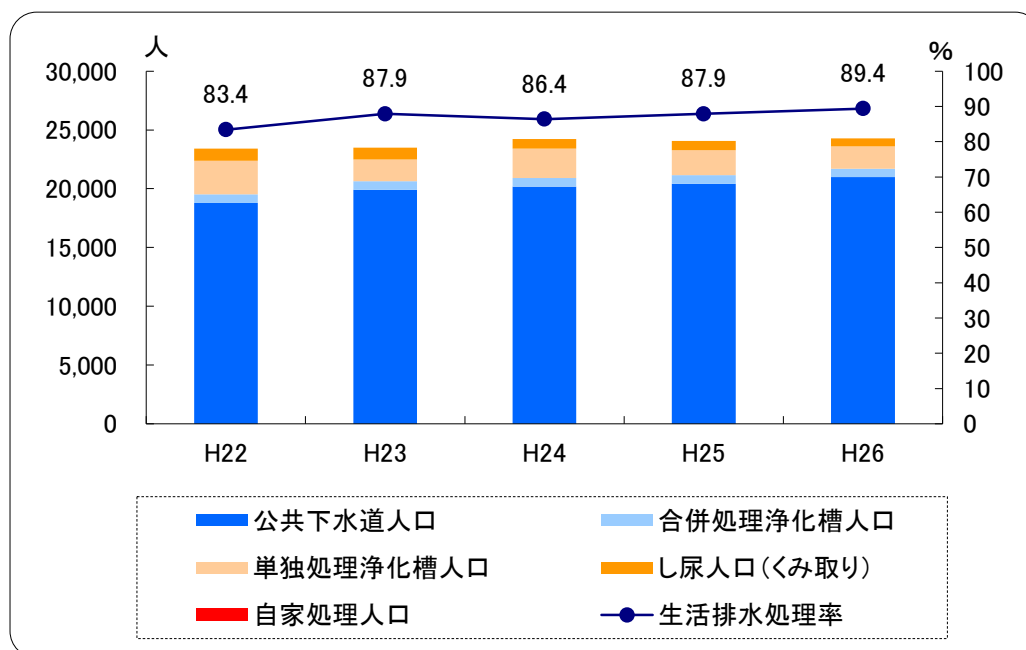


図6-2 生活排水処理形態別人口の推移

※ 生活排水処理率=水洗化・生活雑排水人口÷計画処理区域内人口×100

5. し尿及び汚泥の排出状況

本町における過去5年間のし尿及び浄化槽汚泥排出量の推移は、表6-3及び図6-3に示すとおりです。

表 6-3 し尿及び汚泥排出量の推移

区 分		単 位	実績				
			H22	H23	H24	H25	H26
発 生 量	し 尿	kL/年	536	500	515	509	521
	浄化槽汚泥	kL/年	3,537	3,532	3,397	3,420	3,423
	合 計	kL/年	4,073	4,032	3,912	3,929	3,944
	1日平均排出量	kL/日	11.2	11.0	10.7	10.8	10.8

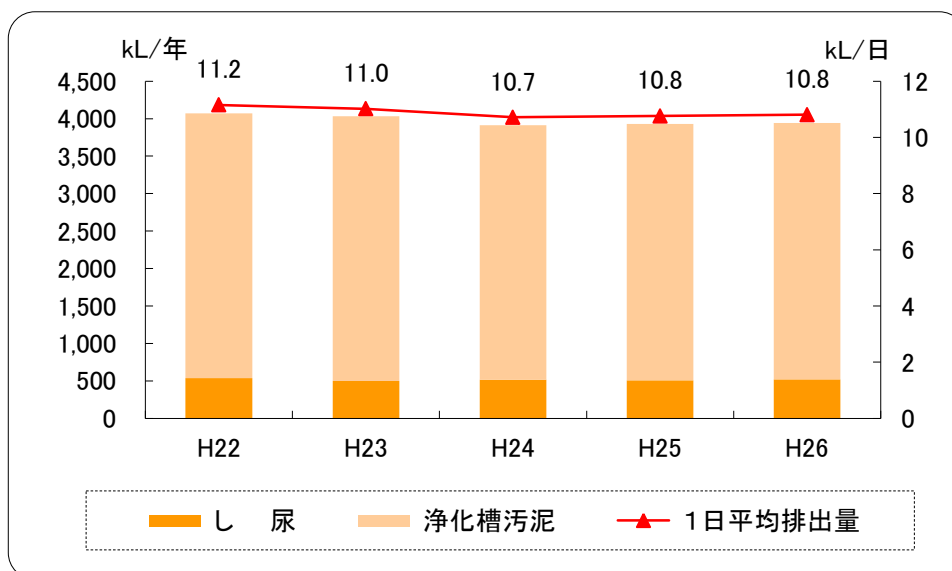


図 6-3 し尿及び汚泥排出量の推移

6. 収集・運搬

本町におけるし尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬体制等は、表6-4に示すとおりです。

表 6-4 収集・運搬体制等

項 目	収集・運搬	業者数	収集回数	収集方法
し 尿	許可制	1社	月1回	バキューム式収集運搬車による戸別方式
浄化槽汚泥	許可制	1社	随時	バキューム式収集運搬車及び汚泥濃縮車による戸別方式

7. 生活排水処理施設

(1) 公共下水道

本町の公共下水道の概要は、以下に示すとおりです。

表 6-5 公共下水道の概要

項 目		内 容
行政区域面積		790 ha
市街化区域面積		737.3 ha
処理区域面積		759 ha
計画処理人口		22,490 人
都市計画決定	当初	昭和 52 年 11 月 8 日
	最終	平成 7 年 7 月 5 日
下水道事業認可	当初	昭和 53 年 11 月 17 日
	最終	平成 23 年 1 月 27 日
都市計画法事業認可	当初	昭和 53 年 11 月 21 日
	最終	平成 23 年 2 月 18 日
排水方法		分流式
下水道事業着手		昭和 53 年 11 月 17 日
処理場		木曾川右岸流域下水道 各務原浄化センター
計画処理水量	全体計画	12,050 m ³ /日
	下水道法認可	11,124 m ³ /日
認可区域面積		712 ha
整備完了目標年次		平成 37 年度

出典) 岐南町

表 6-6 木曾川右岸流域下水道各務原浄化センターの概要

項 目	内 容	
	全体計画	下水道事業認可
名 称	各務原浄化センター	
所在地	各務原市前渡西町 1521	
面 積	約 37 ha	
処理方式	標準活性汚泥法・嫌気好気法・嫌気無酸素好気法・ ステップ流入式多段硝化脱窒法	
処理能力	249,500 m ³ /日	238,750 m ³ /日
放流先河川	木曾川、境川（長良川）	

出典) 公益財団法人岐阜県浄水事業公社

(2) し尿処理施設

本町がし尿及び浄化槽汚泥の処理を委託する岐阜羽島衛生施設組合し尿処理施設の概要及び処理実績は、以下に示すとおりです。

表 6-7 し尿処理施設の概要

項目	内容
名称	岐阜羽島衛生施設組合し尿処理施設
所在地	岐阜市境川5丁目147番地
処理区域	岐阜市、岐南町、笠松町
敷地面積	5,612 m ²
建物面積	4,612 m ²
処理能力	100 kL/日
主処理	改造型脱窒素処理方式
高度処理	凝集沈殿処理、汚泥処理設備、オゾン脱色法、急速濾過法
着工	昭和54年8月
竣工	昭和56年3月

出典) 岐阜羽島衛生施設組合

表 6-8 し尿処理施設稼働実績

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26
し尿	kL/年	9,796	8,273	7,862	7,674	7,184
浄化槽汚泥	kL/年	14,158	11,748	11,270	11,121	11,917
合計	kL/年	23,954	20,021	19,132	18,795	19,101
	kL/日	65.6	54.7	52.4	51.5	52.3
浄化槽汚泥混入率	%	59.1	58.7	58.9	59.2	62.4

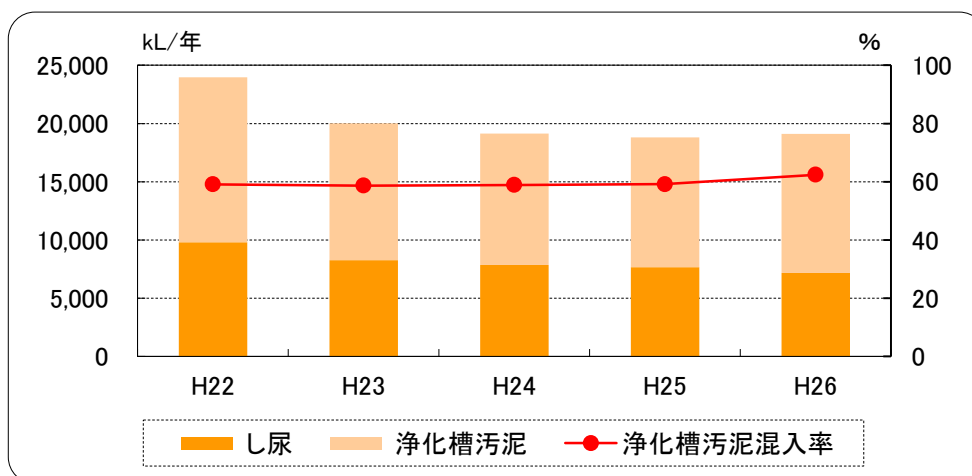


図 6-4 し尿処理施設稼働実績

8. 生活排水処理事業の課題

本町における生活排水処理の現状を考慮し生活排水処理事業の課題を整理すると、次のとおりです。

(1) 生活排水処理の課題

岐阜県では下水道整備の推進などによる生活排水処理が進められており、生活排水処理率の向上によって、公共用水域の水質保全が図られています。

「平成 25 年度一般廃棄物処理実態調査」(環境省)によると、岐阜県の生活排水処理率は 80.0%でした。

平成 25 年度における本町と岐阜県及び全国との生活排水処理形態別人口の比較は、表 6-9 に示すとおりです。

本町の生活排水処理率は、岐阜県及び全国の値を上回っていますが、まだ 1 割程度の生活排水が処理されていないことから、引き続き公共下水道の整備と接続率の向上を図ることにより、生活排水処理率の向上を図る必要があります。

表 6-9 生活排水処理形態別人口の比較

区 分	単位	岐南町	岐阜県	全国
計画処理区域内人口	人	24,274	2,054,775	128,393,966
水洗化・生活雑排水処理人口	人	21,708	1,644,526	107,682,361
下水道人口	人	20,982	1,288,690	92,885,977
コミュニティ・プラント人口	人	0	12,153	304,295
合併処理浄化槽人口	人	726	343,683	14,492,089
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	1,902	297,909	12,382,869
単独処理浄化槽人口	人	1,902	297,909	12,382,869
非水洗化人口	人	664	112,340	8,328,736
し尿人口(くみ取り)	人	664	111,836	8,242,082
自家処理人口	人	0	504	86,654
生活排水処理率	%	89.4	80.0	83.9

注) 本町の処理形態別人口は、平成 26 年度の値と比較しています。

(2) 浄化槽の適正な維持管理の課題

浄化槽の保守点検・清掃・定期検査(浄化槽の 3 つの義務)の遵守状況については、岐阜県は全国でも受検率の高い地域(11 条定期検査受検率: 89.1%・平成 25 年度)ではありますが、依然として浄化槽の 3 つの義務を行っていない世帯があります。こうした世帯においては、浄化槽が適正に機能せず周辺環境へ著しい影響を及ぼす可能性があり、一層の周知を図る必要があります。

(3) 下水道整備の課題

① 公共下水道の整備

公共下水道においては、平成 23 年 3 月に変更を行った流域関連公共下水道事業計画に基づき、下水道整備率の向上を図る必要があります。

表 6-10 下水道整備率の推移

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26
下水道整備面積	ha	644.1	651.3	656.5	662.5	671.9
下水道整備率	%	84.9	85.8	86.5	87.3	88.5

② 下水道接続率の向上

公共下水道を整備しても、単独処理浄化槽世帯や汲み取り世帯が下水道に接続しなければ、生活排水処理は向上しません。

本町の下水道接続率は 9 割以上と良好ですが、今後も公共下水道が整備された区域の世帯には、すみやかに下水道に接続するように働きかける必要があります。

表 6-11 下水道接続率の推移

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26
下水道整備人口	人	19,641	21,745	22,219	22,824	23,012
下水道接続人口	人	18,781	19,900	20,175	20,420	20,982
下水道接続率	%	95.6	91.5	90.8	89.5	91.2

(4) し尿・浄化槽汚泥処理の課題

平成 26 年度における岐阜羽島衛生施設組合し尿処理施設への搬入量は、52.3kL/日と施設の処理能力 100kL/日の半分しかありません。

今後も構成市町で下水道整備と接続率の向上が進むに従い、し尿・浄化槽汚泥の搬入量は減少すると考えられ、浄化槽汚泥混入率も 6 割以上と施設の設計条件である 50% を超えていることから、処理機能への影響が懸念されます。

また、施設は稼働後 35 年が経過し、その耐用年数が近づいていることから、施設の延命化もしくは更新の検討が必要です。

なお、隣接するごみ処理施設で焼却処理を行っていたし渣及び汚泥の処理は、ごみ処理施設が稼働できなくなることから、その処理を民間業者に委託する必要があります。

第7章 生活排水処理基本計画

1. 基本理念・基本方針

本町では、昭和40年代から都市化が進み、人口の増加や生活様式の変化に伴う家庭排水による水質汚濁が進行しました。このため、平成5年に水質汚濁防止法に基づく生活排水対策重点地域に指定され、生活排水対策推進計画（平成6年3月策定・平成25年3月改訂）により、快適な水環境づくりを目指し、その実現に向けた対策・啓発活動を推進してきました。

しかし、町民は、身近な河川である境川について「水遊びができる川」「ごみのない川」「不快と感じない川」など、より親しみのある河川になることを望んでいることから、本計画の基本理念として「取り戻そう！きれいな川、つなげよう未来へ！」を掲げ、生活排水処理を進めます。

基本理念のもと、「生活排水処理施設の整備」「適正処理」「広報・啓発」の3つの基本方針により、施策を推進していきます。

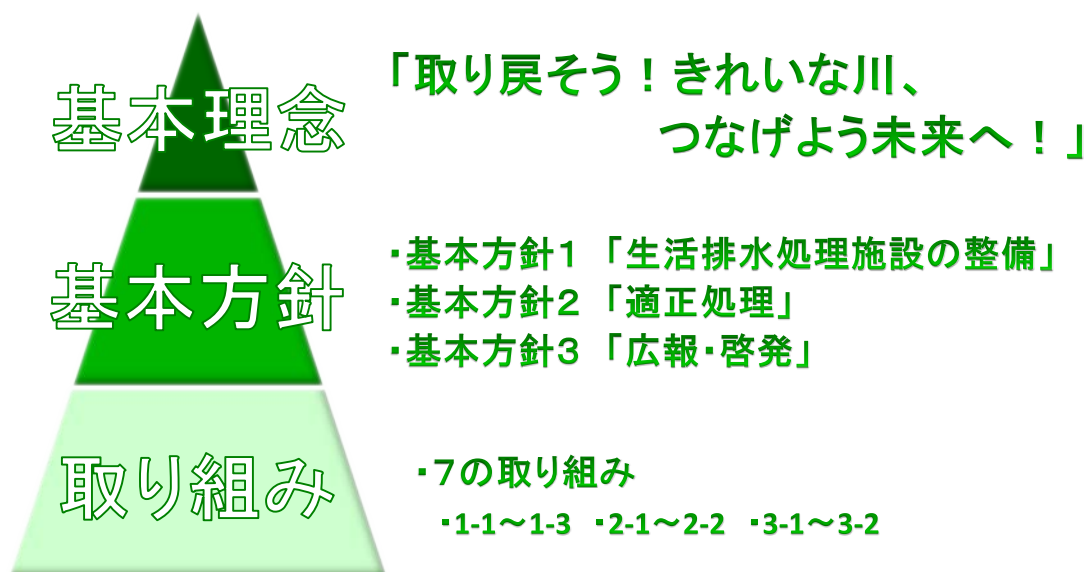


図7-1 施策の体系

2. 生活排水処理の数値目標

平成37年度における生活排水処理率の数値目標は、次のとおりとします。

平成37年度の生活排水処理率を、95% にします。

3. 目標達成のための取り組み

前述した目標を達成するために実施する取り組みは、以下に示すとおりです。

表 7-1 取り組み内容

No.	取り組み	内容
基本方針 1 生活排水処理施設の整備		
1-1	公共下水道の整備	公共下水道事業計画に基づき、下水道整備を推進します。
1-2	接続率の向上	公共下水道が整備された区域の世帯には、すみやかに下水道に接続するように働きかけを行います。
1-3	し尿処理施設の整備	稼働後 35 年が経過している組合のし尿処理施設について、組合、構成市町とともに施設のあり方について検討を行います。
基本方針 2 適正処理		
2-1	収集・運搬	現行の許可制度による適正な収集・運搬体制を維持していきます。
2-2	浄化槽の適正な維持管理	浄化槽の適正な保守点検、清掃及び検査の啓発活動を、県や関係業者と連携して実施します。
基本方針 3 広報・啓発		
3-1	住民に対する広報・啓発	岐阜県が推進する「ブルーリバー作戦」等により、家庭で実践できる排水対策の啓発活動を推進します。
3-2	環境学習の実施	町内の小中学校において、河川に生息している水生生物の状況を把握し、河川の水質を理解するカワゲラウォッチングの開催を検討します。

4. 生活排水処理の将来予測

(1) 将来予測の手法

本計画における生活排水処理形態別人口及びし尿・浄化槽汚泥処理量の将来予測の手法は、図 7-2 に示すとおりです。

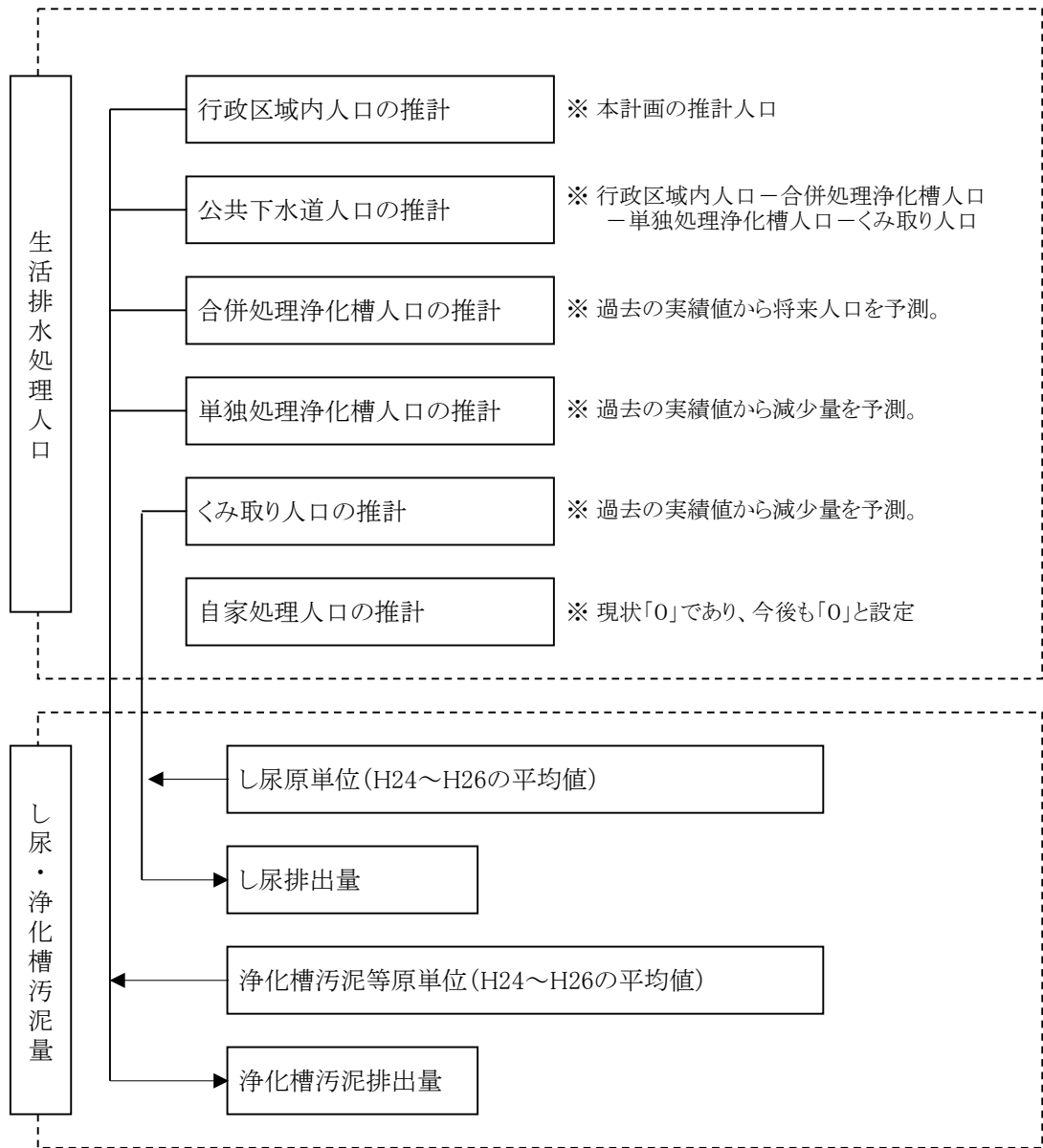


図 7-2 生活排水処理の予測手法

(2) 処理形態別人口の将来予測

生活排水処理形態別人口の将来予測結果は、表 7-2 及び図 7-3 に示すとおりです。目標年度である平成 37 年度の生活排水処理率は 95.6% となります。

表 7-2 生活排水処理形態別人口の将来予測結果

区分	単位	実績					予測	
		H22	H23	H24	H25	H26	H32	H37
計画処理区域内人口	人	23,402	23,483	24,216	24,050	24,274	25,334	25,124
水洗化・生活雑排水処理人口	人	19,524	20,630	20,911	21,149	21,708	23,701	24,010
公共下水道人口	人	18,781	19,900	20,175	20,420	20,982	22,996	23,323
合併処理浄化槽人口	人	743	730	736	729	726	705	687
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	2,861	1,848	2,497	2,135	1,902	1,295	925
単独処理浄化槽人口	人	2,861	1,848	2,497	2,135	1,902	1,295	925
非水洗化人口	人	1,017	1,005	808	766	664	338	189
し尿人口(くみ取り)	人	1,017	1,005	808	766	664	338	189
自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	83.4	87.9	86.4	87.9	89.4	93.6	95.6

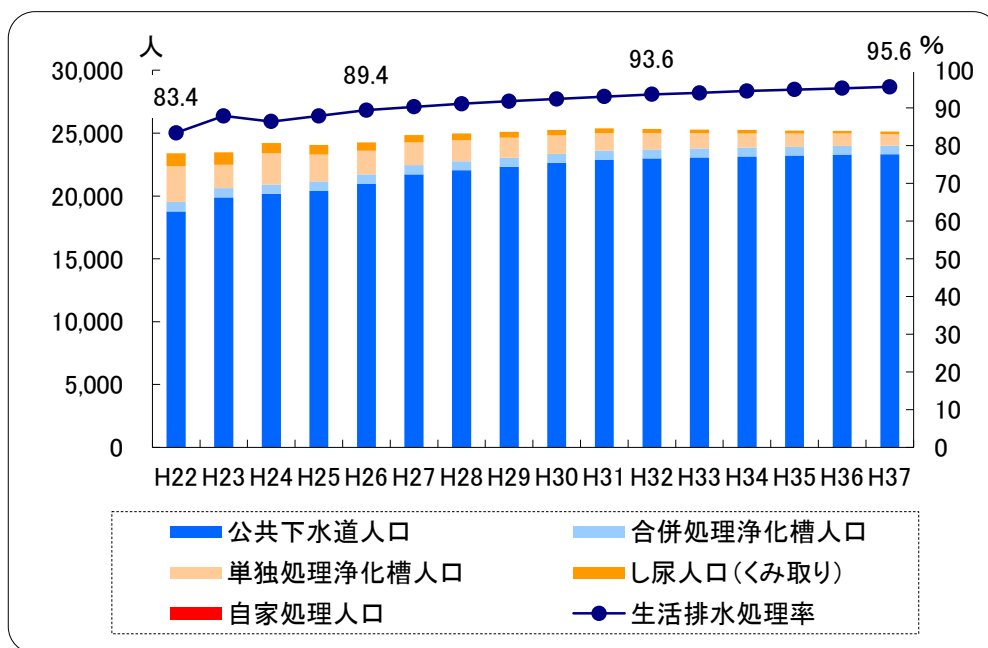


図 7-3 生活排水処理形態別人口の将来予測結果

(3) し尿・浄化槽汚泥発生量の将来予測

し尿・浄化槽汚泥量の将来予測結果は、表 7-3 及び図 7-4 に示すとおりです。

表 7-3 し尿及び浄化槽汚泥量の将来予測結果

区分		単位	実績					予測	
			H22	H23	H24	H25	H26	H32	H37
発生量	し尿	kL/年	536	500	515	509	521	235	131
	浄化槽汚泥	kL/年	3,537	3,532	3,397	3,420	3,423	2,365	1,906
	合計	kL/年	4,073	4,032	3,912	3,929	3,944	2,600	2,037
	1日平均排出量	kL/日	11.2	11.0	10.7	10.8	10.8	7.1	5.6

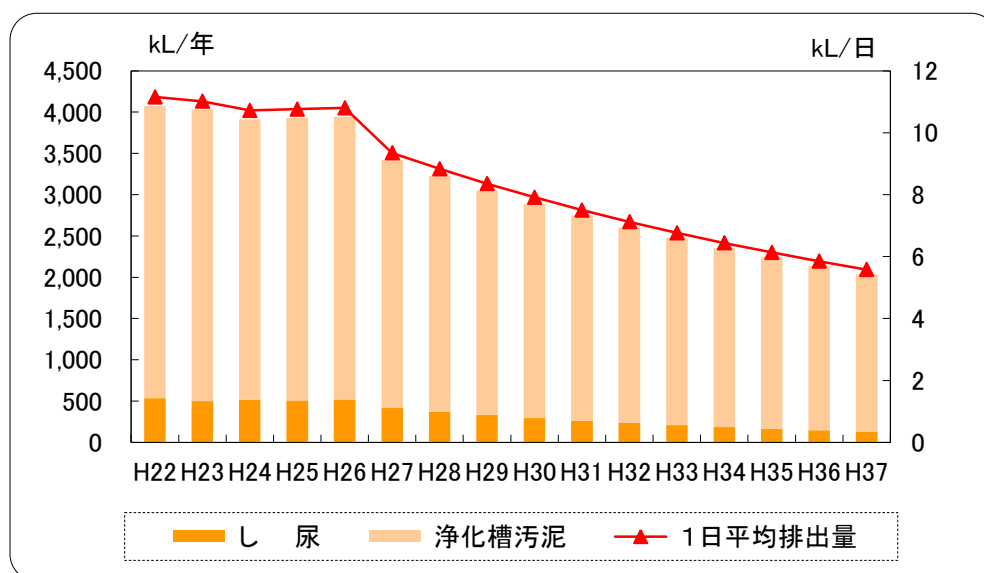


図 7-4 し尿・浄化槽汚泥量の将来予測結果

5. し尿及び浄化槽汚泥の処理計画

し尿及び浄化槽汚泥については、これまでどおり、組合のし尿処理施設において適正処理を実施していきます。

(1) 収集・運搬計画

し尿の収集運搬は、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者が実施しています。浄化槽の清掃に伴って生じた汚泥の運搬は、浄化槽法に基づく浄化槽清掃業者の許可及び、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者が、一体の業務としてバキューム式汚泥収集車及び汚泥濃縮車で行っています。

今後も、この体制を継続していくと共に、収集対象物の排出量の変化への対応、計画的収集作業の指導により、より安定的な収集・運搬を行います。

(2) 中間処理・最終処分計画

収集されたし尿及び浄化槽汚泥は現在と同様に、組合に処理を委託し、し尿処理施設から発生したし渣及び汚泥は民間業者が処理・処分します。

6. 広報・啓発活動

個々の家庭から排出される生活雑排水の未処理放流が、生活環境の悪化や公共用水域の水質汚濁の要因となることを広く周知し、生活環境や水環境の保全のための生活排水の適正処理の必要性について、岐阜県が推進する「ブルーリバー作戦」等により、家庭で実践できる排水対策の啓発活動を進めていきます。

ブルーリバー作戦：あなたもできる「^よ四い心がけ」

- 流さない 水切りネットや ゴミかごで
- 流さない 廃油回収 再利用
- 流さない 洗剤適量 少なめに
- 流さない 小さなゴミも 空き缶も

第8章 計画の推進

1. 廃棄物減量等推進協議会

本町における廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する施策を推進するため、廃棄物減量等推進協議会を定期的に開催し、計画の進行管理に努めます。

2. 地球温暖化への配慮

日本における平成 25 年度の温室効果ガス排出量のうち、廃棄物部門からの二酸化炭素排出量は約 2%を占めており、基準年(平成 17 年)から比較すると 6.6%減少しています。

気候変動枠組条約第 19 回締結国会議 (COP19) において表明した 2020 年度の温室効果ガス削減目標である 2005 年度比で 3.8%減とする目標を達成するため、化石燃料を原料としているペットボトルやプラスチック製容器包装のマテリアルリサイクルや、ごみの発生抑制を進めることで、今後より一層の「循環型社会形成」を推進し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

3. 計画の推進と公表

本計画の推進には、住民・事業者・行政の協働が必要です。

住民や事業者の意見・要望を反映させ本計画を効率的に推進していくために、廃棄物減量等推進協議会によって進捗状況の管理と長期的展望に立ったシステムの選択を行い、「計画」(Plan)・「実行」(Do)・「評価」(Check)・「見直し」(Action) のいわゆる PDCA サイクルで継続的に本計画の点検・見直し・評価を実施します。

また、本計画を広く周知するため、ホームページ等で公開するとともに、広報誌「マイタウンぎなん」等により情報提供を行います。

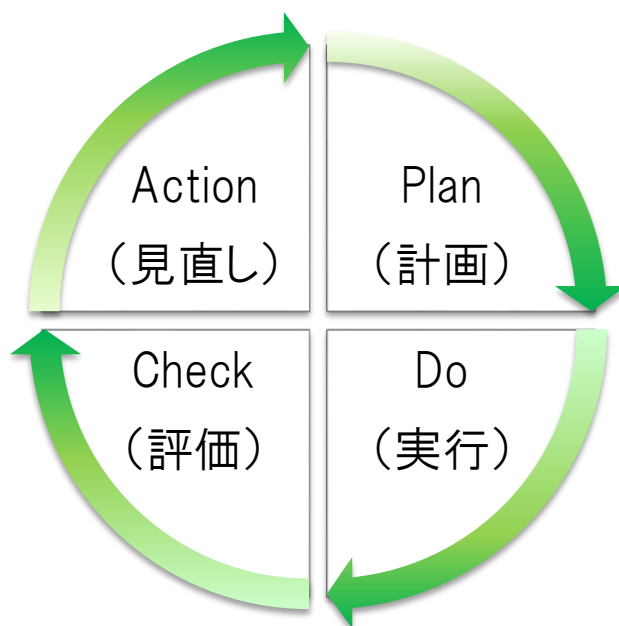


図 8-1 PDCA サイクル

資 料 編

資料1 本町の概況	61
1. 位置と自然環境	61
2. 社会環境	63
資料2 ごみ量の将来予測	72
1. 人口推計	72
2. ごみ量の将来予測	80
資料3 生活排水処理の将来予測	107
1. 生活排水処理形態別人口の予測	107
2. し尿及び汚泥発生量の予測	108
資料4 アンケート結果	109
資料5 パブリックコメント	117

資料 1 本町の概況

1. 位置と自然環境

(1) 位置と地勢

本町は、広大な濃尾平野の北部に位置し、なだらかな平坦地に広がる町で、総面積は7.91km²であり、県下では2番目に小さな面積の町です。北と西は境川をへだてて岐阜市、東は各務原市、南は笠松町に接しています。

県庁所在地の岐阜市市街地へは国道21号で約5km、名古屋市へは国道22号で南へ約30kmの近距離にあり、交通の便に恵まれています。

2つの国道が交差する岐南インターは県下一の交通量を誇り、また町の東部には東海北陸自動車道の岐阜各務原インターチェンジがあり、奥美濃・飛騨方面や東名・名神高速道路へも容易にアクセスできます。



図 9-1 岐南町位置図

(2) 気象

本町の気候は、太平洋気候に属しており、県内でも南部に位置するため、飛騨・奥美濃地方とは異なり、冬の降雪量も少なく、年間を通じて温暖な気候に恵まれています。

表 9-1 地域気象観測記録（岐阜地方気象台・平成 27 年）

項目	降水量	平均気温	最高気温	最低気温
1月	98.5	4.9	13.2	▲ 2.4
2月	36.0	5.5	16.6	▲ 2.1
3月	164.5	9.4	22.8	▲ 1.3
4月	175.0	15.2	29.1	5.5
5月	132.5	21.3	33.7	10.6
6月	275.5	22.6	32.7	13.4
7月	296.0	26.8	37.4	18.6
8月	388.5	28.2	38.7	20.9
9月	316.5	23.0	31.1	15.4
10月	79.5	18.2	28.0	8.0
11月	169.0	14.2	24.8	3.9
12月	135.0	9.2	22.1	▲ 0.2
年間	2,266.5	16.5	38.7	▲ 2.4

注) ▲はマイナスを示します。

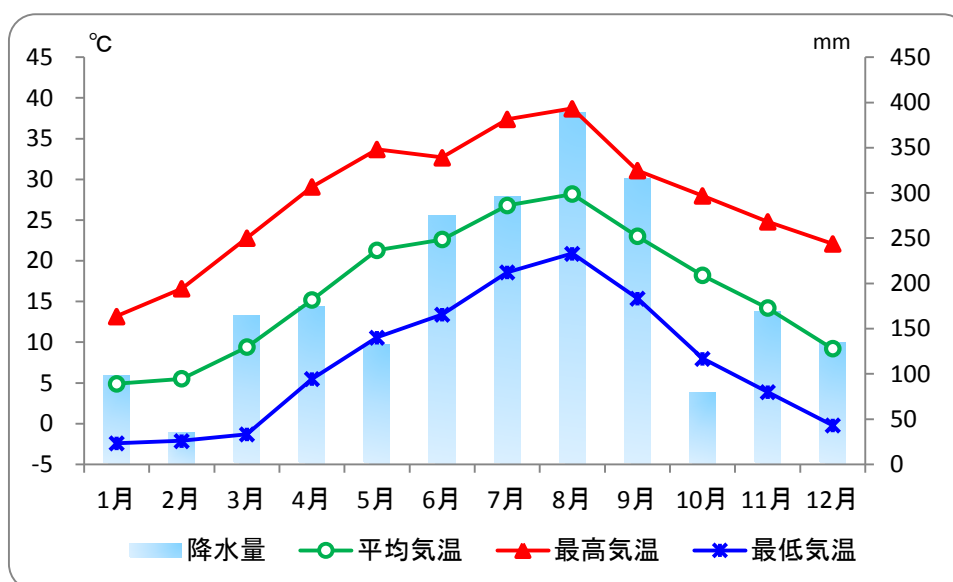


図 9-2 気温と降水量

2. 社会環境

(1) 人口

① 人口及び世帯数

過去10年間における人口及び世帯数の推移は、以下に示すとおりです。
本町の人口及び世帯数はいずれも、増加を続けています。

表 9-2 人口及び世帯数の推移

区 分	世帯数 (世帯)	人口 (人)	1世帯当たりの 人口 (人)
平成 15 年度	8,279	22,905	2.77
平成 16 年度	8,412	23,069	2.74
平成 17 年度	8,565	23,219	2.71
平成 18 年度	8,679	23,316	2.69
平成 19 年度	8,902	23,564	2.65
平成 20 年度	9,075	23,816	2.62
平成 21 年度	9,159	23,858	2.60
平成 22 年度	9,247	23,931	2.59
平成 23 年度	9,308	23,981	2.58
平成 24 年度	9,423	24,183	2.57
平成 25 年度	9,662	24,539	2.54
平成 26 年度	9,817	24,729	2.52

注) 各年度 3 月 31 日人口

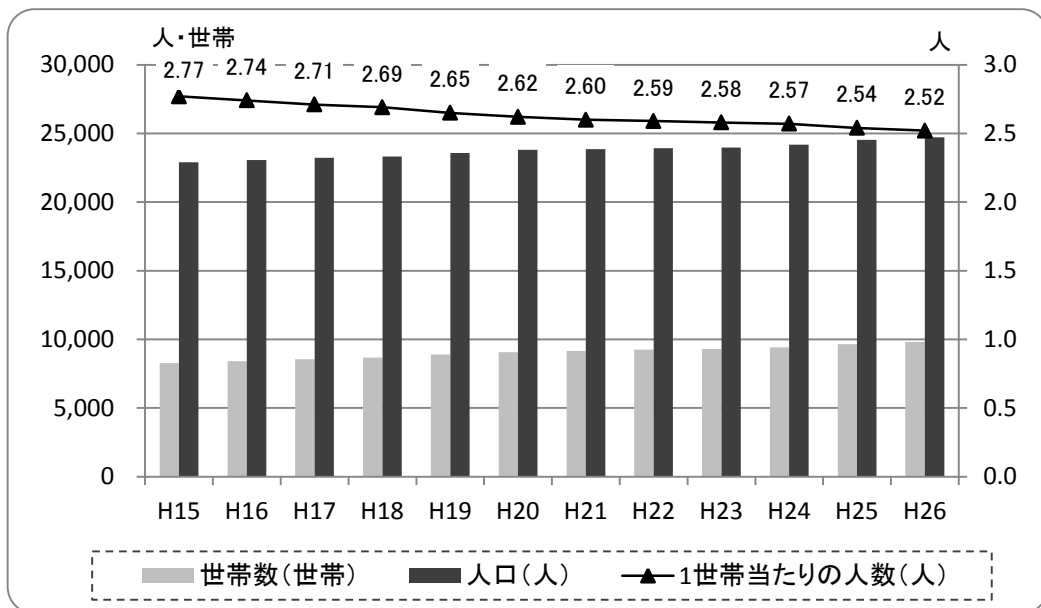


図 9-3 人口及び世帯数の推移

② 人口の年齢構成

本町の人口構成は、表 9-3、図 9-4 及び図 9-5 に示すとおりです。

年少人口（0～14 歳）と生産年齢人口（15～64 歳）は減少傾向にあり、老年人口（65 歳以上）は増加しており、平成 22 年には 65 歳以上の高齢者人口が 15 歳未満の年少人口を上回りました。

しかし、30 代及び 40 代が多い人口構成となっているため、65 歳以上の高齢者人口の割合は 18.5%と岐阜県平均の 24.1%を大きく下回り、比較的若い人口構成となっています。

表 9-3 年齢構成別人口の推移

項目	15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上	人口
平成 2 年	4,011	15,006	1,630	20,647
平成 7 年	3,547	15,657	2,047	21,251
平成 12 年	3,599	15,920	2,618	22,137
平成 17 年	3,676	15,788	3,312	22,776
平成 22 年	3,682	15,653	4,380	23,715
岐阜県（H22）	289,748	1,282,800	499,399	2,071,947

出典：総務省「国勢調査」

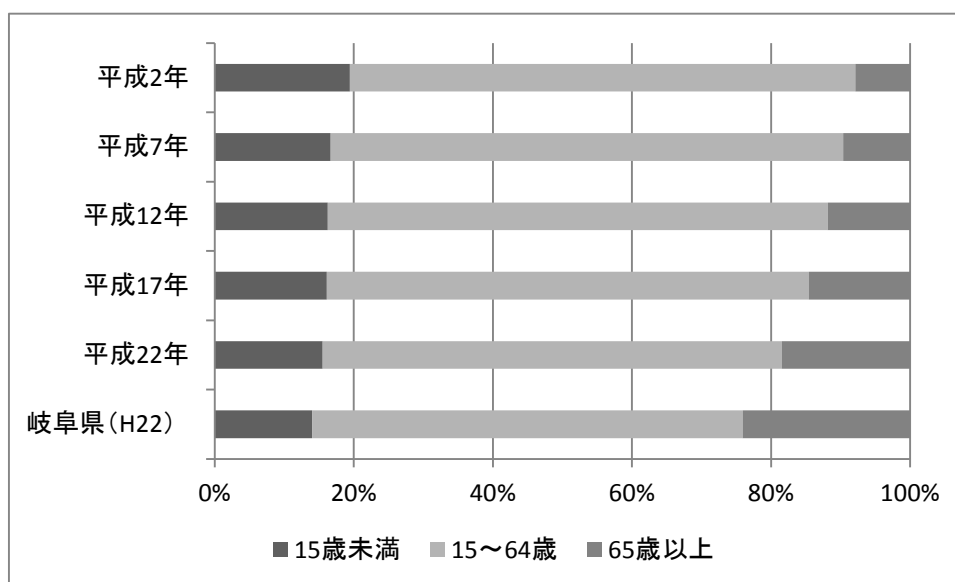


図 9-4 年齢構成別人口割合の推移

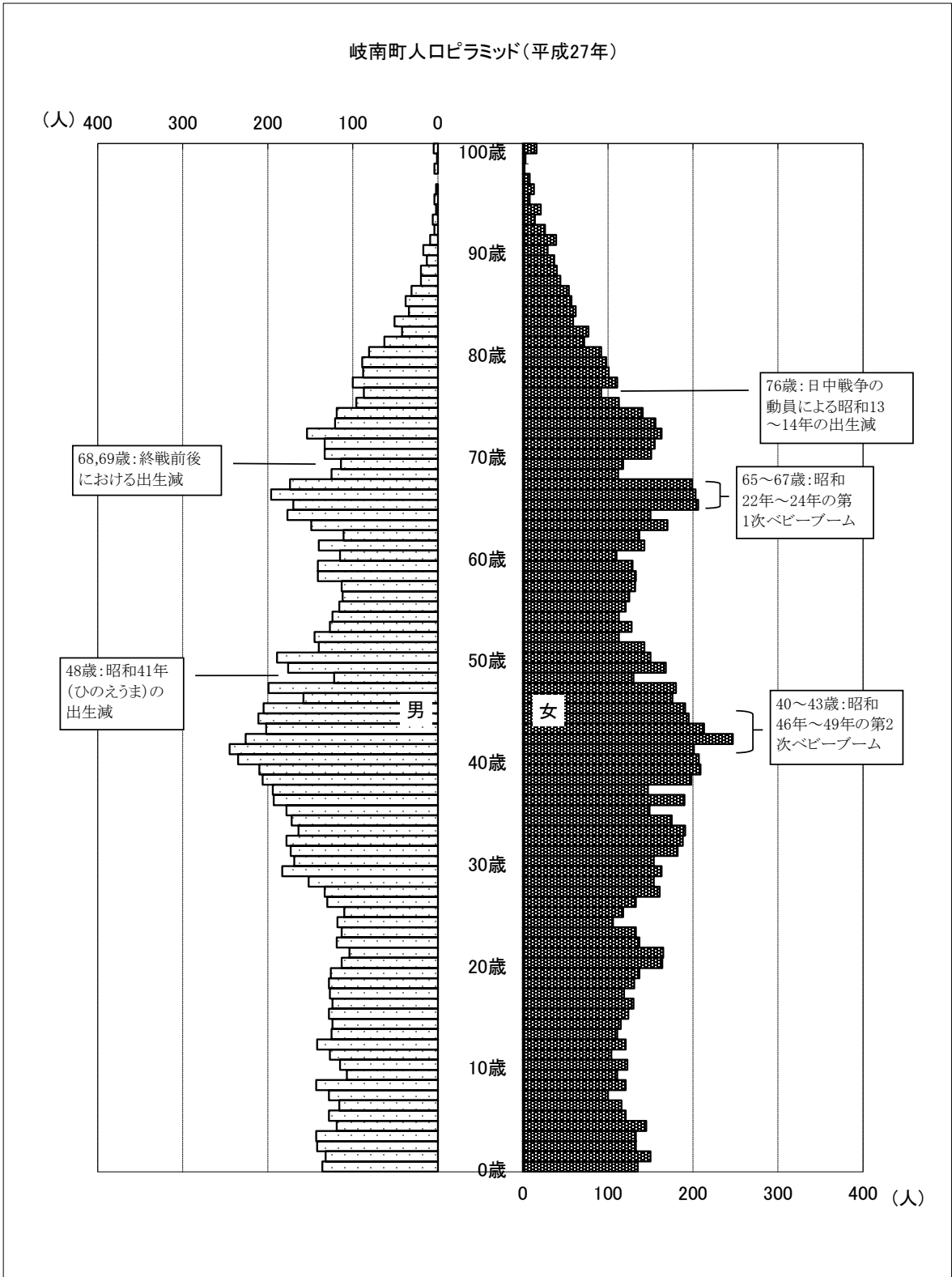


図 9-5 人口ピラミッド (平成 27 年)

(2) 土地利用

本町における土地利用の状況は、表 9-4 及び図 9-6 に示すとおりです。
田及び畑の面積が減少し、宅地化が進んでいます。

表 9-4 土地利用の推移

単位：ha

年	田	畑	宅地	雑種地	その他	合計
平成 20 年	94.2	78.9	347.8	52.3	216.8	790.0
平成 21 年	93.3	77.9	349.8	52.0	217.0	790.0
平成 22 年	91.6	76.9	352.4	52.1	217.0	790.0
平成 23 年	89.4	76.2	355.3	52.2	216.9	790.0
平成 24 年	88.1	75.6	357.6	51.7	217.0	790.0
平成 25 年	86.4	74.5	359.6	52.3	217.2	790.0

出典：岐南町「ぎなんの統計（平成 26 年度版）」

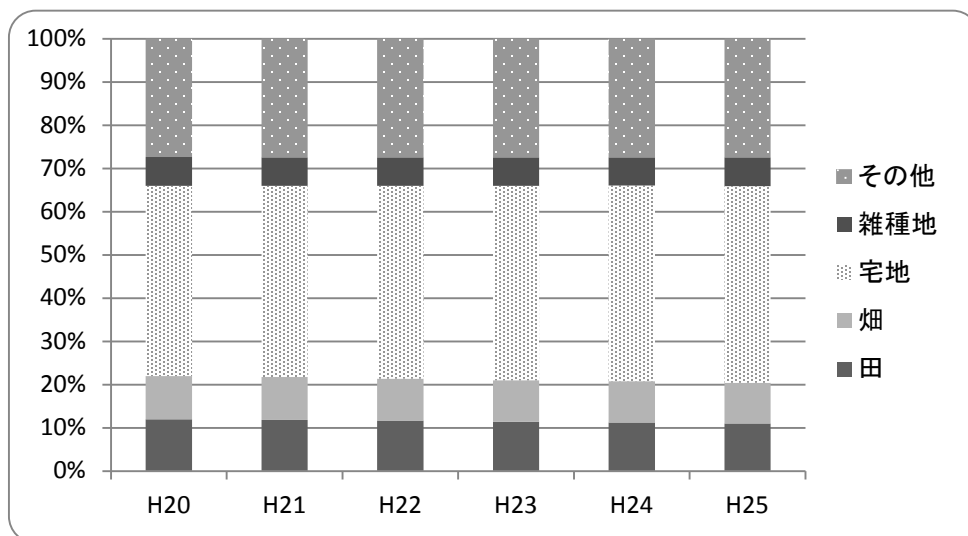


図 9-6 土地利用の推移

(3) 産業

① 産業別就業者人口

本町の産業大分類別就業人口の推移は、表 9-5 及び図 9-7 に示すとおりであり、産業大分類別事業所数及び就業者数は、表 9-6 及び表 9-7 に示すとおりです。

事業所数の割合を見ると、平成 24 年はサービス業が 30.1%、卸小売業が 25.5%と、第 3 次産業が 7 割を占めています。

産業別就業者人口は、第 2 次産業の割合が減少し、第 3 次産業の割合が増加しています。

表 9-5 産業大分類別就業人口の推移

単位：人

年度	第1次産業	第2次産業	第3次産業	就業人口
平成 2 年	332	4,602	6,228	11,162
7 年	380	4,444	7,244	12,070
12 年	282	4,125	7,724	12,136
17 年	281	3,982	8,034	12,306
22 年	248	3,679	7,962	12,323
岐阜県(H22)	31,614	331,945	625,184	1,022,616

出典：総務省「国勢調査」

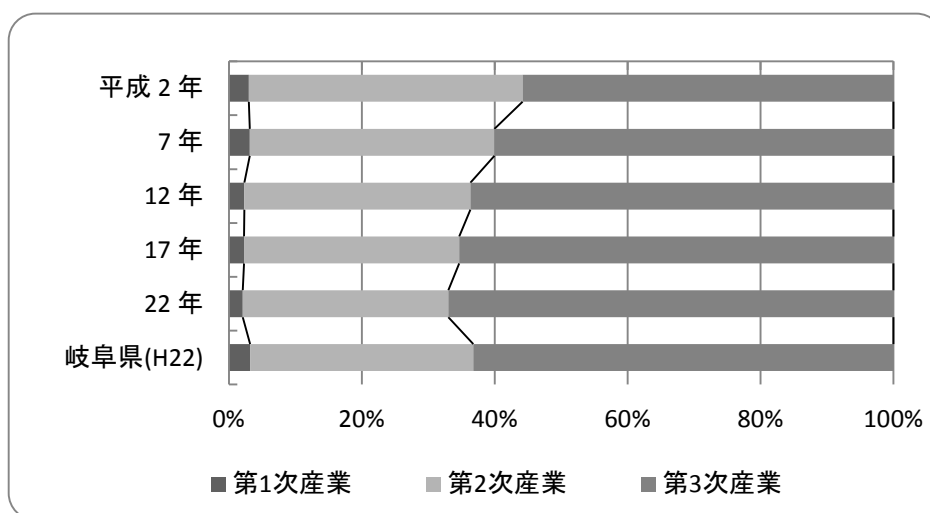


図 9-7 産業大分類別就業人口割合の推移

表 9-6 産業大分類別事業所数及びその比率

単位:事業所

産業大分類	平成18年		平成21年		平成24年	
	事業所数	比率(%)	事業所数	比率(%)	事業所数	比率(%)
第1次産業	4	0.3	3	0.2	2	0.1
農林水産業	4	0.3	3	0.2	2	0.1
第2次産業	467	29.6	455	28.2	431	29.2
鉱業	—	—	—	—	—	—
建設業	126	8.0	126	7.8	124	8.4
製造業	341	21.6	329	20.4	307	20.8
第3次産業	1,109	70.1	1,157	71.8	1,044	70.7
卸小売業	400	25.3	405	25.1	377	25.5
金融・保険業	15	0.9	17	1.1	14	0.9
不動産業	142	9.0	158	9.8	153	10.4
運輸通信業	54	3.4	66	4.1	56	3.8
電気・ガス・水道業	—	0.0	1	0.1	—	—
サービス業	498	31.5	505	31.3	444	30.1
公務	—	0.0	5	0.3	—	0.0
総計	1,580	100.0	1,615	100.0	1,477	100.0

出典：総務省「経済センサス基礎調査」

表 9-7 産業大分類別就業者数及びその比率

単位:人

産業大分類	平成18年		平成21年		平成24年	
	従業者数	比率(%)	従業者数	比率(%)	従業者数	比率(%)
第1次産業	46	0.3	23	0.1	17	0.1
農林水産業	46	0.3	23	0.1	17	0.1
第2次産業	4,186	27.1	3,973	25.6	3,863	26.5
鉱業	—	—	—	—	—	—
建設業	916	5.9	927	6.0	960	6.6
製造業	3,270	21.2	3,046	19.6	2,903	19.9
第3次産業	11,181	72.5	11,553	74.4	10,730	73.5
卸小売業	4,323	28.0	4,417	28.4	4,234	29.0
金融・保険業	158	1.0	171	1.1	185	1.3
不動産業	255	1.7	371	2.4	377	2.6
運輸通信業	1,446	9.4	1,460	9.4	1,420	9.7
電気・ガス・水道業	—	—	8	0.1	—	—
サービス業	4,999	32.4	4,959	31.9	4,514	30.9
公務	—	—	167	1.1	—	—
総計	15,413	100.0	15,549	100.0	14,610	100.0

出典：総務省「経済センサス基礎調査」

② 農 業

本町の農業の概要は、表 9-8 及び図 9-8 に示すとおりです。

農地の減少と同じく、農家数は年々減少しており、平成 22 年には農業所得を主とする農家は 31 戸であり、全世帯の 0.3% となっています。

表 9-8 農家数の推移

区分	農家数 (戸)			
	専業	兼業①	兼業②	合計
平成2年	39	23	477	539
平成7年	41	20	425	486
平成12年	20	15	453	488
平成17年	20	11	413	444
平成22年	20	11	375	406

出典：岐南町「ぎなんの統計（平成 26 年度版）」

注) 兼業①は農業所得を主とする兼業農家、兼業②は農業所得を従とする兼業農家を示します。

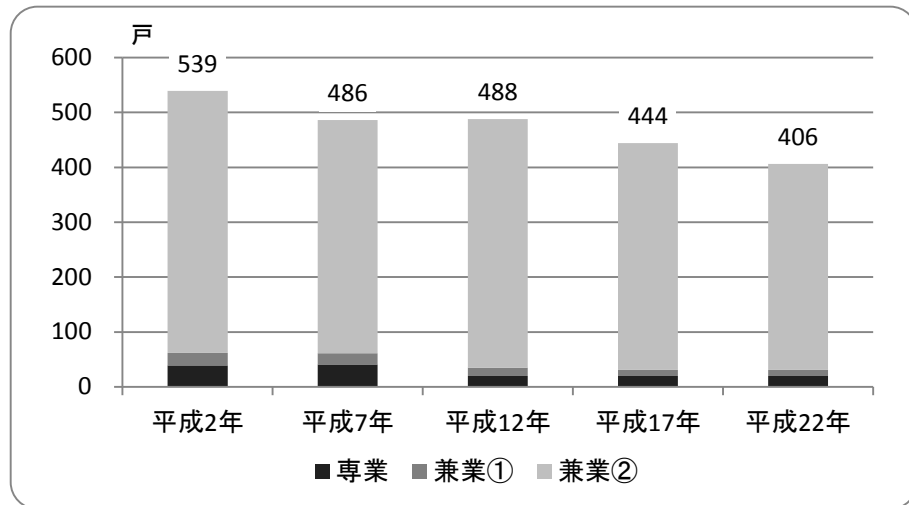


図 9-8 農家数の推移

③ 工業

本町の工業の概要は、表 9-9 及び図 9-9 に示すとおりです。

製造品出荷額は、平成 20 年のリーマン・ショックによる減少から徐々に回復傾向にあります。

製造品出荷額と異なり、事業所数、従業員数はリーマン・ショック以前の平成 19 年と比較すると低い水準であり減少傾向が続いています。

表 9-9 工業の概要

項目	事業所数 (事業所)	従業員数 (人)	製造品出荷額 (百万円)
平成19年	154	2,355	40,641
平成20年	166	2,484	41,149
平成21年	171	2,289	31,695
平成22年	145	2,121	29,751
平成24年	139	1,980	30,820
平成25年	136	2,075	32,914

出典：経済産業省「工業統計」

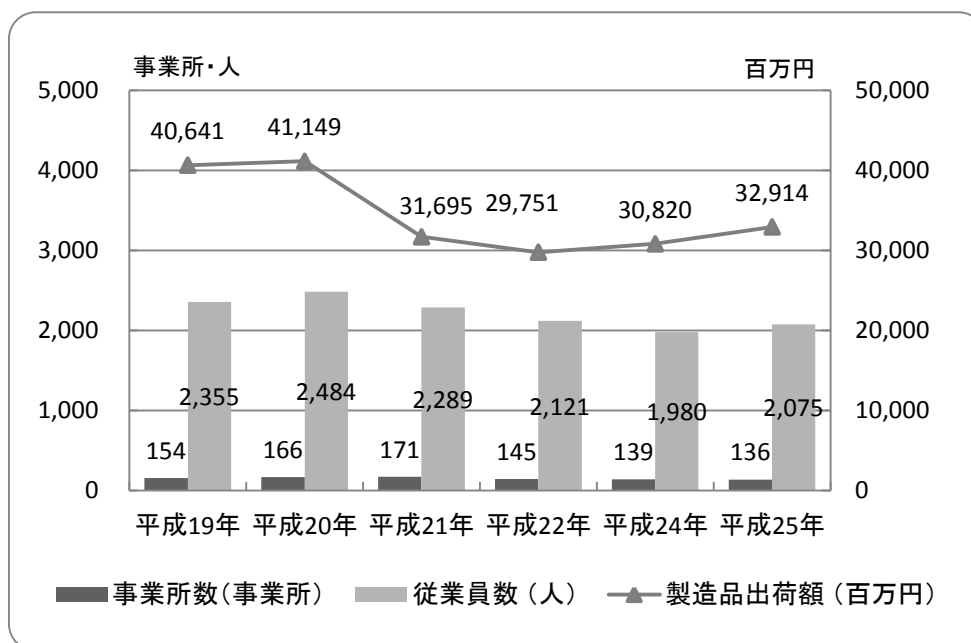


図 9-9 工業の概要

④ 商業

本町の商業の概要は、表 9-10 及び図 9-10 に示すとおりです。

年間商品販売額は平成 19 年に一時的に回復しましたが、減少傾向を示しています。

事業所数、従業員数は、減少しています。

表 9-10 商業の概要

項目	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)
平成11年	438	5,405	256,581
平成14年	432	4,844	213,129
平成16年	385	4,381	168,503
平成19年	351	3,984	188,708
平成24年	280	3,086	130,090
平成26年	255	2,913	125,190

出典：岐南町「ぎなんの統計（平成 26 年度版）」、経済産業省「商業統計」

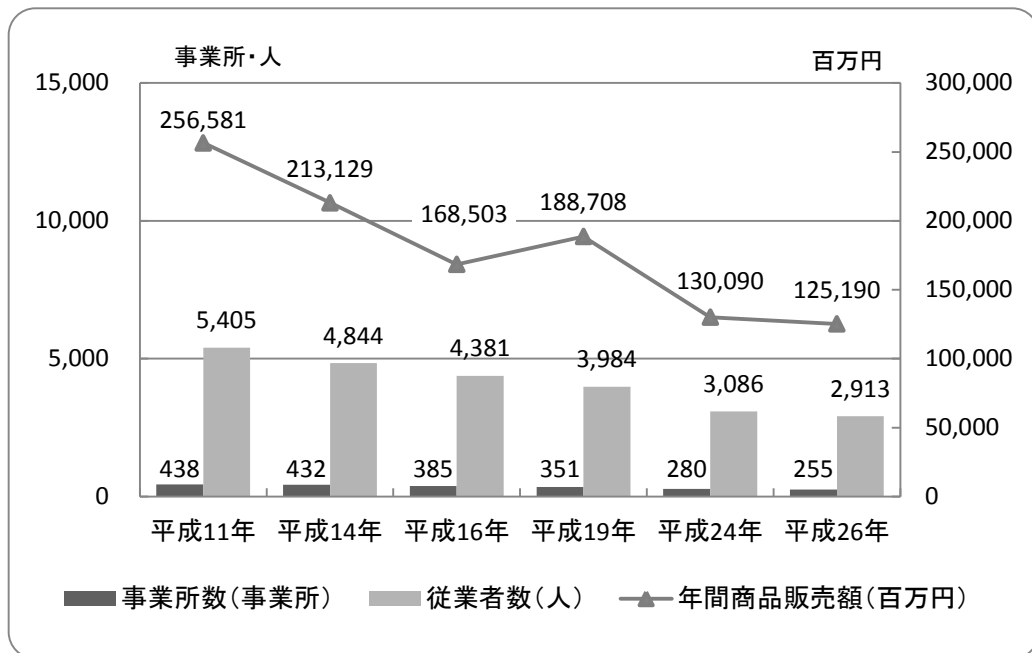


図 9-10 商業の概要

資料 2 ごみ量の将来予測

1. 人口推計

平成 27 年度から平成 32 年度までの人口推計は、平成 22 年から平成 27 年の伸び率を維持すると仮定してコーホート変化率法による推計を実施し、平成 32 年以降の人口推計は国立社会保障・人口問題研究所の平成 25 年 3 月推計値に使用された生残率、純移動率を使用してコーホート要因法による推計を行いました。

(1) コーホート変化率法

「コーホート変化率法」とは、各コーホートについて、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法です。

5 歳以上の年齢における男女別・各年齢別の将来人口は、基準年次 t 年の男女別・5 歳階級別人口に、 $(t-5)$ 年から t 年にかけての「コーホート変化率」及び「特定年齢人口割合」を乗じることによって、推計します。

年齢 0～4 歳人口は、「1 階級下の人口」が存在しないため「コーホート変化率」を用いて推計することはできません。このため、年齢 0～4 歳人口は、母親となり得る女性の人口と「子ども女性比」から推計します。

女性子ども比とは、母親となる年齢層（25～34 歳）に対する 0～4 歳の子ども（男児・女児）の割合であり、この比率を用いることによって将来（ $t+5$ ）年時点の男女別・0～4 歳人口を近似値的に求めることができます。

表 10-1 コーホート変化率法による推計結果

	平成32年			平成37年			平成42年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	25,370	12,595	12,775	25,912	12,897	13,015	26,314	13,136	13,178
0～4	1,181	603	578	1,194	610	584	1,184	605	579
5～9	1,256	649	607	1,092	567	525	1,104	573	530
10～14	1,212	610	602	1,253	639	614	1,090	559	531
15～19	1,288	628	660	1,288	599	689	1,331	628	703
20～24	1,343	710	633	1,360	704	656	1,357	672	685
25～29	1,613	812	800	1,710	948	762	1,731	941	789
30～34	1,673	878	796	1,779	927	851	1,893	1,082	810
35～39	1,751	885	866	1,651	882	769	1,754	932	823
40～44	1,818	976	842	1,694	871	823	1,598	867	731
45～49	2,193	1,115	1,078	1,822	955	866	1,699	852	847
50～54	1,676	838	838	2,125	1,087	1,039	1,766	931	834
55～59	1,399	722	677	1,659	819	840	2,103	1,062	1,041
60～64	1,239	622	617	1,398	729	669	1,658	827	831
65～69	1,331	641	690	1,164	563	601	1,312	660	652
70～74	1,524	717	806	1,255	595	661	1,098	522	576
75～79	1,268	590	678	1,362	628	734	1,122	521	601
80～84	817	350	467	1,036	435	601	1,113	463	651
85～89	503	178	325	658	237	421	845	302	543
90～	284	70	215	411	101	310	558	137	421

(2) コーホート要因法

① 推計方法

コーホート要因法による人口推計は、「地域行動計画策定の手引き(平成15年8月 財団法人こども未来財団)」に準じて行い、生残率、純移動率の仮定値は国立社会保障・人口問題研究所の平成25年3月推計の値を用いました。

コーホートとは、同年(または同期間)に出生した集団のことをいい、コーホート法とは、その集団ごとの時間変化を軸に人口の変化をとらえる方法です。例えば、ある地域における20～24歳の人口は、5年後には25～29歳に達します。その年齢の集団は20～24年前に出生したものであり、その人口集団を年次的に追跡し、その人口集団の軌跡の変化量、変化率を用いる方法を一般的にコーホート法といいます。

コーホート要因法による人口の将来予測の流れは、図10-1に示すとおりです。

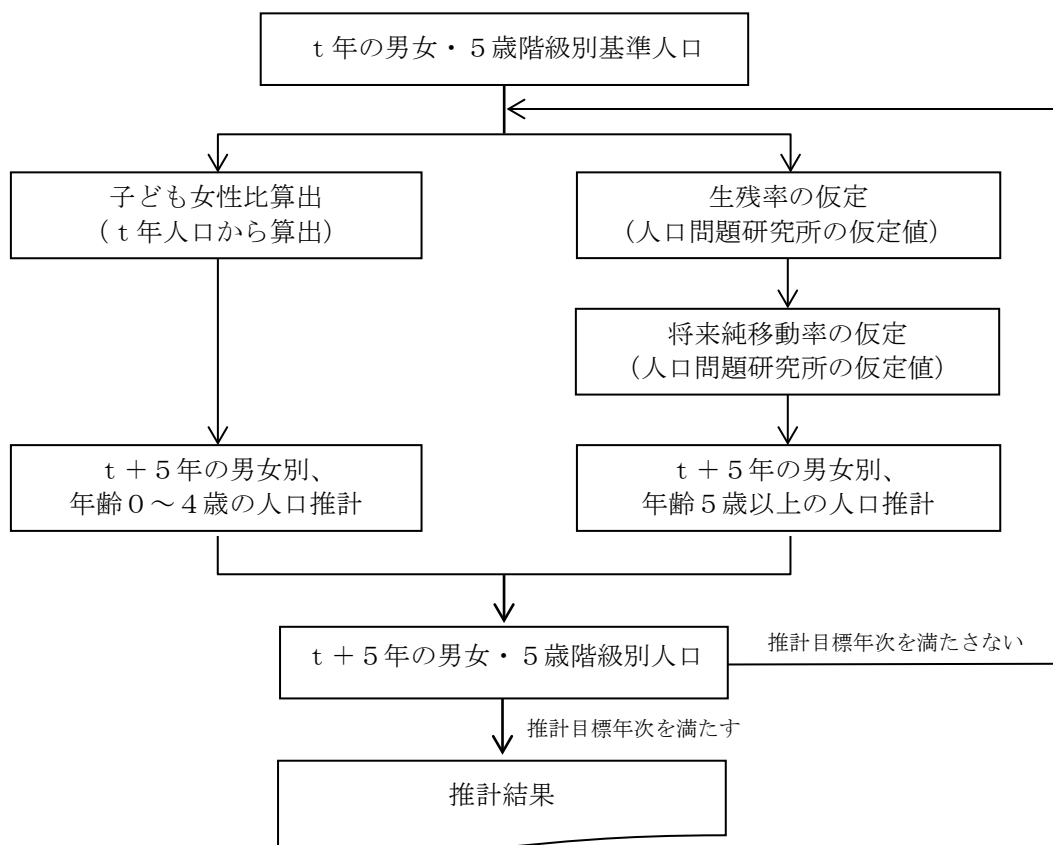


図10-1 コーホート要因法による将来予測の流れ

② 推計範囲

平成 17 年及び平成 22 年の国勢調査人口と、平成 27 年 3 月 31 日の住民基本台帳人口を用いて、平成 32 年から平成 42 年まで 5 年ごとの将来人口を推計し、その推計結果を回帰式により近似し、平成 32 年から平成 42 年の単年度の将来人口を推計しました。

さらに、推計年次の男女別 5 階級別人口に特定年齢割合を乗じることによって、男女別・各年齢別の将来人口を推計します。特定年齢割合の算出方法は以下のとおりです。

なお、国勢調査人口に含まれる年齢不詳分は推計から除外しました。

$$\text{男女別・n歳人口割合} = \text{男女別・n歳人口} \div \text{男女別・5歳階級別人口}$$

表 10-2 実績人口

	平成17年			平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	22,776	11,205	11,571	23,715	11,642	12,073	24,729	12,263	12,466
0～4	1,329	677	652	1,281	656	625	1,358	690	668
5～9	1,227	649	578	1,198	634	564	1,214	619	595
10～14	1,120	527	593	1,203	624	579	1,216	639	577
15～19	1,134	556	578	1,206	502	704	1,270	633	637
20～24	1,250	572	678	1,176	573	603	1,273	608	665
25～29	1,752	846	906	1,552	761	791	1,517	769	748
30～34	2,358	1,177	1,181	1,853	952	901	1,777	881	896
35～39	1,805	935	870	2,260	1,138	1,122	1,878	992	886
40～44	1,457	758	699	1,745	904	841	2,187	1,139	1,048
45～49	1,266	629	637	1,478	763	715	1,730	860	870
50～54	1,421	714	707	1,243	617	626	1,414	739	675
55～59	1,776	902	874	1,395	682	713	1,240	616	624
60～64	1,569	769	800	1,745	885	860	1,417	709	708
65～69	1,189	587	602	1,495	719	776	1,616	774	842
70～74	944	448	496	1,113	538	575	1,419	674	745
75～79	583	255	328	837	389	448	1,002	475	527
80～84	336	121	215	498	196	302	656	274	382
85～89	171	54	117	281	79	202	352	123	229
90～94	75	25	50	111	22	89	155	38	117
95歳～	14	4	10	45	8	37	38	11	27

注) 平成 17 年、平成 22 年は国勢調査人口。平成 27 年は住民基本台帳人口

③ 年齢5歳以上の人口推計

ア 生残率の仮定

生残率は、『日本の市区町村別将来推計人口』（平成25年3月推計）の「市区町村別、男女・年齢（5歳階級）別生残率」の値と仮定しました。

表 10-3 生残率の仮定値

	期首年齢→期末年齢	平成27～32年	平成32～37年	平成37～42年
男	0～4歳→5～9歳	0.99911	0.99920	0.99929
	5～9歳→10～14歳	0.99947	0.99953	0.99957
	10～14歳→15～19歳	0.99867	0.99879	0.99890
	15～19歳→20～24歳	0.99724	0.99744	0.99761
	20～24歳→25～29歳	0.99691	0.99705	0.99718
	25～29歳→30～34歳	0.99681	0.99693	0.99703
	30～34歳→35～39歳	0.99612	0.99628	0.99642
	35～39歳→40～44歳	0.99483	0.99503	0.99520
	40～44歳→45～49歳	0.99186	0.99221	0.99250
	45～49歳→50～54歳	0.98683	0.98738	0.98785
	50～54歳→55～59歳	0.97981	0.98061	0.98127
	55～59歳→60～64歳	0.96762	0.96888	0.96996
	60～64歳→65～69歳	0.94608	0.94789	0.94944
	65～69歳→70～74歳	0.91316	0.91632	0.91902
	70～74歳→75～79歳	0.86127	0.86755	0.87293
	75～79歳→80～84歳	0.77604	0.78646	0.79558
80～84歳→85～89歳	0.64407	0.65935	0.67296	
85歳以上→90歳以上	0.38311	0.39668	0.40908	
女	0～4歳→5～9歳	0.99916	0.99924	0.99931
	5～9歳→10～14歳	0.99958	0.99962	0.99966
	10～14歳→15～19歳	0.99938	0.99943	0.99947
	15～19歳→20～24歳	0.99896	0.99900	0.99904
	20～24歳→25～29歳	0.99850	0.99857	0.99864
	25～29歳→30～34歳	0.99835	0.99843	0.99851
	30～34歳→35～39歳	0.99814	0.99822	0.99828
	35～39歳→40～44歳	0.99685	0.99699	0.99713
	40～44歳→45～49歳	0.99537	0.99559	0.99578
	45～49歳→50～54歳	0.99331	0.99360	0.99385
	50～54歳→55～59歳	0.98974	0.99019	0.99059
	55～59歳→60～64歳	0.98563	0.98623	0.98676
	60～64歳→65～69歳	0.97579	0.97675	0.97760
	65～69歳→70～74歳	0.95697	0.95883	0.96046
	70～74歳→75～79歳	0.92751	0.93084	0.93370
	75～79歳→80～84歳	0.87490	0.88121	0.88663
80～84歳→85～89歳	0.77186	0.78407	0.79469	
85歳以上→90歳以上	0.47477	0.48815	0.50025	

イ 将来純移動率の仮定

過去における実績純移動率は、地域行動計画策定の手引きに準じ、封鎖人口（転出入が一切なく生残率のみで規定されると仮定した理論上の人口）と実際人口との差として純移動数を求め、その実際人口に対する比として算出します。平成 22 年→27 年の 0～4 歳→5～9 歳男子純移動率を例に、算出式を以下に示します。

平成 27 年の 5～9 歳の男子封鎖人口

= 平成 22 年の 0～4 歳男子人口 × 平成 22～27 年の 0～4 歳→5～9 歳男子生残率

平成 22～27 年の 0～4 歳→5～9 歳男子純移動数

= 平成 27 年の 5～9 歳の男子実際人口 - 平成 27 年の 5～9 歳の男子封鎖人口

平成 22～27 年の 0～4 歳→5～9 歳男子純移動率

= 平成 27 年の 0～4 歳→5～9 歳男子純移動数 × 平成 22 年の 0～4 歳男子人口

過去における実績純移動率を踏まえ、『日本の市区町村別将来推計人口』（平成 25 年 3 月推計）の「市区町村別、将来純移動率」の値と仮定しました。

表 10-4 封鎖人口・純移動数

	封鎖人口						純移動数					
	平成17年～平成22年			平成22年～平成27年			平成17年～平成22年			平成22年～平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
5～9	1,235	652	583	1,171	611	560	▲ 37	▲ 18	▲ 19	43	8	35
10～14	1,176	583	593	1,202	639	563	27	41	▲ 14	14	0	14
15～19	1,140	490	650	1,232	560	672	66	12	54	38	73	▲ 35
20～24	1,190	603	587	1,197	528	669	▲ 14	▲ 30	16	76	80	▲ 4
25～29	1,701	803	898	1,478	743	735	▲ 149	▲ 42	▲ 107	39	26	13
30～34	2,224	1,118	1,106	1,836	912	924	▲ 371	▲ 166	▲ 205	▲ 59	▲ 31	▲ 28
35～39	2,341	1,171	1,170	2,111	1,105	1,006	▲ 81	▲ 33	▲ 48	▲ 233	▲ 113	▲ 120
40～44	1,426	750	676	2,189	1,105	1,084	319	154	165	▲ 2	34	▲ 36
45～49	1,250	634	616	1,430	723	707	228	129	99	300	137	163
50～54	1,243	611	632	1,226	636	590	0	6	▲ 6	188	103	85
55～59	1,686	846	840	1,244	598	646	▲ 291	▲ 164	▲ 127	▲ 4	18	▲ 22
60～64	1,897	970	927	1,669	835	834	▲ 152	▲ 85	▲ 67	▲ 252	▲ 126	▲ 126
65～69	1,268	606	662	1,742	843	899	227	113	114	▲ 126	▲ 69	▲ 57
70～74	915	444	471	1,213	582	631	198	94	104	206	92	114
75～79	646	289	357	811	384	427	191	100	91	191	91	100
80～84	343	125	218	523	210	313	155	71	84	133	64	69
85～89	181	51	130	275	83	192	100	28	72	77	40	37

注) ▲はマイナスを示す。

表 10-5 将来純移動率

	期首年齢→期末年齢	平成27～32年	平成32～37年	平成37～42年
男	0～4歳→5～9歳	▲ 0.03975	▲ 0.03915	▲ 0.03908
	5～9歳→10～14歳	▲ 0.02266	▲ 0.02192	▲ 0.02177
	10～14歳→15～19歳	▲ 0.02868	▲ 0.02880	▲ 0.02922
	15～19歳→20～24歳	0.04164	0.04123	0.03977
	20～24歳→25～29歳	0.17937	0.15250	0.14626
	25～29歳→30～34歳	0.06489	0.07161	0.06118
	30～34歳→35～39歳	▲ 0.01706	▲ 0.01619	▲ 0.01635
	35～39歳→40～44歳	▲ 0.01865	▲ 0.01809	▲ 0.01824
	40～44歳→45～49歳	0.00383	0.00416	0.00415
	45～49歳→50～54歳	▲ 0.00858	▲ 0.00870	▲ 0.00883
	50～54歳→55～59歳	▲ 0.01752	▲ 0.01730	▲ 0.01754
	55～59歳→60～64歳	0.00177	0.00049	▲ 0.00032
	60～64歳→65～69歳	▲ 0.01083	▲ 0.01028	▲ 0.00996
	65～69歳→70～74歳	0.00027	▲ 0.00082	▲ 0.00032
	70～74歳→75～79歳	0.00175	0.00485	0.00273
	75～79歳→80～84歳	▲ 0.05380	▲ 0.05555	▲ 0.05172
	80～84歳→85～89歳	0.01214	0.00831	0.00486
	85歳以上→90歳以上	0.02622	0.01962	0.01203
女	0～4歳→5～9歳	▲ 0.07365	▲ 0.07320	▲ 0.07309
	5～9歳→10～14歳	▲ 0.00286	▲ 0.00234	▲ 0.00221
	10～14歳→15～19歳	0.08709	0.08224	0.07656
	15～19歳→20～24歳	0.03906	0.04026	0.03905
	20～24歳→25～29歳	0.08050	0.08570	0.08651
	25～29歳→30～34歳	▲ 0.00285	▲ 0.00058	▲ 0.00079
	30～34歳→35～39歳	▲ 0.02952	▲ 0.02826	▲ 0.02822
	35～39歳→40～44歳	▲ 0.01865	▲ 0.01789	▲ 0.01779
	40～44歳→45～49歳	0.00745	0.00883	0.00877
	45～49歳→50～54歳	▲ 0.00893	▲ 0.00896	▲ 0.00896
	50～54歳→55～59歳	0.00650	0.00557	0.00408
	55～59歳→60～64歳	▲ 0.00320	▲ 0.00288	▲ 0.00290
	60～64歳→65～69歳	▲ 0.00337	▲ 0.00319	▲ 0.00305
	65～69歳→70～74歳	▲ 0.00131	▲ 0.00220	▲ 0.00198
	70～74歳→75～79歳	▲ 0.01658	▲ 0.01521	▲ 0.01699
	75～79歳→80～84歳	▲ 0.00850	▲ 0.00898	▲ 0.00678
	80～84歳→85～89歳	▲ 0.00364	▲ 0.00486	▲ 0.00700
	85歳以上→90歳以上	0.02699	0.02129	0.01203

注) ▲はマイナスを示す。

ウ 年齢5歳以上の人口推計

ア及びイで仮定した生残率及び将来純移動率を用いることで、 t 年の男女・5歳階級別人口から、 $(t+5)$ 年の男女別の1階層上(5歳上)の将来人口が推計されます。平成27年の5歳～9歳男子を例に算出式を以下に示します。

平成27年の5～9歳の男子人口

$$\begin{aligned} &= \text{平成22年の0～4歳男子人口} \times (\text{生残率} + \text{純移動率}) \\ &= \text{平成22年の0～4歳男子人口} \times (\text{平成22～27年の0～4歳} \rightarrow \text{5～9歳男子生残率} + \text{平成22～27年の0～4歳} \rightarrow \text{5～9歳男子純移動率}) \end{aligned}$$

④ 年齢0～4歳人口の推計

年齢0～4歳人口は、1階級下の人口が存在しないため、母親となり得る女性の人口と子ども女性比から推計を行います。

ア 子ども女性比の算出

子ども女性比とは、母親となる年齢層(25～34歳)に対する0～4歳の子ども(男児・女児)の割合であり、この比率を用いることによって将来($t+5$)年時点の男女別・0～4歳人口を近似値的に求めることができます。算出式は以下のとおりです。

$$\text{子ども女性比} = \text{男女別} \cdot t \text{年} 0 \sim 4 \text{歳人口} \div t \text{年} \text{女子} 25 \sim 34 \text{歳人口}$$

表 10-6 子ども女性比・0～4歳性比

	平成32年	平成37年	平成42年
子ども女性比	0.20527	0.20460	0.20991
0～4歳性比	105.40	105.40	105.40

イ 年齢0～4歳人口の推計

②で求められた($t+5$)年時点の女性25～34歳人口に子ども女性比を乗じることにより、($t+5$)年の0～4歳人口を算出します。

$$t+5 \text{年の} 0 \sim 4 \text{歳男子人口} = t+5 \text{年の} 25 \sim 34 \text{歳女子人口} \times \text{子ども女性比}$$

(3) 推計結果

人口推計結果は、以下に示すとおりです。

表 10-7 将来人口推計結果

	平成32年			平成37年			平成42年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	25,370	12,595	12,775	25,183	12,534	12,648	24,918	12,388	12,530
0～4	1,181	603	578	1,099	561	537	1,057	540	517
5～9	1,256	649	607	1,114	579	535	1,037	539	498
10～14	1,212	610	602	1,239	634	605	1,100	566	534
15～19	1,288	628	660	1,243	591	652	1,266	615	651
20～24	1,343	710	633	1,339	653	686	1,290	613	677
25～29	1,613	812	800	1,502	816	686	1,491	747	744
30～34	1,673	878	796	1,667	868	799	1,547	863	684
35～39	1,751	885	866	1,632	860	772	1,626	851	775
40～44	1,818	976	842	1,713	865	848	1,596	840	756
45～49	2,193	1,115	1,078	1,818	972	846	1,714	862	852
50～54	1,676	838	838	2,153	1,091	1,062	1,785	952	833
55～59	1,399	722	677	1,643	808	835	2,107	1,051	1,056
60～64	1,239	622	617	1,366	700	666	1,605	783	822
65～69	1,331	641	690	1,185	584	601	1,307	658	649
70～74	1,524	717	806	1,247	587	660	1,113	537	576
75～79	1,268	590	678	1,364	626	738	1,119	514	605
80～84	817	350	467	1,022	431	591	1,115	466	649
85～89	503	178	325	598	234	364	758	292	466
90～	284	70	215	239	74	165	285	99	186

表 10-8 将来人口推計結果（単年度）

	年	総数	男	女
実績	平成22年	23,715	11,642	12,073
	平成27年	24,729	12,263	12,466
推計	平成28年	24,857	12,327	12,530
	平成29年	24,985	12,391	12,594
	平成30年	25,113	12,455	12,658
	平成31年	25,241	12,519	12,722
	平成32年	25,370	12,595	12,775
	平成33年	25,334	12,584	12,750
	平成34年	25,291	12,569	12,722
	平成35年	25,248	12,554	12,694
	平成36年	25,205	12,539	12,666
	平成37年	25,183	12,534	12,648
	平成38年	25,124	12,502	12,622
	平成39年	25,065	12,471	12,594
	平成40年	25,006	12,440	12,566
平成41年	24,947	12,409	12,538	
平成42年	24,918	12,388	12,530	

2. ごみ量の将来予測

(1) トレンド推計の方法

今後のごみ発生量と処理処分量の動向を把握するために、ごみ種別の発生原単位の予測を行いました。それぞれの予測については、過去の実績値からトレンド推計式を用いて行いました。

トレンド推計は、過去の実績をグラフにプロットしてその規則性を見出し、さらにその規則性により適合する傾向線を最小二乗法により算出する方法です。

5式の予測式より、5つの推計値が得られます。これらの中から1つの推計値を選定する際に、相関係数が最も高い推計式の推計値を採用しましたが、増加や減少の幅が著しく大きいものや減少により値がゼロとなるような、現実性の低いものについては採用を見送りました。

また、相関係数が低いものについては、下記の一般値を根拠に、過去の実績との相関が認められないものとして、別途平均値等を用いました。

表 10-9 トレンド推計式

一次傾向式： $y = a + b\chi$	y ：ごみ量
二次傾向式： $y = a + b\chi + c\chi^2$	χ ：経過年数
一次指数式： $y = a \cdot b^x$	k ：飽和係数
べき乗式： $y = y_0 + a \cdot \chi^b$	a, b, c ：係数
ロジスティック式： $y = k \div (1 + e^{(b - a\chi)})$	y_0 ：基準年量

【トレンド推計式の説明】

- 一次傾向式：トレンドを直線に置き換えたときの推計式です。式の b はこの勾配の値で、 b が正符号のとき上昇傾向となり、 b が負符号のとき下降傾向となります。推計値が少なく出る傾向があります。
- 二次傾向式：トレンドを放物線に置き換えたときの推計式です。徐々に増加又は減少を示す曲線です。
- 一次指数式：過去のデータの伸びを一定の比率で増加又は減少させる公式です。増加あるいは減少傾向は急激になります。過去のデータが同比率的な傾向のときにあてはめやすい。
- べき乗式：過去のデータの伸びを徐々に増加させる公式です。実績値が増加し続ける条件で、最もあてはまりが良い。
- ロジスティック式：増加又は減少傾向を加速度的に伸ばした後、徐々に鈍化させ一定の値で飽和に達する推計式です。
- 相関係数：

【 $0 \leq r \leq 0.2$ 】	： ほとんど相関がない
【 $0.2 \leq r \leq 0.4$ 】	： やや相関がある
【 $0.4 \leq r \leq 0.7$ 】	： かなり相関がある
【 $0.7 \leq r \leq 1$ 】	： 強い相関がある

(2) ごみ発生量の予測

① 資源ごみ

収集量とエコ・ステーションの搬入量を合算し、1人1日あたりごみ量を算出してトレンド推計を行い、収集量と直接搬入量（エコ・ステーション搬入量）の比率は過去5年間の実績の割合で按分しました。

表 10-10 ごみ種別の収集と直接搬入の比率

項目	収集	直接搬入
びん	72.8%	27.2%
スチール缶	56.5%	43.5%
アルミ缶	48.4%	51.6%
ペットボトル	47.7%	52.3%
トレイ	48.3%	51.7%
プラスチック製容器包装	61.9%	38.1%
ダンボール	37.7%	62.3%
新聞	47.8%	52.2%
雑誌	36.1%	63.9%
牛乳パック	33.1%	66.9%
紙製容器包装	73.8%	26.2%
古着	50.0%	50.0%

② 事業系可燃ごみ

事業系可燃ごみ有料化の実施による排出抑制量は、「一般廃棄物有料化の手引」（環境省・平成25年4月）に示された「事業系一般廃棄物の有料化前後の一人当たり事業系一般廃棄物処理量変化」のグラフより読み取った平均的な値である「10%削減」を採用しました。

③ 燃える大型ごみ

監視カメラの増設等により、燃える大型ごみの不法投棄対策を強化することで、毎年1%ずつ排出量が削減すると設定しました。

④ 雑がみ

経済産業省委託調査である「雑誌・雑がみの有効利用に関する調査報告書」（三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社・平成 25 年 2 月）に示された「雑がみ」の回収量平均値は 4.3kg/年・人です。

本町ではすでに「紙製容器包装」の回収を実施しており、1.3kg/年・人の回収実績があることから、残りの 3kg/年・人が潜在的な「雑がみ」の量であると考えられます。

雑がみの回収が浸透する期間を考慮し、3 年かけて毎年 1kg/年・人ずつ「家庭系可燃ごみ」から「雑がみ」に移行すると仮定しました。

⑤ 排出量が少ないごみ

エコ・ステーションで回収している、エコキャップ、廃食油、蛍光灯、乾電池は搬入量が少ないため、過去 3 年間の平均値を採用しました。

⑥ 個別のごみ発生量

トレンド推計結果は、表 10-11～表 10-29 に示すとおりです。

表 10-11 家庭系・可燃ごみの推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
22		426.69	—	426.69	—	426.69	—	426.69	—	426.69	—	426.69
23	実 績	439.53	12.84	439.53	12.84	439.53	12.84	439.53	12.84	439.53	12.84	439.53
24		444.43	4.90	444.43	4.90	444.43	4.90	444.43	4.90	444.43	4.90	444.43
25		449.07	4.64	449.07	4.64	449.07	4.64	449.07	4.64	449.07	4.64	449.07
26		452.88	3.81	452.88	3.81	452.88	3.81	452.88	3.81	452.88	3.81	452.88
27		461.10	8.22	451.94	-0.94	461.49	8.61	455.77	2.89	453.61	0.73	442.52
28	467.29	6.19	448.97	-2.97	468.02	6.53	458.63	2.86	454.27	0.66		
29	473.48	6.19	443.38	-5.59	474.65	6.63	461.26	2.63	454.62	0.35		
30	479.67	6.19	435.18	-8.20	481.37	6.72	463.72	2.46	454.80	0.18		
31	485.86	6.19	424.36	-10.82	488.19	6.82	466.04	2.32	454.90	0.10		
32	492.06	6.20	410.92	-13.44	495.10	6.91	468.23	2.19	454.96	0.06		
33	498.25	6.19	394.87	-16.05	502.11	7.01	470.32	2.09	454.99	0.03		
34	通 し	504.44	6.19	376.20	-18.67	509.22	7.11	472.32	2.00	455.00	0.01	
35		510.63	6.19	354.91	-21.29	516.43	7.21	474.24	1.92	455.01	0.01	
36		516.82	6.19	331.01	-23.90	523.75	7.32	476.08	1.84	455.01	0.00	
37		523.02	6.20	304.48	-26.53	531.16	7.41	477.87	1.79	455.02	0.01	
38		529.21	6.19	275.35	-29.13	538.68	7.52	479.60	1.73	455.02	0.00	
39		535.40	6.19	243.59	-31.76	546.31	7.63	481.28	1.68	455.02	0.00	
40		541.59	6.19	209.21	-34.38	554.05	7.74	482.90	1.62	455.02	0.00	
41		547.78	6.19	172.22	-36.99	561.89	7.84	484.49	1.59	455.02	0.00	
42		553.98	6.20	132.62	-39.60	569.85	7.96	486.04	1.55	455.02	0.00	
採 用										○		
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$						
	a =	293.91	-457.21	315.70	12.70	11.14						
	b =	6.19	69.00	1.01	0.51	0.63						
	c =		-1.31									
	$Y_0 =$				426.69							
	$t_0 =$				22.00							
	K =					455.02						
r =	0.963032	0.992698	0.961031	0.999701	0.994849							

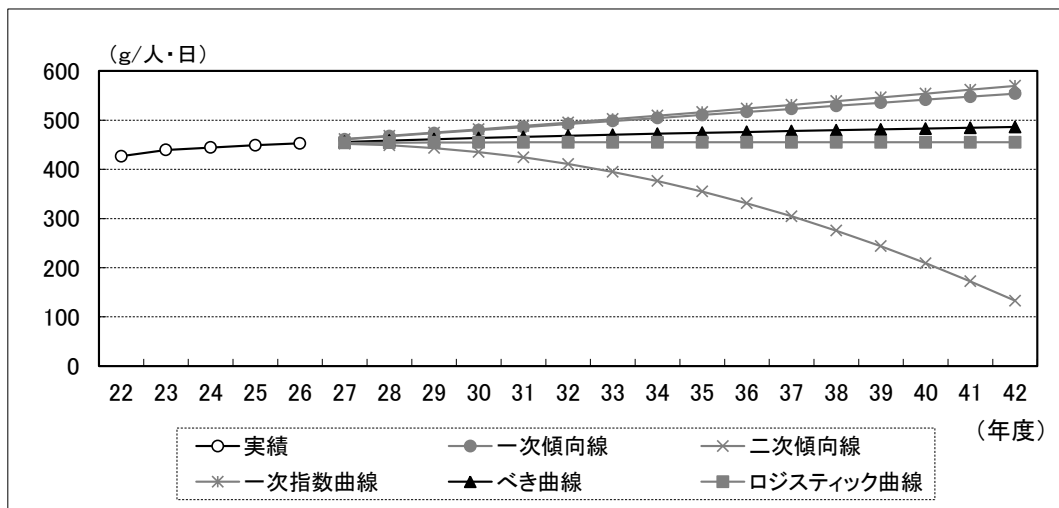


表 10-12 収集・不燃ごみ（金属類）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成	17	36.52	—	36.52	—	36.52	—	36.52	—	36.52	—	36.52
	18	28.42	-8.10	28.42	-8.10	28.42	-8.10	28.42	-8.10	28.42	-8.10	28.42
	19	24.40	-4.02	24.40	-4.02	24.40	-4.02	24.40	-4.02	24.40	-4.02	24.40
	20	20.08	-4.32	20.08	-4.32	20.08	-4.32	20.08	-4.32	20.08	-4.32	20.08
	21	20.02	-0.06	20.02	-0.06	20.02	-0.06	20.02	-0.06	20.02	-0.06	20.02
	22	17.65	-2.37	17.65	-2.37	17.65	-2.37	17.65	-2.37	17.65	-2.37	17.65
	23	15.55	-2.10	15.55	-2.10	15.55	-2.10	15.55	-2.10	15.55	-2.10	15.55
	24	12.53	-3.02	12.53	-3.02	12.53	-3.02	12.53	-3.02	12.53	-3.02	12.53
	25	12.40	-0.13	12.40	-0.13	12.40	-0.13	12.40	-0.13	12.40	-0.13	12.40
	26	11.16	-1.24	11.16	-1.24	11.16	-1.24	11.16	-1.24	11.16	-1.24	11.16
	27	6.02	-5.14	12.12	0.96	9.31	-1.85	64.06	52.90	3.58	-7.58	19.87
	28	3.50	-2.52	12.93	0.81	8.21	-1.10	65.45	1.39	2.24	-1.34	
	29	0.98	-2.52	14.29	1.36	7.24	-0.97	66.77	1.32	1.37	-0.87	
	30	-1.54	-2.52	16.21	1.92	6.39	-0.85	68.04	1.27	0.84	-0.53	
	31	-4.06	-2.52	18.68	2.47	5.64	-0.75	69.27	1.23	0.51	-0.33	
	32	-6.58	-2.52	21.71	3.03	4.97	-0.67	70.45	1.18	0.31	-0.20	
	33	-9.10	-2.52	25.29	3.58	4.38	-0.59	71.60	1.15	0.18	-0.13	
	34	-11.62	-2.52	29.43	4.14	3.87	-0.51	72.71	1.11	0.11	-0.07	
	35	-14.14	-2.52	34.12	4.69	3.41	-0.46	73.79	1.08	0.07	-0.04	
	36	-16.66	-2.52	39.37	5.25	3.01	-0.40	74.85	1.06	0.04	-0.03	
	37	-19.18	-2.52	45.17	5.80	2.65	-0.36	75.87	1.02	0.02	-0.02	
	38	-21.70	-2.52	51.52	6.35	2.34	-0.31	76.87	1.00	0.01	-0.01	
	39	-24.22	-2.52	58.43	6.91	2.07	-0.27	77.85	0.98	0.01	0.00	
	40	-26.73	-2.51	65.90	7.47	1.82	-0.25	78.81	0.96	0.01	0.00	
	41	-29.25	-2.52	73.92	8.02	1.61	-0.21	79.74	0.93	0.00	-0.01	
	42	-31.77	-2.52	82.49	8.57	1.42	-0.19	80.66	0.92	0.00	0.00	
採 用						○						
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t - t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a - bt))$						
	a =	74.04	199.95	275.41	8.42	-11.59						
	b =	-2.52	-14.45	0.88	0.51	-0.51						
	c =		0.28									
	$Y_0 =$				36.52							
	$t_0 =$				17.00							
	K =					36.60						
r =	0.950200	0.986266	0.981378	-0.223446	0.883351							

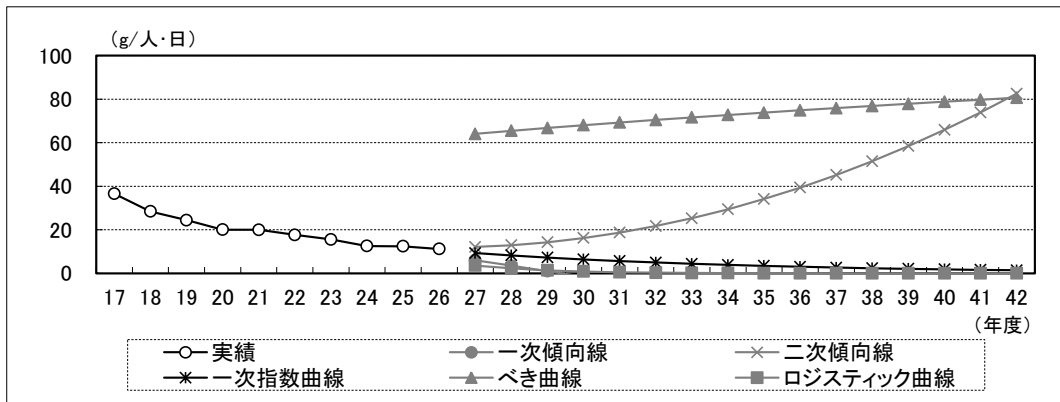


表 10-13 収集・不燃ごみ（ガラス類）の推計結果

単位：g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値		
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
平成	17		11.17	-	11.17	-	11.17	-	11.17	-	11.17	11.17		
	18		11.06	-0.11	11.06	-0.11	11.06	-0.11	11.06	-0.11	11.06	11.06		
	19	実 績	11.20	0.14	11.20	0.14	11.20	0.14	11.20	0.14	11.20	11.20		
	20		10.39	-0.81	10.39	-0.81	10.39	-0.81	10.39	-0.81	10.39	10.39		
	21		10.23	-0.16	10.23	-0.16	10.23	-0.16	10.23	-0.16	10.23	10.23		
	22		9.73	-0.50	9.73	-0.50	9.73	-0.50	9.73	-0.50	9.73	9.73		
	23		9.49	-0.24	9.49	-0.24	9.49	-0.24	9.49	-0.24	9.49	9.49		
	24		9.24	-0.25	9.24	-0.25	9.24	-0.25	9.24	-0.25	9.24	9.24		
	25		9.11	-0.13	9.11	-0.13	9.11	-0.13	9.11	-0.13	9.11	9.11		
	26		9.04	-0.07	9.04	-0.07	9.04	-0.07	9.04	-0.07	9.04	9.04		
	27		見 通 し	8.54	-0.50	8.68	-0.36	8.62	-0.42	14.66	5.62	6.44	-2.60	10.07
	28			8.26	-0.28	8.48	-0.20	8.39	-0.23	15.31	0.65	5.29	-1.15	
	29	7.98		-0.28	8.29	-0.19	8.16	-0.23	16.01	0.70	4.17	-1.12		
	30	7.71		-0.27	8.11	-0.18	7.94	-0.22	16.76	0.75	3.16	-1.01		
	31	7.43		-0.28	7.95	-0.16	7.72	-0.22	17.56	0.80	2.31	-0.85		
	32	7.15		-0.28	7.80	-0.15	7.51	-0.21	18.40	0.84	1.65	-0.66		
	33	6.87		-0.28	7.66	-0.14	7.31	-0.20	19.29	0.89	1.15	-0.50		
	34	6.59		-0.28	7.54	-0.12	7.11	-0.20	20.23	0.94	0.79	-0.36		
	35	6.32		-0.27	7.42	-0.12	6.92	-0.19	21.21	0.98	0.53	-0.26		
	36	6.04		-0.28	7.32	-0.10	6.73	-0.19	22.24	1.03	0.36	-0.17		
	37	5.76		-0.28	7.24	-0.08	6.55	-0.18	23.31	1.07	0.24	-0.12		
	38	5.48		-0.28	7.16	-0.08	6.37	-0.18	24.42	1.11	0.16	-0.08		
	39	5.21		-0.27	7.10	-0.06	6.20	-0.17	25.57	1.15	0.11	-0.05		
	40	4.93		-0.28	7.05	-0.05	6.03	-0.17	26.77	1.20	0.07	-0.04		
	41	4.65		-0.28	7.02	-0.03	5.86	-0.17	28.01	1.24	0.05	-0.02		
	42	4.37		-0.28	7.00	-0.02	5.70	-0.16	29.30	1.29	0.03	-0.02		
採 用				○										
予 測 式	Yt =	a+bt	a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))					
	a =	16.04	18.93		18.14		0.06		-11.43					
	b =	-0.28	-0.55		0.97		1.80		-0.41					
	c =		0.01											
	Yo =						11.17							
	to =						17.00							
	K =								11.20					
r =		0.973084	0.974849		0.973987		-0.375744		0.875333					

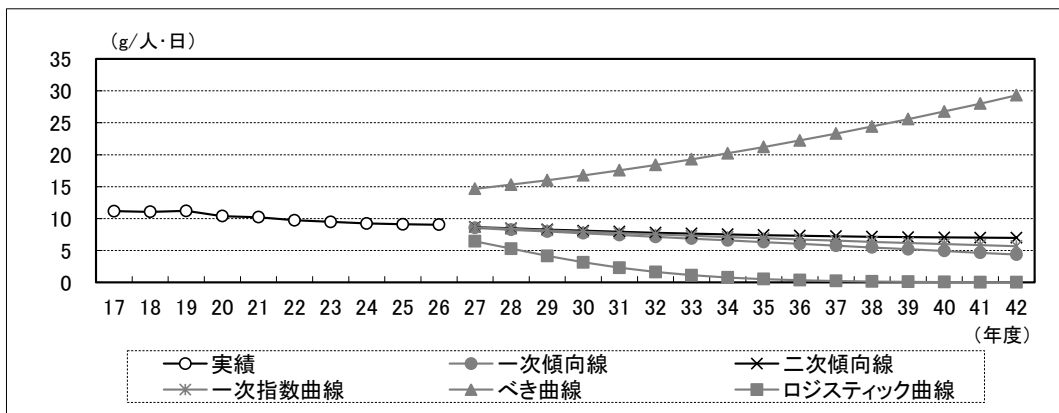


表 10-14 収集・不燃ごみ（がれき類）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成	17	12.55	—	12.55	—	12.55	—	12.55	—	12.55	—	12.55
	18	11.99	-0.56	11.99	-0.56	11.99	-0.56	11.99	-0.56	11.99	-0.56	11.99
	19	10.96	-1.03	10.96	-1.03	10.96	-1.03	10.96	-1.03	10.96	-1.03	10.96
	20	9.66	-1.30	9.66	-1.30	9.66	-1.30	9.66	-1.30	9.66	-1.30	9.66
	21	10.85	1.19	10.85	1.19	10.85	1.19	10.85	1.19	10.85	1.19	10.85
	22	10.73	-0.12	10.73	-0.12	10.73	-0.12	10.73	-0.12	10.73	-0.12	10.73
	23	10.35	-0.38	10.35	-0.38	10.35	-0.38	10.35	-0.38	10.35	-0.38	10.35
	24	11.05	0.70	11.05	0.70	11.05	0.70	11.05	0.70	11.05	0.70	11.05
	25	10.13	-0.92	10.13	-0.92	10.13	-0.92	10.13	-0.92	10.13	-0.92	10.13
	26	10.64	0.51	10.64	0.51	10.64	0.51	10.64	0.51	10.64	0.51	10.64
	27	9.96	-0.68	11.22	0.58	10.02	-0.62	15.06	4.42	8.42	-2.22	10.89
	28	9.80	-0.16	11.73	0.51	9.87	-0.15	15.17	0.11	7.65	-0.77	
	29	9.63	-0.17	12.36	0.63	9.73	-0.14	15.27	0.10	6.82	-0.83	
	30	9.46	-0.17	13.10	0.74	9.58	-0.15	15.37	0.10	5.98	-0.84	
	31	9.29	-0.17	13.96	0.86	9.44	-0.14	15.46	0.09	5.15	-0.83	
	32	9.12	-0.17	14.92	0.96	9.31	-0.13	15.55	0.09	4.36	-0.79	
	33	8.95	-0.17	16.01	1.09	9.17	-0.14	15.64	0.09	3.63	-0.73	
	34	8.78	-0.17	17.20	1.19	9.04	-0.13	15.72	0.08	2.98	-0.65	
	35	8.62	-0.16	18.52	1.32	8.90	-0.14	15.80	0.08	2.41	-0.57	
	36	8.45	-0.17	19.94	1.42	8.77	-0.13	15.88	0.08	1.93	-0.48	
	37	8.28	-0.17	21.48	1.54	8.65	-0.12	15.96	0.08	1.53	-0.40	
	38	8.11	-0.17	23.13	1.65	8.52	-0.13	16.03	0.07	1.21	-0.32	
	39	7.94	-0.17	24.90	1.77	8.40	-0.12	16.10	0.07	0.94	-0.27	
	40	7.77	-0.17	26.78	1.88	8.27	-0.13	16.17	0.07	0.73	-0.21	
	41	7.60	-0.17	28.77	1.99	8.15	-0.12	16.24	0.07	0.57	-0.16	
	42	7.44	-0.16	30.88	2.11	8.03	-0.12	16.31	0.07	0.44	-0.13	
採 用						○						
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$		$a+bt+ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0+a(t-t_0)^b$		$K/(1+EXP(a-bt))$		
	a =	14.51		40.34		14.91		0.91		-7.94		
	b =	-0.17		-2.61		0.99		0.44		-0.27		
	c =			0.06								
	$Y_0 =$							12.55				
	$t_0 =$							17.00				
	K =									12.60		
r =		0.603040		0.792247		0.615104		-0.156204		0.464374		

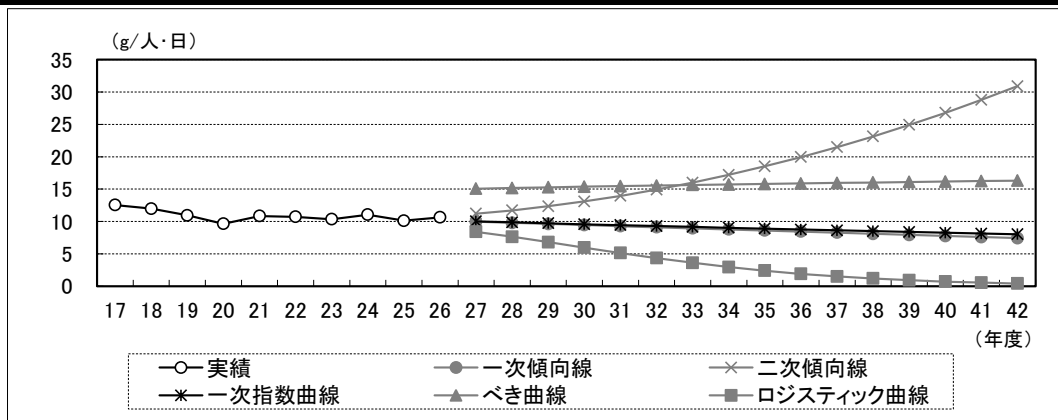


表 10-15 収集・燃える大型ごみの推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		5年間の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	17	73.22	—	73.22	—	73.22	—	73.22	—	73.22	—	73.22
	18	66.26	-6.96	66.26	-6.96	66.26	-6.96	66.26	-6.96	66.26	-6.96	66.26
	19	63.52	-2.74	63.52	-2.74	63.52	-2.74	63.52	-2.74	63.52	-2.74	63.52
	20	57.79	-5.73	57.79	-5.73	57.79	-5.73	57.79	-5.73	57.79	-5.73	57.79
	21	54.32	-3.47	54.32	-3.47	54.32	-3.47	54.32	-3.47	54.32	-3.47	54.32
	22	44.04	-10.28	44.04	-10.28	44.04	-10.28	44.04	-10.28	44.04	-10.28	44.04
	23	41.62	-2.42	41.62	-2.42	41.62	-2.42	41.62	-2.42	41.62	-2.42	41.62
	24	41.15	-0.47	41.15	-0.47	41.15	-0.47	41.15	-0.47	41.15	-0.47	41.15
	25	40.53	-0.62	40.53	-0.62	40.53	-0.62	40.53	-0.62	40.53	-0.62	40.53
	26	41.92	1.39	41.92	1.39	41.92	1.39	41.92	1.39	41.92	1.39	41.92
	27	31.36	-10.56	40.36	-1.56	34.53	-7.39	114.01	72.09	15.02	-26.90	41.85
	28	27.52	-3.84	41.44	1.08	32.14	-2.39	117.20	3.19	9.79	-5.23	41.85
	29	23.69	-3.83	43.34	1.90	29.92	-2.22	120.33	3.13	6.18	-3.61	41.85
	30	19.86	-3.83	46.06	2.72	27.85	-2.07	123.41	3.08	3.83	-2.35	41.85
	31	16.02	-3.84	49.59	3.53	25.92	-1.93	126.44	3.03	2.34	-1.49	41.85
	32	12.19	-3.83	53.95	4.36	24.13	-1.79	129.42	2.98	1.42	-0.92	41.85
	33	8.36	-3.83	59.12	5.17	22.46	-1.67	132.36	2.94	0.85	-0.57	41.85
	34	4.52	-3.84	65.11	5.99	20.91	-1.55	135.26	2.90	0.51	-0.34	41.85
	35	0.69	-3.83	71.93	6.82	19.46	-1.45	138.13	2.87	0.31	-0.20	41.85
	36	-3.14	-3.83	79.56	7.63	18.11	-1.35	140.97	2.84	0.18	-0.13	41.85
	37	-6.97	-3.83	88.00	8.44	16.86	-1.25	143.77	2.80	0.11	-0.07	41.85
	38	-10.81	-3.84	97.27	9.27	15.70	-1.16	146.54	2.77	0.07	-0.04	41.85
	39	-14.64	-3.83	107.36	10.09	14.61	-1.09	149.29	2.75	0.04	-0.03	41.85
	40	-18.47	-3.83	118.26	10.90	13.60	-1.01	152.01	2.72	0.02	-0.02	41.85
	41	-22.31	-3.84	129.99	11.73	12.66	-0.94	154.71	2.70	0.01	-0.01	41.85
	42	-26.14	-3.83	142.53	12.54	11.78	-0.88	157.38	2.67	0.01	0.00	41.85
採 用												○
予 測 式	Yt =	a+bt	a+bt+ct ²	a・b ^t	Y ₀ +a(t-t ₀) ^b	K/(1+EXP(a-bt))						
	a =	134.85	320.71	239.07	6.61	-12.53						
	b =	-3.83	-21.44	0.93	0.79	-0.51						
	c =		0.41									
	Y ₀ =				73.22							
	t ₀ =				17.00							
	K =					73.30						
r =	0.949206	0.983217	0.967655	-0.260639	0.843120							

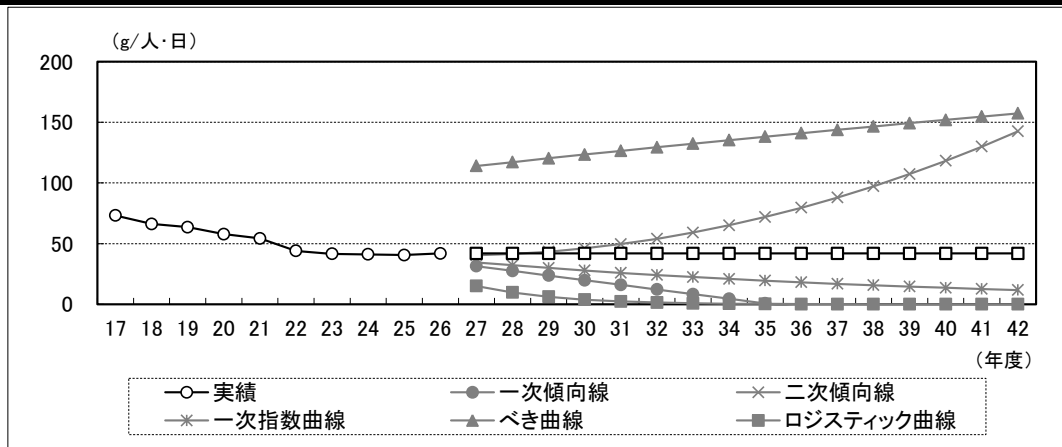


表 10-16 直接搬入・可燃ごみの推計結果

単位: t/日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		5年間の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	17	11.042	—	11.042	—	11.042	—	11.042	—	11.042	—	11.04
	18	11.214	0.17	11.214	0.17	11.214	0.17	11.214	0.17	11.214	0.17	11.21
	19	11.597	0.38	11.597	0.38	11.597	0.38	11.597	0.38	11.597	0.38	11.60
	20	10.675	-0.92	10.675	-0.92	10.675	-0.92	10.675	-0.92	10.675	-0.92	10.68
	21	10.023	-0.65	10.023	-0.65	10.023	-0.65	10.023	-0.65	10.023	-0.65	10.02
	22	9.625	-0.40	9.625	-0.40	9.625	-0.40	9.625	-0.40	9.625	-0.40	9.62
	23	9.167	-0.46	9.167	-0.46	9.167	-0.46	9.167	-0.46	9.167	-0.46	9.17
	24	9.200	0.03	9.200	0.03	9.200	0.03	9.200	0.03	9.200	0.03	9.20
	25	9.222	0.02	9.222	0.02	9.222	0.02	9.222	0.02	9.222	0.02	9.22
	26	9.541	0.32	9.541	0.32	9.541	0.32	9.541	0.32	9.541	0.32	9.54
	27	8.650	-0.89	9.110	-0.43	8.730	-0.81	13.480	3.94	7.010	-2.53	9.35
	28	8.380	-0.27	9.090	-0.02	8.510	-0.22	13.750	0.27	5.870	-1.14	9.35
	29	8.110	-0.27	9.110	0.02	8.290	-0.22	14.030	0.28	4.730	-1.14	9.35
	30	7.850	-0.26	9.170	0.06	8.070	-0.22	14.310	0.28	3.670	-1.06	9.35
	31	7.580	-0.27	9.270	0.10	7.860	-0.21	14.580	0.27	2.750	-0.92	9.35
	32	7.310	-0.27	9.420	0.15	7.660	-0.20	14.870	0.29	2.000	-0.75	9.35
	33	7.040	-0.27	9.600	0.18	7.460	-0.20	15.150	0.28	1.420	-0.58	9.35
	34	6.770	-0.27	9.830	0.23	7.270	-0.19	15.430	0.28	1.000	-0.42	9.35
	35	6.500	-0.27	10.100	0.27	7.080	-0.19	15.720	0.29	0.690	-0.31	9.35
	36	6.230	-0.27	10.410	0.31	6.890	-0.19	16.010	0.29	0.470	-0.22	9.35
	37	5.960	-0.27	10.760	0.35	6.710	-0.18	16.300	0.29	0.320	-0.15	9.35
	38	5.690	-0.27	11.150	0.39	6.540	-0.17	16.590	0.29	0.220	-0.10	9.35
	39	5.430	-0.26	11.580	0.43	6.370	-0.17	16.890	0.30	0.150	-0.07	9.35
	40	5.160	-0.27	12.060	0.48	6.200	-0.17	17.180	0.29	0.100	-0.05	9.35
	41	4.890	-0.27	12.580	0.52	6.040	-0.16	17.480	0.30	0.070	-0.03	9.35
	42	4.620	-0.27	13.130	0.55	5.890	-0.15	17.770	0.29	0.040	-0.03	9.35
採 用												○
予 測 式	Yt =	a+bt	a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	15.91	25.29		17.77		0.19		-11.17			
	b =	-0.27	-1.16		0.97		1.11		-0.40			
	c =		0.02									
	Yo =						11.04					
	to =						17.00					
	K =								11.60			
r =		0.879630	0.897178		0.886447		-0.297427		0.722032			

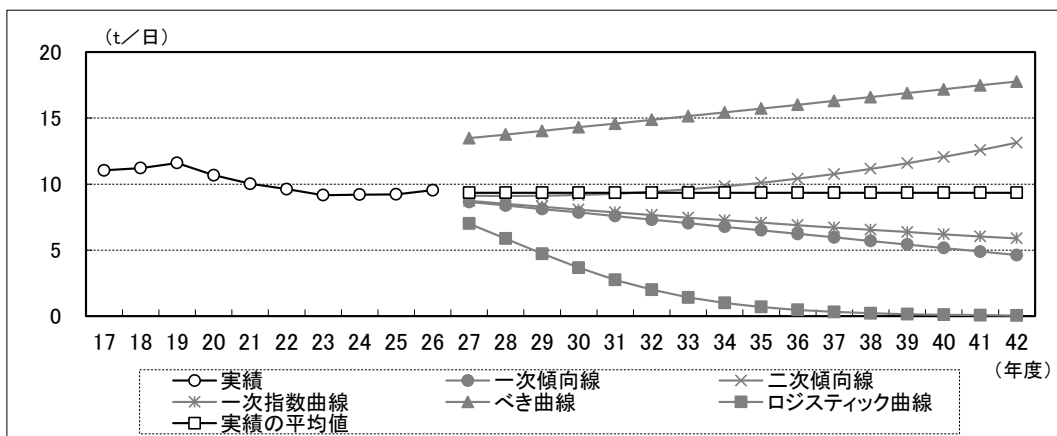


表 10-17 資源・びんの推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
22		19.18	—	19.18	—	19.18	—	19.18	—	19.18	—	19.18
23	実 績	19.03	-0.15	19.03	-0.15	19.03	-0.15	19.03	-0.15	19.03	-0.15	19.03
24		18.25	-0.78	18.25	-0.78	18.25	-0.78	18.25	-0.78	18.25	-0.78	18.25
25		17.99	-0.26	17.99	-0.26	17.99	-0.26	17.99	-0.26	17.99	-0.26	17.99
26		22.88	4.89	22.88	4.89	22.88	4.89	22.88	4.89	22.88	4.89	22.88
27		21.37	-1.51	26.67	3.79	21.19	-1.69	24.35	1.47	22.82	-0.06	19.47
28	見 通 し	22.01	0.64	32.59	5.92	21.83	0.64	26.86	2.51	22.87	0.05	19.47
29		22.64	0.63	40.04	7.45	22.48	0.65	29.90	3.04	22.89	0.02	19.47
30		23.27	0.63	48.99	8.95	23.16	0.68	33.50	3.60	22.90	0.01	19.47
31		23.91	0.64	59.46	10.47	23.85	0.69	37.67	4.17	22.90	0.00	19.47
32		24.54	0.63	71.44	11.98	24.57	0.72	42.42	4.75	22.90	0.00	19.47
33		25.18	0.64	84.93	13.49	25.31	0.74	47.75	5.33	22.90	0.00	19.47
34		25.81	0.63	99.94	15.01	26.07	0.76	53.69	5.94	22.90	0.00	19.47
35		26.45	0.64	116.46	16.52	26.85	0.78	60.23	6.54	22.90	0.00	19.47
36		27.08	0.63	134.49	18.03	27.66	0.81	67.38	7.15	22.90	0.00	19.47
37		27.71	0.63	154.03	19.54	28.49	0.83	75.16	7.78	22.90	0.00	19.47
38	28.35	0.64	175.09	21.06	29.34	0.85	83.57	8.41	22.90	0.00	19.47	
39	28.98	0.63	197.66	22.57	30.22	0.88	92.62	9.05	22.90	0.00	19.47	
40	29.62	0.64	221.74	24.08	31.13	0.91	102.31	9.69	22.90	0.00	19.47	
41	30.25	0.63	247.34	25.60	32.07	0.94	112.66	10.35	22.90	0.00	19.47	
42	30.89	0.64	274.45	27.11	33.03	0.96	123.65	10.99	22.90	0.00	19.47	
採用												○
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0 + a(t-t_0)^b$		$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$			
	a =	4.24	438.41		9.54		0.16		21.99			
	b =	0.63	-35.67		1.03		2.17		1.02			
	c =		0.76									
	$Y_0 =$						19.18					
	$t_0 =$						22.00					
	K =								22.90			
r =		0.509958	0.879519		0.520861		0.574572		0.230979			

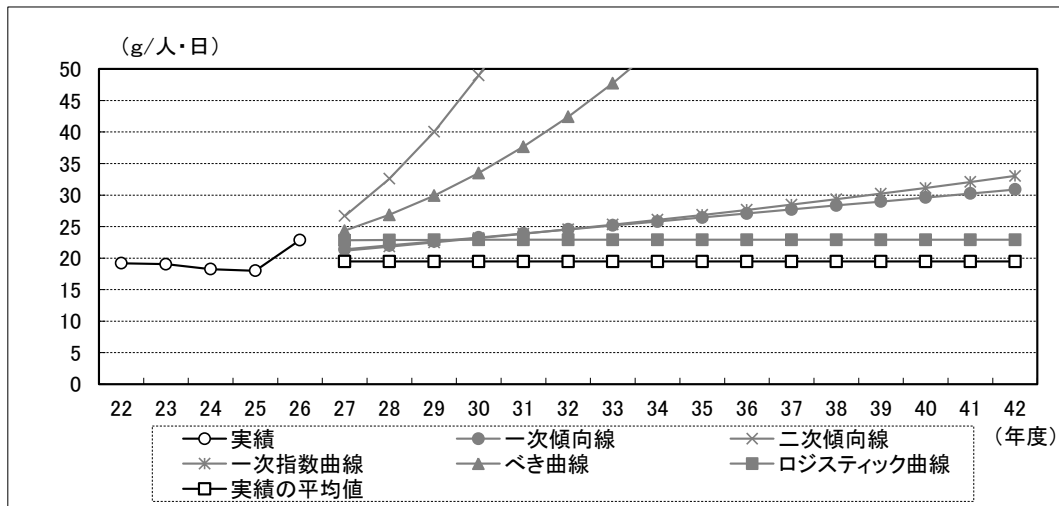


表 10-18 資源・スチール缶の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数				
22		2.41	—	2.41	—	2.41	—	2.41	—	2.41	2.41	
23	実 績	2.43	0.02	2.43	0.02	2.43	0.02	2.43	0.02	2.43	2.43	
24		2.13	-0.30	2.13	-0.30	2.13	-0.30	2.13	-0.30	2.13	2.13	
25		2.09	-0.04	2.09	-0.04	2.09	-0.04	2.09	-0.04	2.09	2.09	
26		2.01	-0.08	2.01	-0.08	2.01	-0.08	2.01	-0.08	2.01	2.01	
27		見 通 し	1.87	-0.14	1.89	-0.12	1.89	-0.12	3.43	1.42	1.61	-0.40
28	1.75		-0.12	1.81	-0.08	1.79	-0.10	3.95	0.52	1.26	-0.35	
29	1.63		-0.12	1.73	-0.08	1.70	-0.09	4.58	0.63	0.91	-0.35	
30	1.52		-0.11	1.65	-0.08	1.61	-0.09	5.35	0.77	0.60	-0.31	
31	1.40		-0.12	1.59	-0.06	1.53	-0.08	6.24	0.89	0.38	-0.22	
32	1.29		-0.11	1.53	-0.06	1.45	-0.08	7.27	1.03	0.23	-0.15	
33	1.17		-0.12	1.49	-0.04	1.38	-0.07	8.43	1.16	0.13	-0.10	
34	1.05		-0.12	1.45	-0.04	1.31	-0.07	9.74	1.31	0.08	-0.05	
35	0.94		-0.11	1.41	-0.04	1.24	-0.07	11.19	1.45	0.04	-0.04	
36	0.82		-0.12	1.39	-0.02	1.18	-0.06	12.79	1.60	0.02	-0.02	
37	0.71		-0.11	1.38	-0.01	1.12	-0.06	14.54	1.75	0.01	-0.01	
38	0.59		-0.12	1.37	-0.01	1.06	-0.06	16.44	1.90	0.01	0.00	
39	0.47		-0.12	1.37	0.00	1.01	-0.05	18.50	2.06	0.00	-0.01	
40	0.36		-0.11	1.38	0.01	0.96	-0.05	20.71	2.21	0.00	0.00	
41	0.24		-0.12	1.39	0.01	0.91	-0.05	23.09	2.38	0.00	0.00	
42	0.13		-0.11	1.42	0.03	0.86	-0.05	25.62	2.53	0.00	0.00	
採 用				○								
予 測 式	Yt =	a+bt	a+bt+ct ²	a・b ^t	Yo+a(t-to) ^b	K/(1+EXP(a-bt))						
	a =	5.00	7.30	7.74	0.03	-16.25						
	b =	-0.12	-0.31	0.95	2.26	-0.58						
	c =		0.00									
	Yo =					2.41						
	to =					22.00						
	K =						2.50					
r =	0.937273	0.939154	0.939154	-0.417869	0.888926							

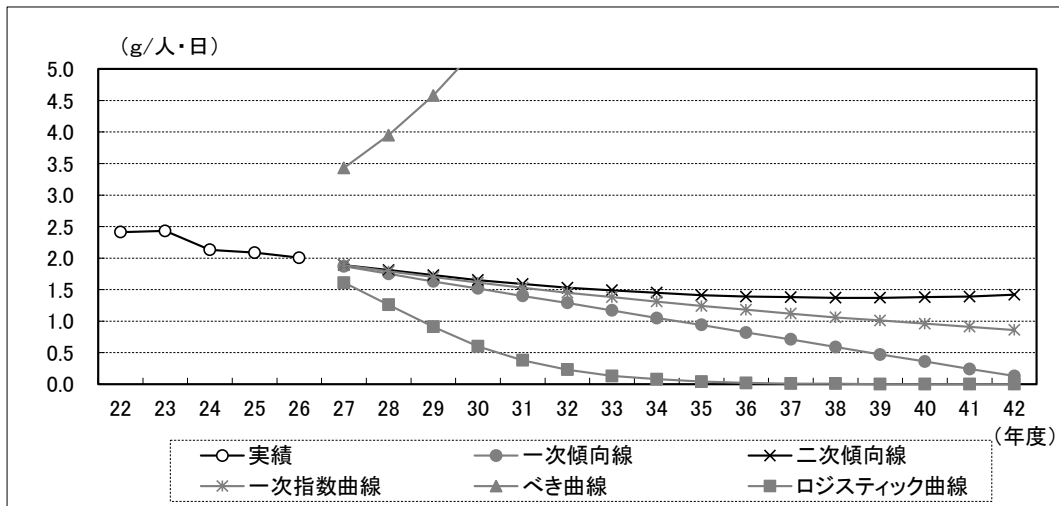


表 10-19 資源・アルミ缶の推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
22		0.98	-	0.98	-	0.98	-	0.98	-	0.98	-	0.98
23	実 績	1.30	0.31	1.30	0.31	1.30	0.31	1.30	0.31	1.30	0.31	1.30
24		1.31	0.01	1.31	0.01	1.31	0.01	1.31	0.01	1.31	0.01	1.31
25		1.33	0.03	1.33	0.03	1.33	0.03	1.33	0.03	1.33	0.03	1.33
26		1.33	0.00	1.33	0.00	1.33	0.00	1.33	0.00	1.33	0.00	1.33
27		1.47	0.14	1.17	-0.16	1.50	0.17	1.34	0.01	1.37	0.04	1.25
28	見 通 し	1.55	0.08	0.94	-0.23	1.60	0.10	1.35	0.01	1.38	0.01	
29		1.62	0.07	0.62	-0.32	1.71	0.11	1.35	0.00	1.39	0.01	
30		1.69	0.07	0.21	-0.41	1.82	0.11	1.36	0.01	1.39	0.00	
31		1.77	0.08	-0.28	-0.49	1.94	0.12	1.36	0.00	1.40	0.01	
32		1.84	0.07	-0.86	-0.58	2.07	0.13	1.36	0.00	1.40	0.00	
33		1.91	0.07	-1.52	-0.66	2.20	0.13	1.37	0.01	1.40	0.00	
34		1.99	0.08	-2.27	-0.75	2.35	0.15	1.37	0.00	1.40	0.00	
35		2.06	0.07	-3.11	-0.84	2.50	0.15	1.37	0.00	1.40	0.00	
36		2.13	0.07	-4.04	-0.93	2.67	0.17	1.38	0.01	1.40	0.00	
37		2.21	0.08	-5.05	-1.01	2.84	0.17	1.38	0.00	1.40	0.00	
38	2.28	0.07	-6.15	-1.10	3.03	0.19	1.38	0.00	1.40	0.00		
39	2.36	0.08	-7.34	-1.19	3.23	0.20	1.38	0.00	1.40	0.00		
40	2.43	0.07	-8.61	-1.27	3.44	0.21	1.38	0.00	1.40	0.00		
41	2.50	0.07	-9.97	-1.36	3.67	0.23	1.39	0.01	1.40	0.00		
42	2.58	0.08	-11.42	-1.45	3.91	0.24	1.39	0.00	1.40	0.00		
採 用								○				
予 測 式	Yt =	a+bt	a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	-0.52	-25.47		0.27		0.31		8.98			
	b =	0.07	2.16		1.07		0.09		0.47			
	c =		-0.04									
	Yo =						0.98					
	to =						22.00					
	K =								1.40			
r =		0.781947	0.940375		0.764608		0.999742		0.851138			

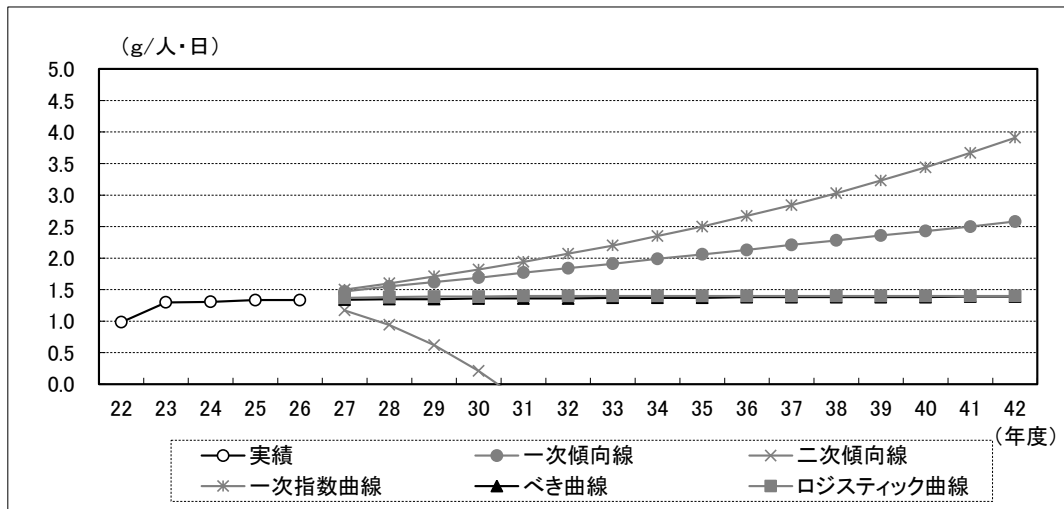


表 10-20 資源・ペットボトルの推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
22		3.52	—	3.52	—	3.52	—	3.52	—	3.52	—	3.52	
23	実 績	3.32	-0.20	3.32	-0.20	3.32	-0.20	3.32	-0.20	3.32	-0.20	3.32	
24		3.05	-0.27	3.05	-0.27	3.05	-0.27	3.05	-0.27	3.05	-0.27	3.05	
25		3.06	0.01	3.06	0.01	3.06	0.01	3.06	0.01	3.06	0.01	3.06	
26		2.88	-0.18	2.88	-0.18	2.88	-0.18	2.88	-0.18	2.88	-0.18	2.88	
27		2.70	-0.18	2.86	-0.02	2.73	-0.15	4.31	1.43	2.27	-0.61	3.17	
28	見 通 し	2.54	-0.16	2.86	0.00	2.60	-0.13	4.43	0.12	1.77	-0.50	3.17	
29		2.39	-0.15	2.91	0.05	2.47	-0.13	4.54	0.11	1.27	-0.50	3.17	
30		2.23	-0.16	3.01	0.10	2.35	-0.12	4.66	0.12	0.85	-0.42	3.17	
31		2.07	-0.16	3.15	0.14	2.24	-0.11	4.77	0.11	0.54	-0.31	3.17	
32		1.92	-0.15	3.34	0.19	2.14	-0.10	4.87	0.10	0.33	-0.21	3.17	
33		1.76	-0.16	3.57	0.23	2.03	-0.11	4.98	0.11	0.19	-0.14	3.17	
34		1.61	-0.15	3.85	0.28	1.94	-0.09	5.08	0.10	0.11	-0.08	3.17	
35		1.45	-0.16	4.18	0.33	1.84	-0.10	5.18	0.10	0.07	-0.04	3.17	
36		1.30	-0.15	4.55	0.37	1.76	-0.08	5.28	0.10	0.04	-0.03	3.17	
37		1.14	-0.16	4.97	0.42	1.67	-0.09	5.38	0.10	0.02	-0.02	3.17	
38		0.98	-0.16	5.43	0.46	1.59	-0.08	5.48	0.10	0.01	-0.01	3.17	
39		0.83	-0.15	5.94	0.51	1.52	-0.07	5.57	0.09	0.01	0.00	3.17	
40		0.67	-0.16	6.50	0.56	1.44	-0.08	5.66	0.09	0.00	-0.01	3.17	
41		0.52	-0.15	7.10	0.60	1.38	-0.06	5.76	0.10	0.00	0.00	3.17	
42		0.36	-0.16	7.74	0.64	1.31	-0.07	5.85	0.09	0.00	0.00	3.17	
採 用													○
予 測 式		$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$						
	a =	6.91	20.07	10.20	0.22	-15.80							
	b =	-0.16	-1.26	0.95	0.78	-0.57							
	c =		0.02										
	$Y_0 =$				3.52								
	$t_0 =$				22.00								
K =						3.60							
r =	0.962989	0.980221	0.968351	-0.300023	0.898360								

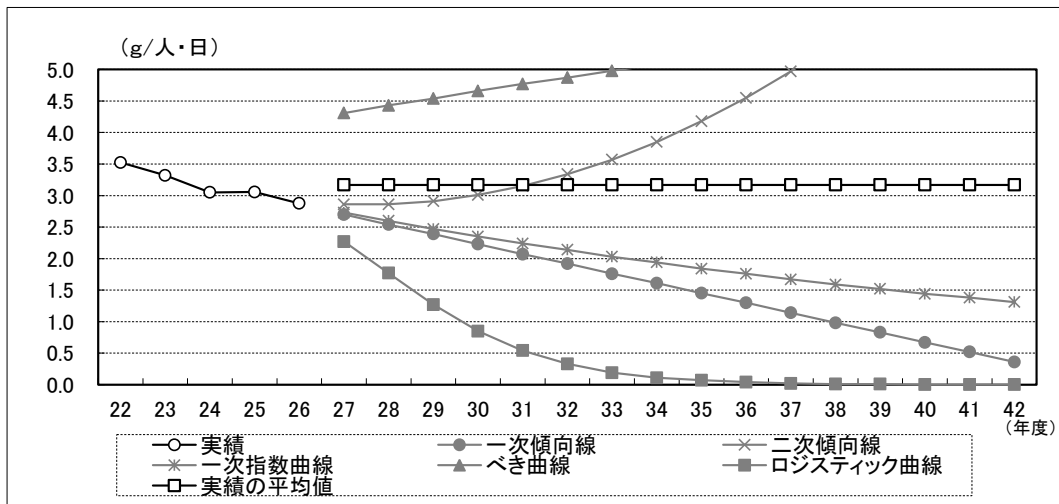


表 10-21 資源・トレイの推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
	22	0.60	—	0.60	—	0.60	—	0.60	—	0.60	—	0.60
	23	0.57	-0.03	0.57	-0.03	0.57	-0.03	0.57	-0.03	0.57	-0.03	0.57
	24	0.54	-0.03	0.54	-0.03	0.54	-0.03	0.54	-0.03	0.54	-0.03	0.54
	25	0.51	-0.03	0.51	-0.03	0.51	-0.03	0.51	-0.03	0.51	-0.03	0.51
	26	0.88	0.37	0.88	0.37	0.88	0.37	0.88	0.37	0.88	0.37	0.88
	27	0.78	-0.10	1.17	0.29	0.75	-0.13	0.86	-0.02	0.86	-0.02	0.62
	28	0.83	0.05	1.63	0.46	0.80	0.05	0.94	0.08	0.88	0.02	0.62
	29	0.88	0.05	2.19	0.56	0.86	0.06	1.03	0.09	0.89	0.01	0.62
	30	0.93	0.05	2.87	0.68	0.92	0.06	1.13	0.10	0.89	0.00	0.62
	31	0.98	0.05	3.66	0.79	0.98	0.06	1.23	0.10	0.90	0.01	0.62
	32	1.04	0.06	4.57	0.91	1.05	0.07	1.33	0.10	0.90	0.00	0.62
	33	1.09	0.05	5.59	1.02	1.13	0.08	1.44	0.11	0.90	0.00	0.62
	34	1.14	0.05	6.72	1.13	1.21	0.08	1.56	0.12	0.90	0.00	0.62
	35	1.19	0.05	7.97	1.25	1.29	0.08	1.68	0.12	0.90	0.00	0.62
	36	1.24	0.05	9.33	1.36	1.38	0.09	1.81	0.13	0.90	0.00	0.62
	37	1.30	0.06	10.80	1.47	1.48	0.10	1.94	0.13	0.90	0.00	0.62
	38	1.35	0.05	12.39	1.59	1.59	0.11	2.07	0.13	0.90	0.00	0.62
	39	1.40	0.05	14.10	1.71	1.70	0.11	2.21	0.14	0.90	0.00	0.62
	40	1.45	0.05	15.91	1.81	1.82	0.12	2.36	0.15	0.90	0.00	0.62
	41	1.50	0.05	17.84	1.93	1.95	0.13	2.50	0.14	0.90	0.00	0.62
	42	1.55	0.05	19.89	2.05	2.09	0.14	2.65	0.15	0.90	0.00	0.62
採 用												○
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0+a(t-t_0)^b$		$K/(1+EXP(a-bt))$			
	a =	-0.63	32.06		0.12		0.02		13.95			
	b =	0.05	-2.68		1.07		1.48		0.63			
	c =		0.06									
	$Y_0 =$						0.60					
	$t_0 =$						22.00					
	K =								0.90			
r =		0.546888	0.891412		0.580857		0.515564		0.409178			

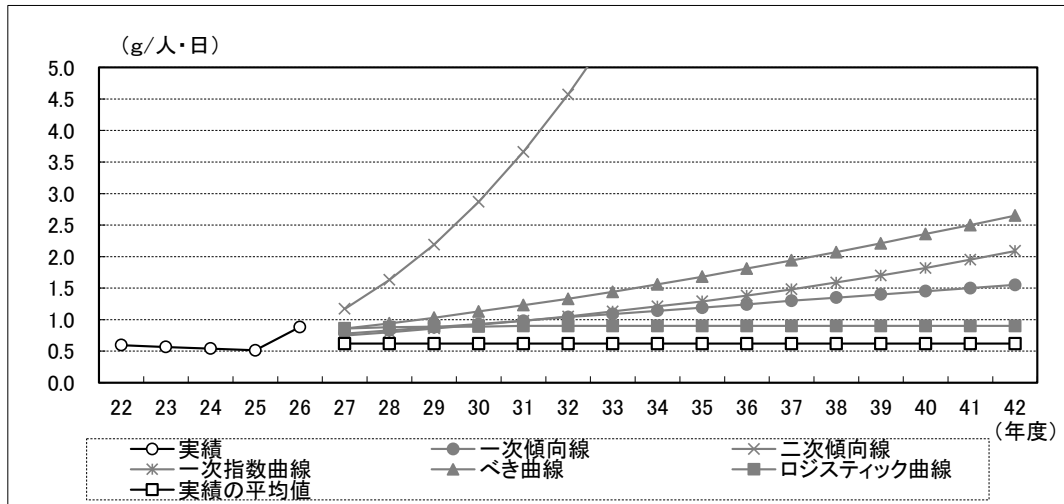


表 10-22 資源・プラスチック製容器包装の推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
22		8.02	—	8.02	—	8.02	—	8.02	—	8.02	—	8.02
23	実 績	7.69	-0.33	7.69	-0.33	7.69	-0.33	7.69	-0.33	7.69	-0.33	7.69
24		7.00	-0.68	7.00	-0.68	7.00	-0.68	7.00	-0.68	7.00	-0.68	7.00
25		6.60	-0.41	6.60	-0.41	6.60	-0.41	6.60	-0.41	6.60	-0.41	6.60
26		6.20	-0.40	6.20	-0.40	6.20	-0.40	6.20	-0.40	6.20	-0.40	6.20
27		5.68	-0.52	5.75	-0.45	5.78	-0.42	10.66	4.46	5.77	-0.43	7.10
28	5.21	-0.47	5.35	-0.40	5.41	-0.37	11.32	0.66	5.38	-0.39		
29	4.73	-0.48	4.97	-0.38	5.06	-0.35	12.01	0.69	5.01	-0.37		
30	4.26	-0.47	4.61	-0.36	4.73	-0.33	12.73	0.72	4.67	-0.34		
31	3.79	-0.47	4.27	-0.34	4.43	-0.30	13.46	0.73	4.35	-0.32		
32	3.31	-0.48	3.95	-0.32	4.14	-0.29	14.21	0.75	4.04	-0.31		
33	2.84	-0.47	3.65	-0.30	3.87	-0.27	14.98	0.77	3.76	-0.28		
34	2.36	-0.48	3.37	-0.28	3.62	-0.25	15.77	0.79	3.49	-0.27		
35	1.89	-0.47	3.11	-0.26	3.39	-0.23	16.57	0.80	3.24	-0.25		
36	1.42	-0.47	2.88	-0.23	3.17	-0.22	17.38	0.81	3.01	-0.23		
37	0.94	-0.48	2.66	-0.22	2.96	-0.21	18.21	0.83	2.80	-0.21		
38	0.47	-0.47	2.46	-0.20	2.77	-0.19	19.06	0.85	2.59	-0.21		
39	0.00	-0.47	2.29	-0.17	2.59	-0.18	19.91	0.85	2.40	-0.19		
40	-0.48	-0.48	2.13	-0.16	2.42	-0.17	20.78	0.87	2.23	-0.17		
41	-0.95	-0.47	2.00	-0.13	2.27	-0.15	21.65	0.87	2.07	-0.16		
42	-1.43	-0.48	1.88	-0.12	2.12	-0.15	22.54	0.89	1.91	-0.16		
採 用						○						
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t - t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a - bt))$						
	a =	18.47	24.37	35.19	0.36	-0.30						
	b =	-0.47	-0.97	0.94	1.23	-0.08						
	c =		0.01									
	$Y_0 =$				8.02							
	$t_0 =$				22.00							
K =					42.93							
r =	0.994526	0.994351	0.994610	-0.358549	0.994535							

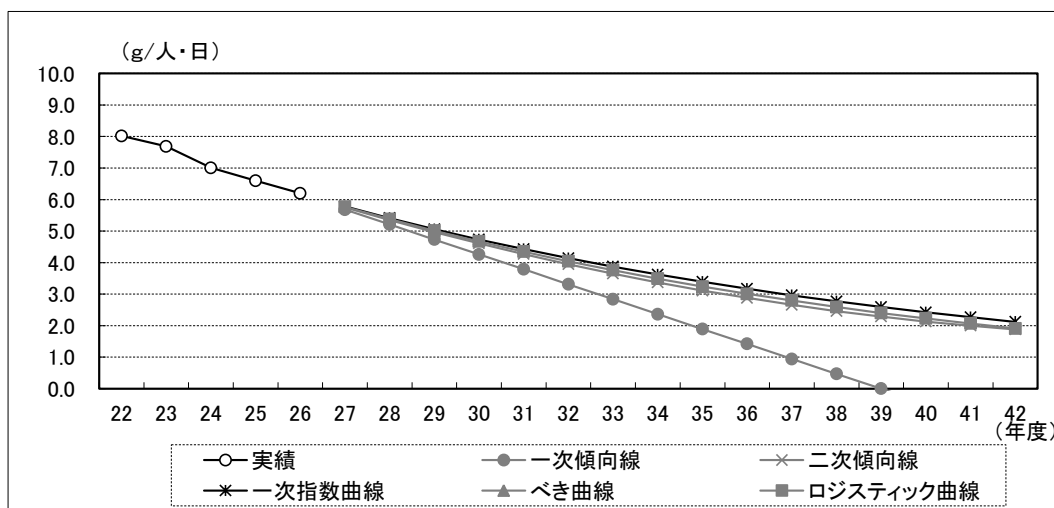


表 10-23 資源・ダンボールの推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
22		9.758	—	9.758	—	9.758	—	9.758	—	9.758	—	9.76
23	実 績	8.755	-1.00	8.755	-1.00	8.755	-1.00	8.755	-1.00	8.755	-1.00	8.76
24		6.612	-2.14	6.612	-2.14	6.612	-2.14	6.612	-2.14	6.612	-2.14	6.61
25		6.045	-0.57	6.045	-0.57	6.045	-0.57	6.045	-0.57	6.045	-0.57	6.05
26		5.625	-0.42	5.625	-0.42	5.625	-0.42	5.625	-0.42	5.625	-0.42	5.63
27	見 通 し	4.066	-1.56	5.437	-0.19	4.623	-1.00	15.880	10.26	0.474	-5.15	7.36
28		2.969	-1.10	5.711	0.27	3.990	-0.63	17.149	1.27	0.081	-0.39	7.36
29		1.871	-1.10	6.376	0.67	3.444	-0.55	18.425	1.28	0.013	-0.07	7.36
30		0.773	-1.10	7.433	1.06	2.972	-0.47	19.707	1.28	0.002	-0.01	7.36
31		-0.324	-1.10	8.881	1.45	2.565	-0.41	20.994	1.29	0.000	-0.00	7.36
32		-1.422	-1.10	10.721	1.84	2.214	-0.35	22.286	1.29	0.000	0.00	7.36
33		-2.519	-1.10	12.953	2.23	1.911	-0.30	23.583	1.30	0.000	0.00	7.36
34		-3.617	-1.10	15.577	2.62	1.650	-0.26	24.883	1.30	0.000	0.00	7.36
35		-4.715	-1.10	18.592	3.02	1.424	-0.23	26.187	1.30	0.000	0.00	7.36
36		-5.812	-1.10	22.000	3.41	1.229	-0.20	27.494	1.31	0.000	0.00	7.36
37		-6.910	-1.10	25.798	3.80	1.061	-0.17	28.805	1.31	0.000	0.00	7.36
38		-8.007	-1.10	29.989	4.19	0.915	-0.15	30.118	1.31	0.000	0.00	7.36
39		-9.105	-1.10	34.571	4.58	0.790	-0.13	31.434	1.32	0.000	0.00	7.36
40		-10.203	-1.10	39.545	4.97	0.682	-0.11	32.752	1.32	0.000	0.00	7.36
41		-11.300	-1.10	44.911	5.37	0.589	-0.09	34.073	1.32	0.000	0.00	7.36
42		-12.398	-1.10	50.668	5.76	0.508	-0.08	35.397	1.32	0.000	0.00	7.36
採 用												○
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct ²		a · b ^t		Y ₀ + a(t - t ₀) ^b		K / (1 + EXP(a - bt))		
	a =	33.70		146.12		246.09		1.16		-45.75		
	b =	-1.10		-10.50		0.86		1.03		-1.80		
	c =			0.20								
	Y ₀ =							9.76				
	t ₀ =							22.00				
K =									9.76			
r =	0.962851		0.984075		0.976287		-0.324233		0.777815			

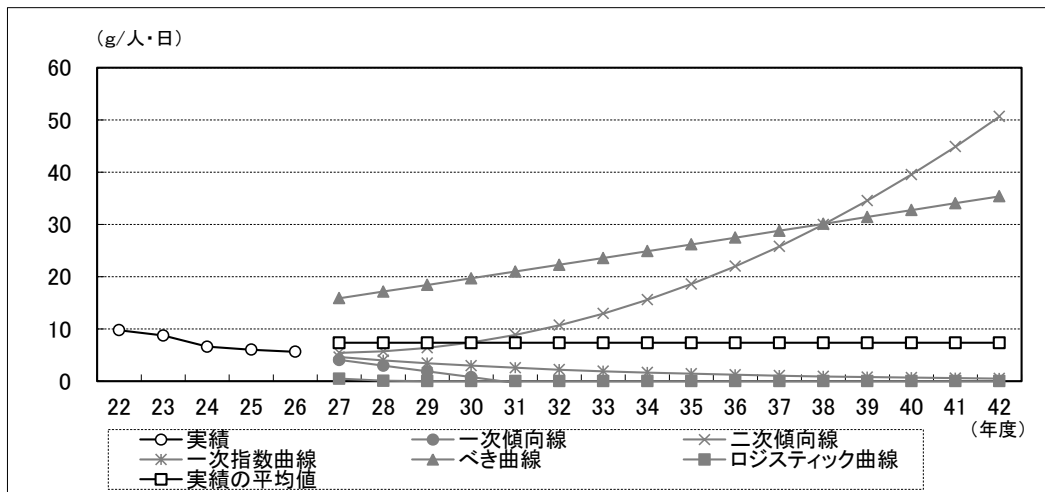


表 10-24 資源・新聞の推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
	22	23.459	—	23.459	—	23.459	—	23.459	—	23.459	—	23.46
	23	21.597	-1.86	21.597	-1.86	21.597	-1.86	21.597	-1.86	21.597	-1.86	21.60
	24	18.264	-3.33	18.264	-3.33	18.264	-3.33	18.264	-3.33	18.264	-3.33	18.26
	25	16.106	-2.16	16.106	-2.16	16.106	-2.16	16.106	-2.16	16.106	-2.16	16.11
	26	14.135	-1.97	14.135	-1.97	14.135	-1.97	14.135	-1.97	14.135	-1.97	14.14
	27	11.471	-2.66	11.949	-2.19	12.430	-1.71	36.611	22.48	12.137	-2.00	18.71
	28	9.057	-2.41	10.014	-1.94	10.908	-1.52	39.734	3.12	10.414	-1.72	18.71
	29	6.643	-2.41	8.215	-1.80	9.572	-1.34	42.946	3.21	8.893	-1.52	18.71
	30	4.229	-2.41	6.553	-1.66	8.400	-1.17	46.237	3.29	7.561	-1.33	18.71
	31	1.815	-2.41	5.028	-1.53	7.371	-1.03	49.598	3.36	6.404	-1.16	18.71
	32	-0.599	-2.41	3.639	-1.39	6.468	-0.90	53.023	3.43	5.406	-1.00	18.71
	33	-3.013	-2.41	2.387	-1.25	5.676	-0.79	56.506	3.48	4.551	-0.86	18.71
	34	-5.427	-2.41	1.272	-1.12	4.981	-0.70	60.043	3.54	3.822	-0.73	18.71
	35	-7.841	-2.41	0.294	-0.98	4.371	-0.61	63.631	3.59	3.204	-0.62	18.71
	36	-10.255	-2.41	-0.548	-0.84	3.835	-0.54	67.265	3.63	2.680	-0.52	18.71
	37	-12.668	-2.41	-1.253	-0.71	3.366	-0.47	70.943	3.68	2.239	-0.44	18.71
	38	-15.082	-2.41	-1.821	-0.57	2.953	-0.41	74.662	3.72	1.868	-0.37	18.71
	39	-17.496	-2.41	-2.253	-0.43	2.592	-0.36	78.421	3.76	1.557	-0.31	18.71
	40	-19.910	-2.41	-2.547	-0.29	2.274	-0.32	82.218	3.80	1.297	-0.26	18.71
	41	-22.324	-2.41	-2.706	-0.16	1.996	-0.28	86.050	3.83	1.080	-0.22	18.71
	42	-24.738	-2.41	-2.727	-0.02	1.751	-0.25	89.917	3.87	0.898	-0.18	18.71
採 用												○
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \exp(a-bt))$						
	a =	76.65	115.88	423.21	2.01	-3.65						
	b =	-2.41	-5.70	0.88	1.17	-0.19						
	c =		0.07									
	$Y_0 =$				23.46							
	$t_0 =$				22.00							
K =					61.61							
r =	0.995492	0.996054	0.994869	-0.352015	0.996134							

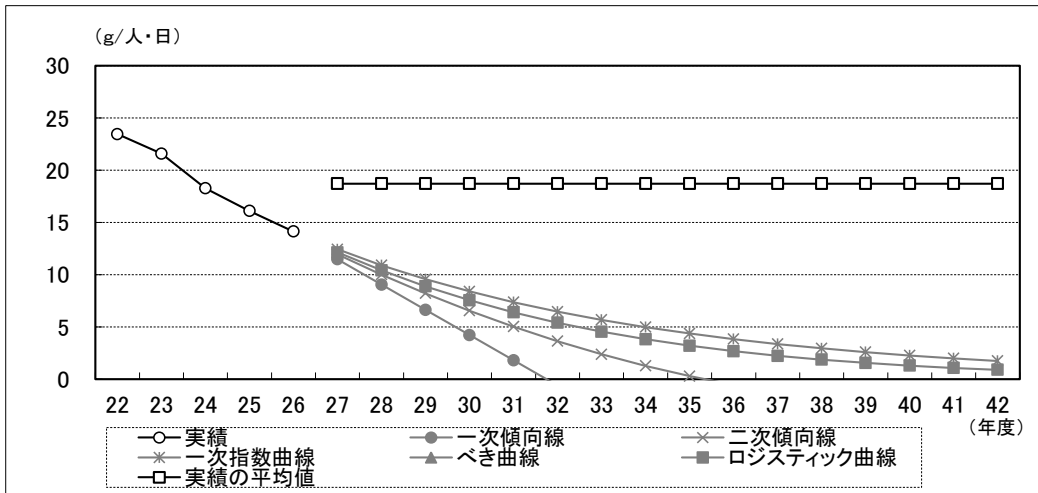


表 10-25 資源・雑誌の推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
22		15.506	—	15.506	—	15.506	—	15.506	—	15.506	—	15.51
23	実 績	14.057	-1.45	14.057	-1.45	14.057	-1.45	14.057	-1.45	14.057	-1.45	14.06
24		12.360	-1.70	12.360	-1.70	12.360	-1.70	12.360	-1.70	12.360	-1.70	12.36
25		8.959	-3.40	8.959	-3.40	8.959	-3.40	8.959	-3.40	8.959	-3.40	8.96
26		7.765	-1.19	7.765	-1.19	7.765	-1.19	7.765	-1.19	7.765	-1.19	7.77
27		5.555	-2.21	4.958	-2.81	6.541	-1.22	26.437	18.67	6.222	-1.54	11.73
28	見 通 し	3.497	-2.06	2.303	-2.66	5.445	-1.10	29.273	2.84	4.933	-1.29	11.73
29		1.439	-2.06	-0.522	-2.83	4.533	-0.91	32.238	2.97	3.873	-1.06	11.73
30		-0.619	-2.06	-3.518	-3.00	3.774	-0.76	35.317	3.08	3.017	-0.86	11.73
31		-2.677	-2.06	-6.685	-3.17	3.141	-0.63	38.500	3.18	2.335	-0.68	11.73
32		-4.735	-2.06	-10.022	-3.34	2.615	-0.53	41.779	3.28	1.798	-0.54	11.73
33		-6.793	-2.06	-13.530	-3.51	2.177	-0.44	45.146	3.37	1.379	-0.42	11.73
34		-8.851	-2.06	-17.209	-3.68	1.812	-0.37	48.595	3.45	1.054	-0.33	11.73
35		-10.909	-2.06	-21.058	-3.85	1.509	-0.30	52.121	3.53	0.804	-0.25	11.73
36		-12.967	-2.06	-25.077	-4.02	1.256	-0.25	55.720	3.60	0.612	-0.19	11.73
37		-15.025	-2.06	-29.267	-4.19	1.045	-0.21	59.388	3.67	0.466	-0.15	11.73
38		-17.083	-2.06	-33.628	-4.36	0.870	-0.18	63.121	3.73	0.354	-0.11	11.73
39		-19.141	-2.06	-38.159	-4.53	0.724	-0.15	66.917	3.80	0.268	-0.09	11.73
40		-21.199	-2.06	-42.861	-4.70	0.603	-0.12	70.772	3.86	0.204	-0.06	11.73
41		-23.257	-2.06	-47.734	-4.87	0.502	-0.10	74.685	3.91	0.154	-0.05	11.73
42		-25.315	-2.06	-52.777	-5.04	0.418	-0.08	78.652	3.97	0.117	-0.04	11.73
採 用												○
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct ²		a · b ^t		Y ₀ + a(t - t ₀) ^b		K / (1 + EXP(a - bt))		
	a =	61.12		12.17		924.28		1.43		-6.04		
	b =	-2.06		2.04		0.83		1.27		-0.28		
	c =			-0.09								
	Y ₀ =							15.51				
	t ₀ =							22.00				
K =									33.45			
r =	0.987080		0.988262		0.975439		-0.360591		0.984068			

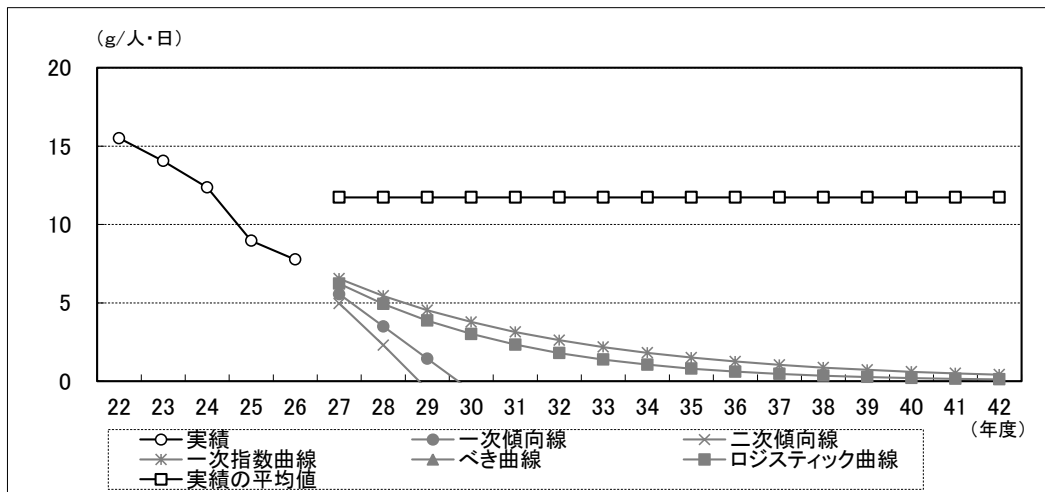


表 10-26 資源・牛乳パックの推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
22		0.471	—	0.471	—	0.471	—	0.471	—	0.471	—	0.47
23	実 績	0.448	-0.02	0.448	-0.02	0.448	-0.02	0.448	-0.02	0.448	-0.02	0.45
24		0.467	0.02	0.467	0.02	0.467	0.02	0.467	0.02	0.467	0.02	0.47
25		0.464	-0.00	0.464	-0.00	0.464	-0.00	0.464	-0.00	0.464	-0.00	0.46
26		0.469	0.00	0.469	0.00	0.469	0.00	0.469	0.00	0.469	0.00	0.47
27		0.467	-0.00	0.484	0.02	0.467	-0.00	0.473	0.00	0.467	-0.00	0.46
28	見 通 し	0.469	0.00	0.503	0.02	0.469	0.00	0.472	-0.00	0.467	0.00	
29		0.470	0.00	0.526	0.02	0.470	0.00	0.472	0.00	0.467	0.00	
30		0.471	0.00	0.554	0.03	0.471	0.00	0.472	0.00	0.468	0.00	
31		0.472	0.00	0.586	0.03	0.472	0.00	0.472	0.00	0.468	0.00	
32		0.473	0.00	0.624	0.04	0.474	0.00	0.472	0.00	0.469	0.00	
33		0.475	0.00	0.666	0.04	0.475	0.00	0.472	0.00	0.469	0.00	
34		0.476	0.00	0.714	0.05	0.476	0.00	0.471	-0.00	0.469	0.00	
35		0.477	0.00	0.766	0.05	0.477	0.00	0.471	0.00	0.470	0.00	
36		0.478	0.00	0.823	0.06	0.479	0.00	0.471	0.00	0.470	0.00	
37		0.479	0.00	0.885	0.06	0.480	0.00	0.471	0.00	0.470	0.00	
38	採 用	0.481	0.00	0.952	0.07	0.481	0.00	0.471	0.00	0.471	0.00	
39		0.482	0.00	1.023	0.07	0.483	0.00	0.471	0.00	0.471	0.00	
40		0.483	0.00	1.100	0.08	0.484	0.00	0.471	0.00	0.471	0.00	
41		0.484	0.00	1.181	0.08	0.485	0.00	0.471	0.00	0.471	0.00	
42		0.485	0.00	1.267	0.09	0.486	0.00	0.471	0.00	0.472	0.00	
採 用								○				
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²	a · b ^t	Y ₀ + a(t - t ₀) ^b	K / (1 + EXP(a - bt))						
	a =	0.43	1.83	0.44	0.02	-2.70						
	b =	0.00	-0.12	1.00	-1.50	0.03						
	c =		0.00									
	Y ₀ =				0.47							
	t ₀ =				22.00							
K =					0.48							
r =		0.067786	0.545711	0.268300	0.391166	-0.027550						

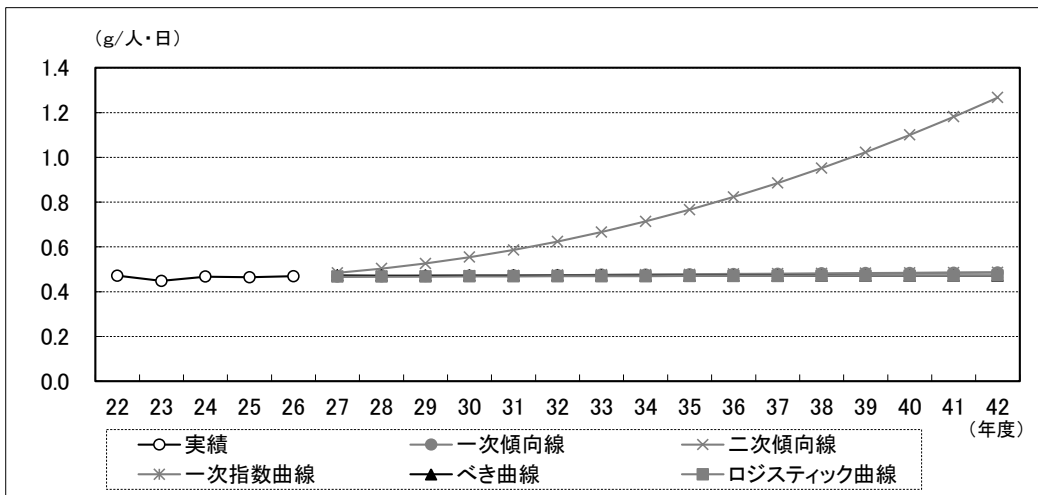


表 10-27 資源・紙製容器包装の推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
	22	2.507	—	2.507	—	2.507	—	2.507	—	2.507	—	2.51
	23	2.304	-0.20	2.304	-0.20	2.304	-0.20	2.304	-0.20	2.304	-0.20	2.30
	24	3.070	0.77	3.070	0.77	3.070	0.77	3.070	0.77	3.070	0.77	3.07
	25	3.658	0.59	3.658	0.59	3.658	0.59	3.658	0.59	3.658	0.59	3.66
	26	3.451	-0.21	3.451	-0.21	3.451	-0.21	3.451	-0.21	3.451	-0.21	3.45
	27	3.971	0.52	3.878	0.43	4.107	0.66	4.125	0.67	3.651	0.20	3.00
	28	4.295	0.32	4.109	0.23	4.585	0.48	4.531	0.41	3.657	0.01	
	29	4.619	0.32	4.313	0.20	5.119	0.53	4.954	0.42	3.659	0.00	
	30	4.943	0.32	4.491	0.18	5.715	0.60	5.391	0.44	3.660	0.00	
	31	5.267	0.32	4.643	0.15	6.380	0.67	5.841	0.45	3.660	0.00	
	32	5.592	0.32	4.768	0.13	7.123	0.74	6.302	0.46	3.660	0.00	
	33	5.916	0.32	4.866	0.10	7.952	0.83	6.774	0.47	3.660	0.00	
	34	6.240	0.32	4.938	0.07	8.878	0.93	7.256	0.48	3.660	0.00	
	35	6.564	0.32	4.983	0.04	9.912	1.03	7.748	0.49	3.660	0.00	
	36	6.888	0.32	5.002	0.02	11.066	1.15	8.248	0.50	3.660	0.00	
	37	7.213	0.33	4.994	-0.01	12.355	1.29	8.757	0.51	3.660	0.00	
	38	7.537	0.32	4.959	-0.04	13.793	1.44	9.273	0.52	3.660	0.00	
	39	7.861	0.32	4.898	-0.06	15.399	1.61	9.797	0.52	3.660	0.00	
	40	8.185	0.32	4.811	-0.09	17.193	1.79	10.328	0.53	3.660	0.00	
	41	8.509	0.32	4.696	-0.12	19.194	2.00	10.866	0.54	3.660	0.00	
	42	8.834	0.32	4.556	-0.14	21.429	2.24	11.410	0.54	3.660	0.00	
採 用		○										
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Y ₀ +a(t-t ₀) ^b		K/(1+EXP(a-bt))		
	a =	-4.78		-12.41		0.21		0.22		23.83		
	b =	0.32		0.96		1.12		1.23		1.10		
	c =			-0.01								
	Y ₀ =							2.51				
	t ₀ =							22.00				
	K =									3.66		
r =	0.876309		0.877223		0.870580		0.863982		0.739713			

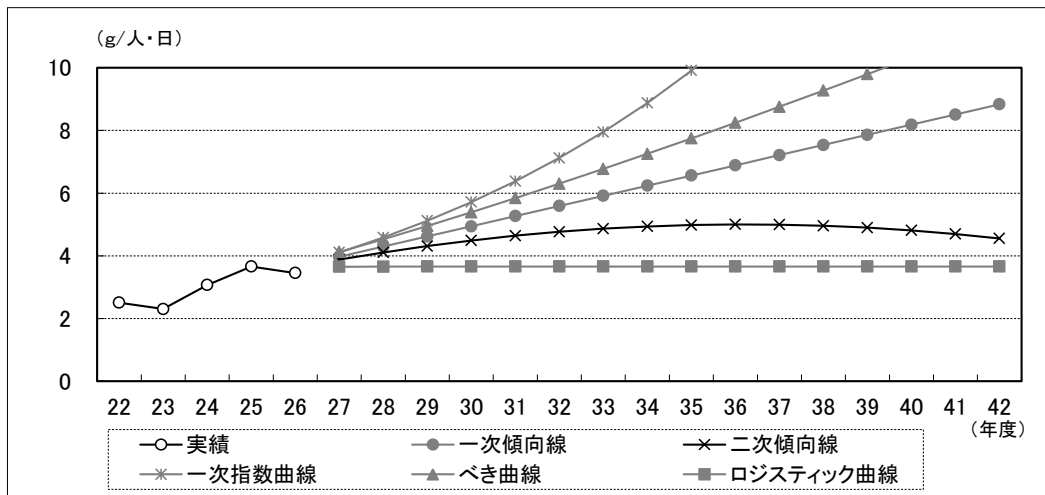


表 10-28 資源・古着の推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
22		7.984	—	7.984	—	7.984	—	7.984	—	7.984	—	7.98
23	実績	7.120	-0.86	7.120	-0.86	7.120	-0.86	7.120	-0.86	7.120	-0.86	7.12
24		5.879	-1.24	5.879	-1.24	5.879	-1.24	5.879	-1.24	5.879	-1.24	5.88
25		5.273	-0.61	5.273	-0.61	5.273	-0.61	5.273	-0.61	5.273	-0.61	5.27
26		3.987	-1.29	3.987	-1.29	3.987	-1.29	3.987	-1.29	3.987	-1.29	3.99
27		3.096	-0.89	2.992	-1.00	3.542	-0.45	13.038	9.05	3.210	-0.78	6.05
28	見 通 し	2.112	-0.98	1.903	-1.09	2.992	-0.55	14.130	1.09	2.467	-0.74	6.05
29		1.128	-0.98	0.785	-1.12	2.527	-0.47	15.236	1.11	1.858	-0.61	6.05
30		0.144	-0.98	-0.364	-1.15	2.134	-0.39	16.354	1.12	1.378	-0.48	6.05
31		-0.840	-0.98	-1.542	-1.18	1.802	-0.33	17.482	1.13	1.009	-0.37	6.05
32		-1.824	-0.98	-2.750	-1.21	1.522	-0.28	18.619	1.14	0.732	-0.28	6.05
33		-2.808	-0.98	-3.988	-1.24	1.286	-0.24	19.765	1.15	0.527	-0.21	6.05
34		-3.792	-0.98	-5.255	-1.27	1.086	-0.20	20.919	1.15	0.378	-0.15	6.05
35		-4.776	-0.98	-6.553	-1.30	0.917	-0.17	22.079	1.16	0.270	-0.11	6.05
36		-5.761	-0.99	-7.880	-1.33	0.775	-0.14	23.247	1.17	0.192	-0.08	6.05
37		-6.745	-0.98	-9.238	-1.36	0.654	-0.12	24.420	1.17	0.136	-0.06	6.05
38	-7.729	-0.98	-10.625	-1.39	0.553	-0.10	25.599	1.18	0.097	-0.04	6.05	
39	-8.713	-0.98	-12.042	-1.42	0.467	-0.09	26.784	1.19	0.069	-0.03	6.05	
40	-9.697	-0.98	-13.489	-1.45	0.394	-0.07	27.973	1.19	0.049	-0.02	6.05	
41	-10.681	-0.98	-14.966	-1.48	0.333	-0.06	29.168	1.20	0.034	-0.02	6.05	
42	-11.665	-0.98	-16.472	-1.51	0.281	-0.05	30.367	1.20	0.024	-0.01	6.05	
採用												○
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$						
	a =	29.67	21.10	338.78	0.90	-8.38						
	b =	-0.98	-0.27	0.84	1.07	-0.35						
	c =		-0.01									
	$Y_0 =$					7.98						
	$t_0 =$					22.00						
	K =						11.77					
r =		0.995413	0.995564	0.988905	-0.340905	0.995051						

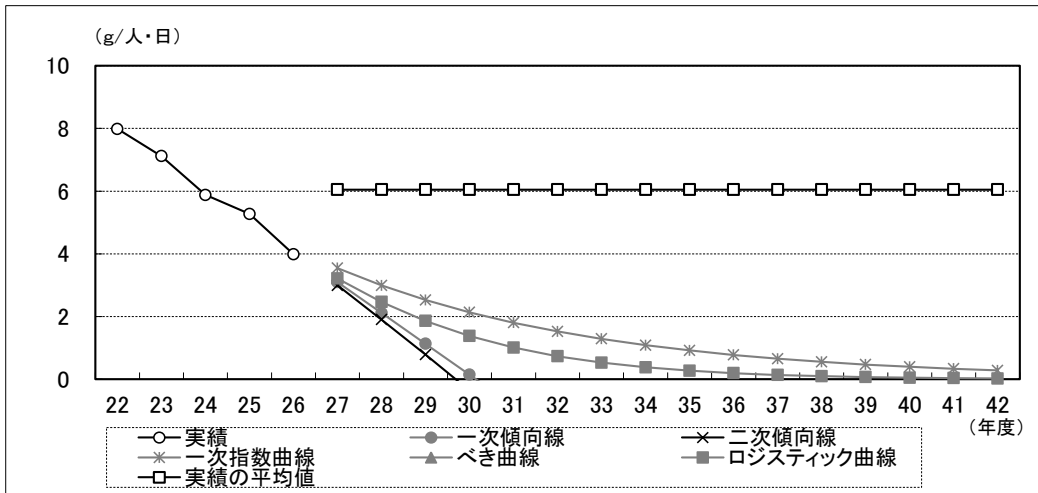
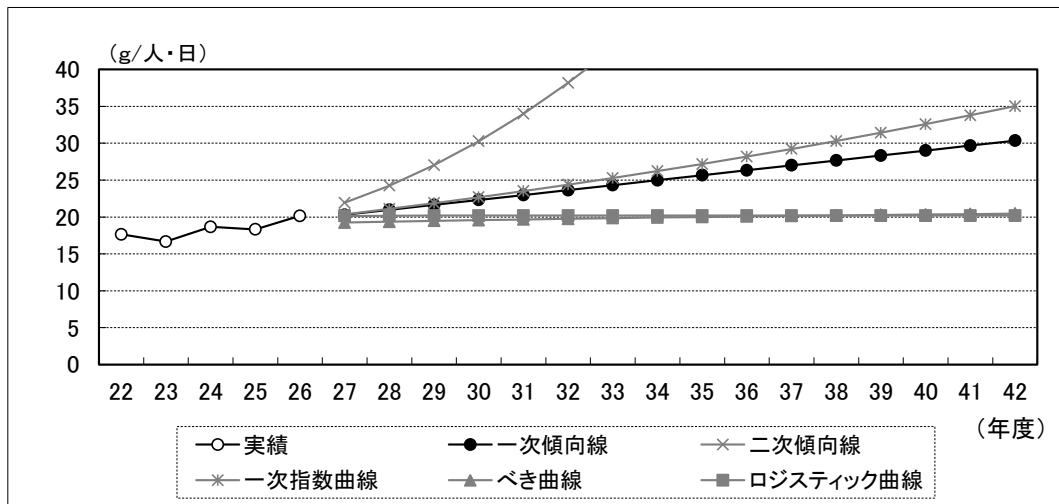


表 10-29 資源・緑ごみの推計結果

単位: g/人・日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
22		17.64	—	17.64	—	17.64	—	17.64	—	17.64	—	17.64
23	実績	16.66	-0.98	16.66	-0.98	16.66	-0.98	16.66	-0.98	16.66	-0.98	16.66
24		18.67	2.01	18.67	2.01	18.67	2.01	18.67	2.01	18.67	2.01	18.67
25		18.32	-0.35	18.32	-0.35	18.32	-0.35	18.32	-0.35	18.32	-0.35	18.32
26		20.16	1.84	20.16	1.84	20.16	1.84	20.16	1.84	20.16	1.84	20.16
27		20.30	0.14	21.94	1.78	20.35	0.19	19.24	-0.92	20.13	-0.03	18.29
28	20.97	0.67	24.25	2.31	21.10	0.75	19.36	0.12	20.17	0.04		
29	21.64	0.67	27.03	2.78	21.88	0.78	19.48	0.12	20.19	0.02		
30	22.31	0.67	30.28	3.25	22.68	0.80	19.58	0.10	20.20	0.01		
31	22.98	0.67	33.99	3.71	23.52	0.84	19.67	0.09	20.20	0.00		
32	23.65	0.67	38.18	4.19	24.39	0.87	19.76	0.09	20.20	0.00		
33	24.32	0.67	42.83	4.65	25.28	0.89	19.85	0.09	20.20	0.00		
34	24.99	0.67	47.95	5.12	26.22	0.94	19.93	0.08	20.20	0.00		
35	25.66	0.67	53.54	5.59	27.18	0.96	20.00	0.07	20.20	0.00		
36	26.33	0.67	59.60	6.06	28.19	1.01	20.08	0.08	20.20	0.00		
37	27.00	0.67	66.13	6.53	29.22	1.03	20.15	0.07	20.20	0.00		
38	27.67	0.67	73.12	6.99	30.30	1.08	20.21	0.06	20.20	0.00		
39	28.34	0.67	80.59	7.47	31.42	1.12	20.28	0.07	20.20	0.00		
40	29.01	0.67	88.52	7.93	32.58	1.16	20.34	0.06	20.20	0.00		
41	29.68	0.67	96.92	8.40	33.78	1.20	20.40	0.06	20.20	0.00		
42	30.35	0.67	105.79	8.87	35.02	1.24	20.46	0.06	20.20	0.00		
採用							○					
予 測 式	$Y_t =$	$a+bt$	$a+bt+ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0+a(t-t_0)^b$	$K/(1+EXP(a-bt))$						
	a =	2.21	136.69	7.66	0.83	19.45						
	b =	0.67	-10.58	1.04	0.41	0.93						
	c =		0.23									
	$Y_0 =$				17.64							
	$t_0 =$				22.00							
	K =					20.20						
r =	0.817219	0.883450	0.824050	0.536981	0.618189							



(3) 中間処理量の予測

① 可燃ごみ

民間業者に委託する可燃ごみの資源化率及び最終処分率は、委託先からの聞き取り調査により、表 10-30 に示す値としました。

表 10-30 燃えるごみの資源化率及び最終処分率

民間業者	搬入割合	資源化率	最終処分率
M 社	66.7%	16.0%	4.0%
I 社	33.3%	15.0%	0.0%

(4) ごみ量の実績及び将来予測

施策実施前のごみ排出量及び処理量の実績及び将来予測は表 10-31 に、施策実施後のごみ排出量及び処理量の将来予測は表 10-32 に示すとおりです。

なお、本編表中の数値は端数処理後に合計値を算出したため、資料編の数値と異なります。

表 10-31 (2) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施前)

項目	単位												見通し					中間目標	見通し					最終目標
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37		
排出量	有害・危険ごみ	t/年	-	-	-	0.00	0.00	2.63	2.64	2.73	3.16	3.27	3.08	3.08	3.10	3.11	3.14	3.15	3.14	3.14	3.14	3.13	3.13	
	蛍光灯	t/年	-	-	-	-	-	1.11	1.04	1.07	1.33	1.41	1.27	1.27	1.28	1.28	1.29	1.30	1.29	1.29	1.29	1.29	1.29	
	乾電池	t/年	-	-	-	-	-	1.52	1.60	1.66	1.83	1.86	1.81	1.81	1.82	1.83	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.84	1.84	
	集団回収量	t/年	709.65	779.69	723.50	654.88	553.77	487.58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	紙類	t/年	680.28	748.49	696.37	632.47	539.78	476.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	繊維類	t/年	14.55	15.24	11.20	9.97	4.12	2.81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	金属類	t/年	14.82	15.96	15.93	12.44	9.87	7.86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	生活系ごみ排出量	t/年	6,731.20	6,775.46	6,679.01	6,599.05	6,271.14	5,914.75	5,461.27	5,442.16	5,483.45	5,578.62	5,645.64	5,651.38	5,670.85	5,689.62	5,724.40	5,728.45	5,711.50	5,693.63	5,691.54	5,659.29	5,647.87	
	家庭系ごみ排出量	t/年	5,184.21	5,206.36	5,134.71	5,014.14	4,800.58	4,447.30	4,536.22	4,578.55	4,671.79	4,747.76	4,740.92	4,745.28	4,761.05	4,776.27	4,804.99	4,808.12	4,793.51	4,778.45	4,776.85	4,749.88	4,740.70	
	事業系ごみ排出量	t/年	3,714.53	3,859.00	4,058.96	3,696.15	3,435.02	3,317.76	3,177.23	3,165.60	3,179.84	3,247.81	3,422.47	3,413.12	3,413.12	3,413.12	3,422.47	3,413.12	3,413.12	3,413.12	3,422.47	3,413.12	3,413.12	
中間処理	可燃ごみ (実績は組合搬入量)	t/年	8,083.49	8,297.52	8,429.88	8,059.40	7,628.19	7,239.99	7,413.11	7,462.19	7,573.63	7,747.87	7,528.01	7,534.62	7,559.04	7,581.93	7,624.93	7,626.08	7,620.37	7,613.32	7,627.12	7,599.13	7,595.57	
	家庭系・収集	t/年	-	-	-	-	-	-	4,057.98	4,104.19	4,207.55	4,265.39	3,927.53	3,942.80	3,966.16	3,988.06	4,020.25	4,030.29	4,024.83	4,018.09	4,022.34	4,004.51	4,001.11	
	事業系・直接搬入	t/年	-	-	-	-	-	-	3,177.23	3,165.60	3,179.84	3,247.81	3,422.47	3,413.12	3,413.12	3,413.12	3,422.47	3,413.12	3,413.12	3,413.12	3,422.47	3,413.12	3,413.12	
	一般廃棄物 (家庭系・直接搬入)	t/年	-	-	-	-	-	-	165.04	181.89	177.69	229.34	178.01	178.70	179.76	180.75	182.21	182.67	182.42	182.11	182.31	181.50	181.34	
	産業廃棄物	t/年	-	-	-	-	-	-	12.86	10.51	8.55	5.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	中間処理後可燃物 (粗大ごみ等)	t/年	-	-	-	-	-	-	365.26	363.23	363.03	406.96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
資源化	総資源化量	t/年	1,881.68	1,838.61	1,782.00	1,783.71	1,666.13	1,641.72	1,081.49	993.62	941.61	949.34	1,009.22	2,161.01	2,160.08	2,159.76	2,166.09	2,161.10	2,152.35	2,143.66	2,141.12	2,127.63	2,121.50	
	資源ごみ量 (収集+直接搬入)	t/年	837.34	789.41	820.80	930.03	916.79	979.87	925.05	863.61	811.66	830.86	904.72	906.10	909.80	913.35	919.41	920.33	917.99	915.18	914.69	909.41	907.17	
	不燃ごみ (金属類)	t/年	309.53	241.90	210.44	174.55	174.30	154.21	136.46	110.64	111.04	100.74	84.26	74.49	66.03	58.57	52.10	46.02	40.50	35.72	31.51	27.69	24.36	
	集団回収量	t/年	709.65	779.69	723.50	654.88	553.77	487.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	焼却処理による磁気物量 (0.26%)	t/年	25.16	27.61	27.26	24.25	21.27	20.06	19.98	19.37	18.91	17.74	20.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	岐阜羽島衛生搬入量 (岐南町分)	t/年	8,388.19	8,627.31	8,792.13	8,361.39	7,877.75	7,429.47	7,400.25	7,451.68	7,565.08	7,713.96	7,906.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	焼却処理による資源化量	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,180.42	1,184.25	1,187.84	1,194.58	1,194.75	1,193.86	1,192.76	1,194.92	1,190.53	1,189.97	
	M社 (16%)	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	803.69	806.30	808.74	813.33	813.45	812.84	812.09	813.56	810.57	810.19	
	I社 (15%)	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	376.73	377.95	379.10	381.25	381.30	381.02	380.67	381.36	379.96	379.78	
	民間回収	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	949.26	1,080.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ダンボール	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	285.37	311.65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	新聞	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	257.78	311.92	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	雑誌	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	299.07	357.98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	古着	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	95.77	89.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アルミ缶	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	5.84	4.99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
スチール缶	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	5.43	4.66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
再生利用率	%	18.0	17.3	16.6	17.3	17.2	17.8	12.5	11.5	10.9	10.8	11.1	23.8	23.8	23.7	23.7	23.6	23.6	23.5	23.5	23.5	23.4		
再生利用率 (民間回収を含む)	%	-	-	-	-	-	-	-	-	19.7	20.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
最終処分	最終処分量	t/年	989.51	1,067.51	1,079.11	1,060.66	1,002.84	906.84	899.32	887.01	891.03	918.14	931.47	367.41	365.90	364.33	363.98	361.80	358.83	356.07	354.20	350.66	348.61	
	不燃ごみ (ガラス類・がれき類)	t/年	201.02	196.15	191.10	174.35	183.55	178.75	174.10	179.10	172.35	177.60	169.25	166.49	164.33	162.15	160.65	158.44	155.62	153.05	150.81	148.02	146.06	
	焼却処理による固化灰・不燃物 (9.64%)	t/年	788.49	871.36	888.01	886.31	819.29	728.09	725.22	707.91	718.68	740.54	762.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	焼却処理による最終処分率	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200.92	201.57	202.18	203.33	203.36	203.21	203.02	203.39	202.64	202.55	
	M社 (4%)	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200.92	201.57	202.18	203.33	203.36	203.21	203.02	203.39	202.64	202.55	
	I社 (0%)	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
最終処分率	%	9.5	10.0	10.0	10.3	10.3	9.8	10.4	10.3	10.3	10.4	10.3	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8		

表 10-32 (2) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施後)

項目	単位	見通し											中間目標	見通し					最終目標				
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		H28	H29	H30	H31	H32		H33	H34	H35	H36
排出量	有害・危険ごみ	t/年	—	—	—	0.00	0.00	2.63	2.64	2.73	3.16	3.27	3.08	3.08	3.10	3.11	3.14	3.15	3.14	3.14	3.14	3.13	3.13
	蛍光灯	t/年	—	—	—	—	—	1.11	1.04	1.07	1.33	1.41	1.27	1.27	1.28	1.28	1.29	1.30	1.29	1.29	1.29	1.29	1.29
	乾電池	t/年	—	—	—	—	—	1.52	1.60	1.66	1.83	1.86	1.81	1.81	1.82	1.83	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.84	1.84
	集団回収量	t/年	709.65	779.69	723.50	654.88	553.77	487.58	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	紙類	t/年	680.28	748.49	696.37	632.47	539.78	476.91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	繊維類	t/年	14.55	15.24	11.20	9.97	4.12	2.81	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	金属類	t/年	14.82	15.96	15.93	12.44	9.87	7.86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	生活系ごみ排出量	t/年	6,731.20	6,775.46	6,679.01	6,599.05	6,271.14	5,914.75	5,461.27	5,442.16	5,483.45	5,578.62	5,645.64	5,647.58	5,663.22	5,678.11	5,708.93	5,709.07	5,688.28	5,666.59	5,660.60	5,624.64	5,609.40
	家庭系ごみ排出量	t/年	5,184.21	5,206.36	5,134.71	5,014.14	4,800.58	4,447.30	4,536.22	4,578.55	4,671.79	4,747.76	4,740.92	4,716.62	4,703.45	4,689.42	4,713.80	4,712.63	4,694.29	4,675.54	4,670.17	4,639.61	4,626.68
	事業系ごみ排出量	t/年	3,714.53	3,859.00	4,058.96	3,696.15	3,435.02	3,317.76	3,177.23	3,165.60	3,179.84	3,247.81	3,422.47	3,413.12	3,310.73	3,310.73	2,977.55	2,969.42	2,969.42	2,969.42	2,977.55	2,969.42	2,969.42
中間処理	可燃ごみ (実績は組合搬入量)	t/年	8,083.49	8,297.52	8,429.88	8,059.40	7,628.19	7,239.99	7,413.11	7,462.19	7,573.63	7,747.87	7,528.01	7,509.76	7,406.68	7,404.20	7,104.29	7,106.27	7,100.67	7,093.75	7,106.46	7,079.81	7,076.32
	家庭系・収集	t/年	—	—	—	—	—	—	4,057.98	4,104.19	4,207.55	4,265.39	3,927.53	3,917.94	3,916.19	3,912.72	3,944.53	3,954.18	3,948.83	3,942.22	3,946.60	3,928.89	3,925.56
	事業系・直接搬入	t/年	—	—	—	—	—	—	3,177.23	3,165.60	3,179.84	3,247.81	3,422.47	3,413.12	3,310.73	3,310.73	2,977.55	2,969.42	2,969.42	2,969.42	2,977.55	2,969.42	2,969.42
	一般廃棄物 (家庭系・直接搬入)	t/年	—	—	—	—	—	—	165.04	181.89	177.69	229.34	178.01	178.70	179.76	180.75	182.21	182.67	182.42	182.11	182.31	181.50	181.34
	産業廃棄物	t/年	—	—	—	—	—	—	12.86	10.51	8.55	5.33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	中間処理後可燃物 (粗大ごみ等)	t/年	—	—	—	—	—	—	365.26	363.23	363.03	406.96	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資源化	総資源化量	t/年	1,881.68	1,838.61	1,782.00	1,783.71	1,666.13	1,641.72	1,081.49	993.62	941.61	949.34	1,009.22	2,181.98	2,186.18	2,207.25	2,160.23	2,155.77	2,146.92	2,138.13	2,135.28	2,121.89	2,115.71
	資源ごみ量 (収集+直接搬入)	t/年	837.34	789.41	820.80	930.03	916.79	979.87	925.05	863.61	811.66	830.86	904.72	930.96	959.77	988.69	995.13	996.44	993.99	991.05	990.43	985.03	982.72
	不燃ごみ (金属類)	t/年	309.53	241.90	210.44	174.55	174.30	154.21	136.46	110.64	111.04	100.74	84.26	74.49	66.03	58.57	52.10	46.02	40.50	35.72	31.51	27.69	24.36
	集団回収量	t/年	709.65	779.69	723.50	654.88	553.77	487.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	焼却処理による磁気物量 (0.26%)	t/年	25.16	27.61	27.26	24.25	21.27	20.06	19.98	19.37	18.91	17.74	20.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	岐阜羽島衛生搬入量 (岐南町分)	t/年	8,388.19	8,627.31	8,792.13	8,361.39	7,877.75	7,429.47	7,400.25	7,451.68	7,565.08	7,713.96	7,906.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	焼却処理による資源化量	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,176.53	1,160.38	1,159.99	1,113.00	1,113.31	1,112.43	1,111.36	1,113.34	1,109.17	1,108.63
	M社 (16%)	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	801.04	790.05	789.78	757.79	758.00	757.40	756.67	758.02	755.18	754.81
	I社 (15%)	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	375.49	370.33	370.21	355.21	355.31	355.03	354.69	355.32	353.99	353.82
	民間回収	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	949.26	1,080.32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ダンボール	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	285.37	311.65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	新聞	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	257.78	311.92	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	雑誌	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	299.07	357.98	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	古着	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	95.77	89.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	アルミ缶	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	5.84	4.99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スチール缶	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	5.43	4.66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
再生利用率	%	18.0	17.3	16.6	17.3	17.2	17.8	12.5	11.5	10.9	10.8	11.1	24.1	24.4	24.6	24.9	24.8	24.8	24.8	24.7	24.7	24.7	
再生利用率 (民間回収を含む)	%	—	—	—	—	—	—	—	—	19.7	20.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最終処分	最終処分量	t/年	989.51	1,067.51	1,079.11	1,060.66	1,002.84	906.84	899.32	887.01	891.03	918.14	931.47	366.75	361.84	359.60	350.10	347.94	344.97	342.22	340.32	336.81	334.76
	不燃ごみ (ガラス類・がれき類)	t/年	201.02	196.15	191.10	174.35	183.55	178.75	174.10	179.10	172.35	177.60	169.25	166.49	164.33	162.15	160.65	158.44	155.62	153.05	150.81	148.02	146.06
	焼却処理による固化灰・不燃物 (9.64%)	t/年	788.49	871.36	888.01	886.31	819.29	728.09	725.22	707.91	718.68	740.54	762.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	焼却処理による最終処分率	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200.26	197.51	197.45	189.45	189.50	189.35	189.17	189.51	188.79	188.70
	M社 (4%)	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200.26	197.51	197.45	189.45	189.50	189.35	189.17	189.51	188.79	188.70
	I社 (0%)	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
最終処分率	%	9.5	10.0	10.0	10.3	10.3	9.8	10.4	10.3	10.3	10.4	10.3	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	

資料 3 生活排水処理の将来予測

1. 生活排水処理形態別人口の予測

処理形態別人口の実績及び将来予測結果は、表 11-1 に示すとおりです。

表 11-1 処理形態別人口の実績及び将来予測結果

区 分	単位	実績				
		H22	H23	H24	H25	H26
計画処理区域内人口	人	23,402	23,483	24,216	24,050	24,274
水洗化・生活雑排水処理人口	人	19,524	20,630	20,911	21,149	21,708
公共下水道人口	人	18,781	19,900	20,175	20,420	20,982
合併処理浄化槽人口	人	743	730	736	729	726
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	2,861	1,848	2,497	2,135	1,902
単独処理浄化槽人口	人	2,861	1,848	2,497	2,135	1,902
非水洗化人口	人	1,017	1,005	808	766	664
し尿人口（くみ取り）	人	1,017	1,005	808	766	664
自家処理人口	人	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	83.4	87.9	86.4	87.9	89.4

区 分	単位	予測				
		H27	H28	H29	H30	H31
計画処理区域内人口	人	24,857	24,985	25,113	25,241	25,370
水洗化・生活雑排水処理人口	人	22,446	22,756	23,052	23,335	23,606
公共下水道人口	人	21,724	22,037	22,337	22,623	22,898
合併処理浄化槽人口	人	722	719	715	712	708
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	1,812	1,695	1,584	1,481	1,385
単独処理浄化槽人口	人	1,812	1,695	1,584	1,481	1,385
非水洗化人口	人	599	534	477	425	379
し尿人口（くみ取り）	人	599	534	477	425	379
自家処理人口	人	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	90.3	91.1	91.8	92.4	93.0

区 分	単位	予測					
		H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画処理区域内人口	人	25,334	25,291	25,248	25,205	25,183	25,124
水洗化・生活雑排水処理人口	人	23,701	23,779	23,848	23,908	23,981	24,010
公共下水道人口	人	22,996	23,078	23,150	23,214	23,290	23,323
合併処理浄化槽人口	人	705	701	698	694	691	687
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	1,295	1,211	1,132	1,059	990	925
単独処理浄化槽人口	人	1,295	1,211	1,132	1,059	990	925
非水洗化人口	人	338	301	268	238	212	189
し尿人口（くみ取り）	人	338	301	268	238	212	189
自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	93.6	94.0	94.5	94.9	95.2	95.6

2. し尿及び汚泥発生量の予測

し尿及び汚泥発生量の実績及び将来予測結果は、表 11-2 に示すとおりです。

表 11-2 し尿及び汚泥の実績及び将来予測結果

区 分		単位	実績				
			H22	H23	H24	H25	H26
発生量	し 尿	kL/年	536	500	515	509	521
	浄化槽汚泥	kL/年	3,537	3,532	3,397	3,420	3,423
	合 計	kL/年	4,072	4,032	3,912	3,928	3,943
	1日平均排出量	kL/日	11.2	11.0	10.7	10.8	10.8

区 分		単位	予測				
			H27	H28	H29	H30	H31
発生量	し 尿	kL/年	418	371	332	295	264
	浄化槽汚泥	kL/年	3,004	2,854	2,718	2,593	2,482
	合 計	kL/年	3,422	3,226	3,050	2,888	2,746
	1日平均排出量	kL/日	9.3	8.8	8.4	7.9	7.5

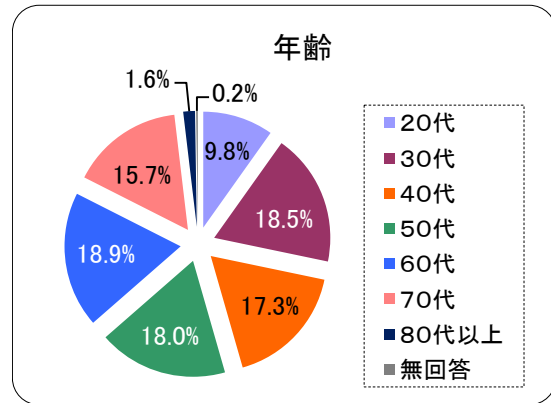
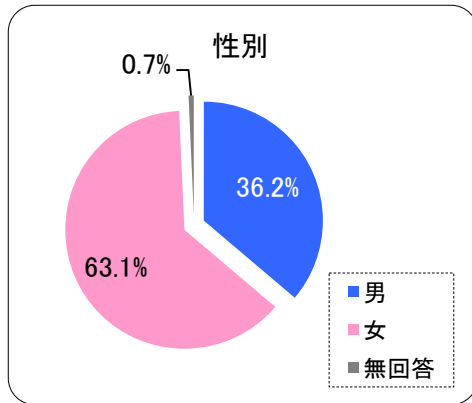
区 分		単位	予測					
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
発生量	し 尿	kL/年	235	209	186	166	147	131
	浄化槽汚泥	kL/年	2,365	2,261	2,164	2,078	1,988	1,906
	合 計	kL/年	2,600	2,470	2,350	2,244	2,135	2,037
	1日平均排出量	kL/日	7.1	6.8	6.4	6.1	5.8	5.6

資料4 アンケート結果

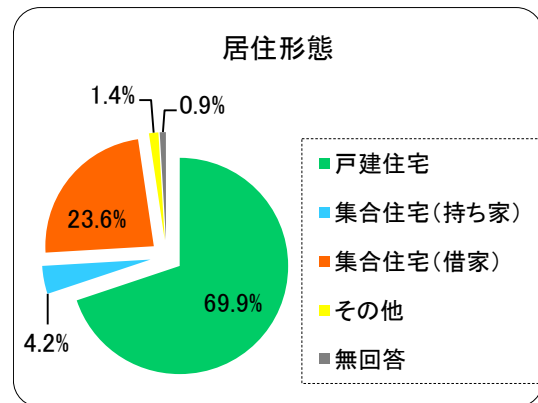
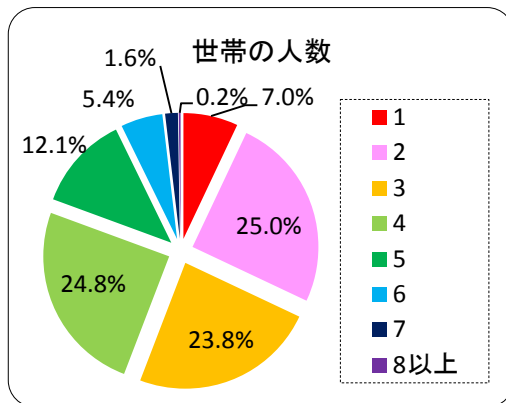
1. 家庭のごみと資源に関するアンケート集計結果

(1) あなたご自身のことについて

問1 あなたの「性別」と「年齢」を教えてください。

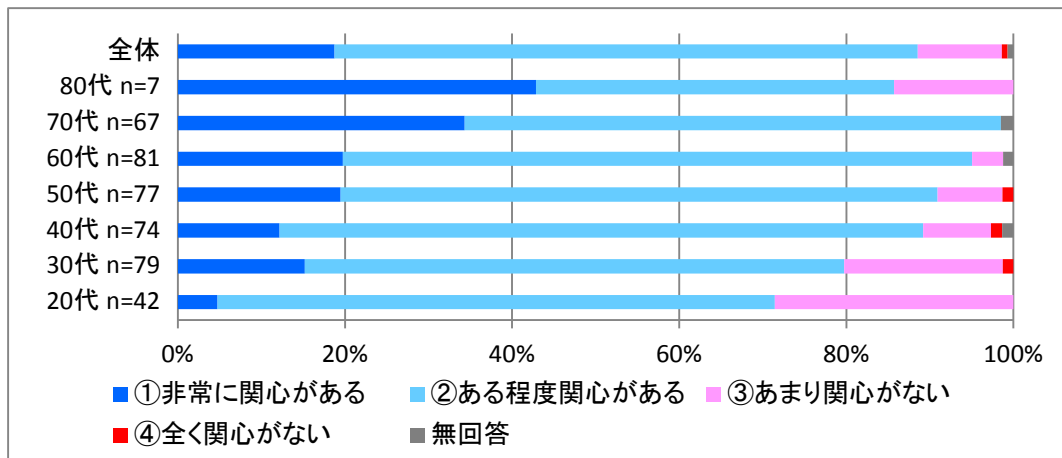


問2 あなたの「世帯の人数」と「居住形態」を教えてください。

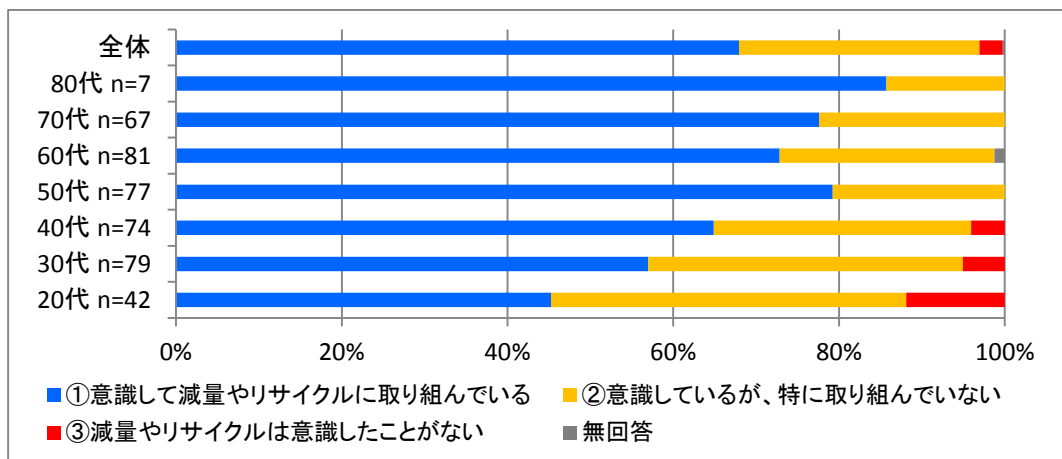


(2) ごみ問題について

問3 ごみ問題に関心がありますか？

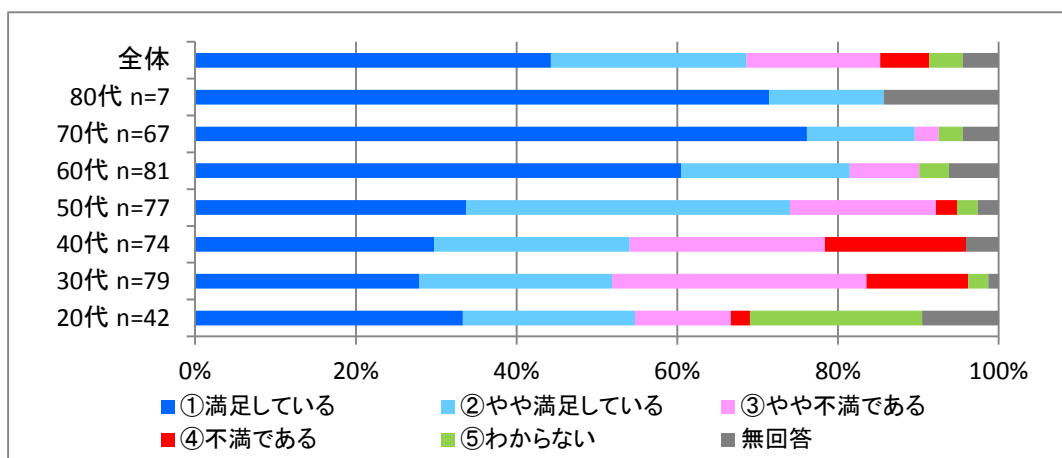


問4 あなたの家庭では「ごみ」に対し、どのように関わっていますか？

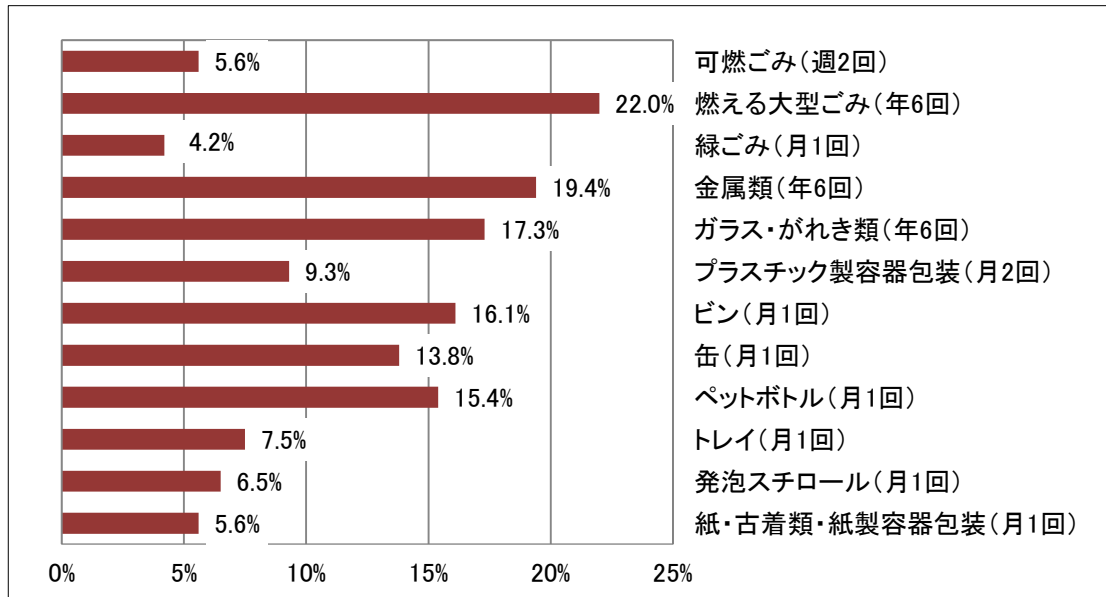


(3) ごみの収集・分別について

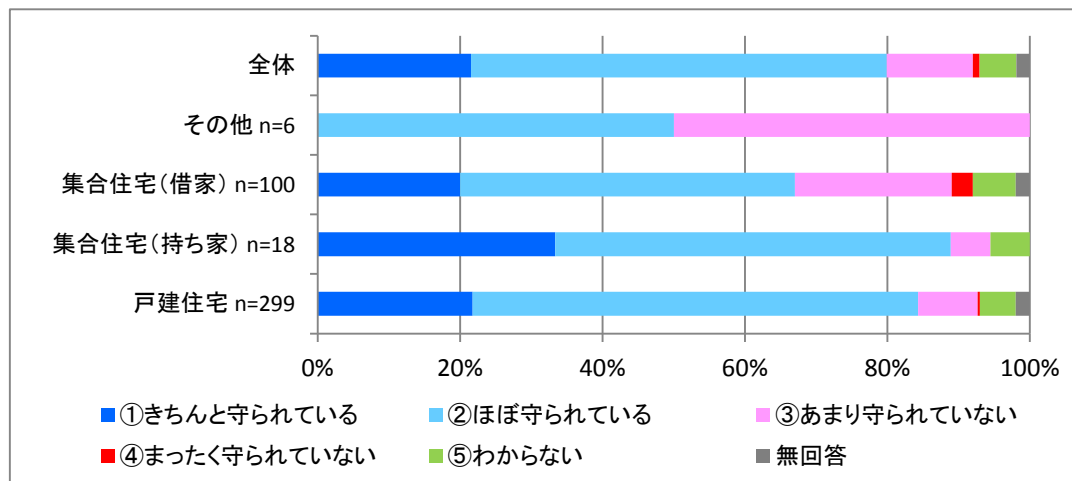
問5 ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？



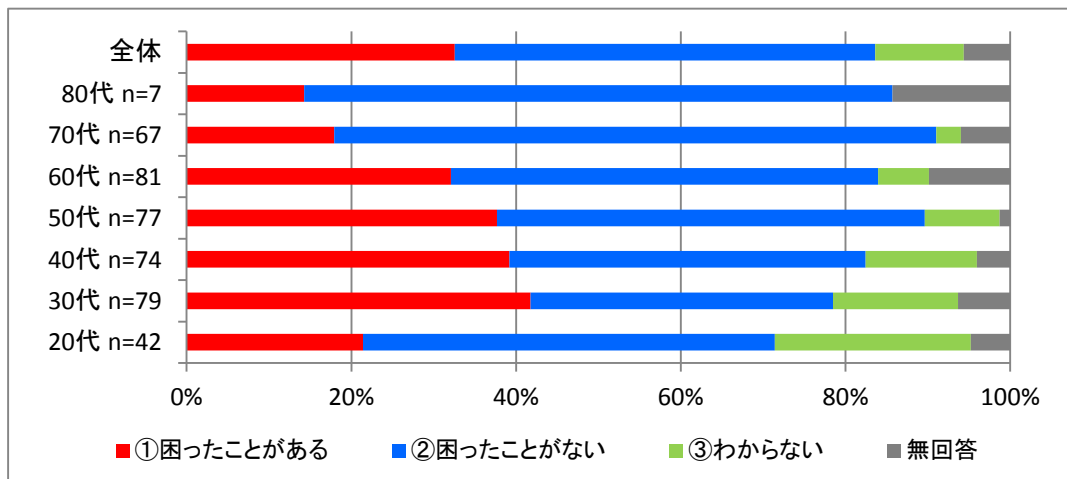
問 6 問 5 で「② やや満足している」「③ やや不満である」「④ 不満である」とご回答いただいた方にお聞きします。どのごみの収集回数に不便を感じたことがありますか？（複数回答可）



問 7 あなたが利用しているごみ集積場では、ごみ出しルールが守られていると思いますか？

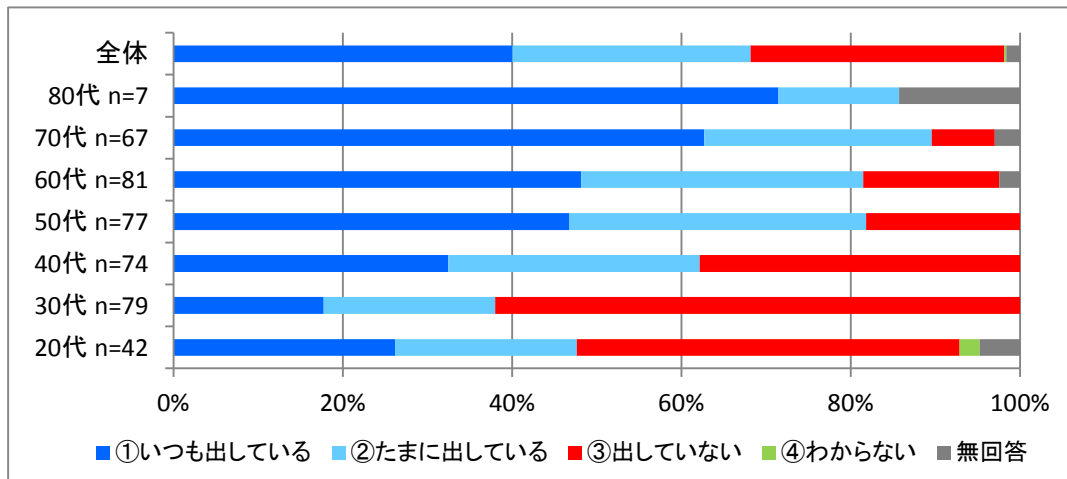


問 8 あなたはごみの出し方で困ったことがありますか？

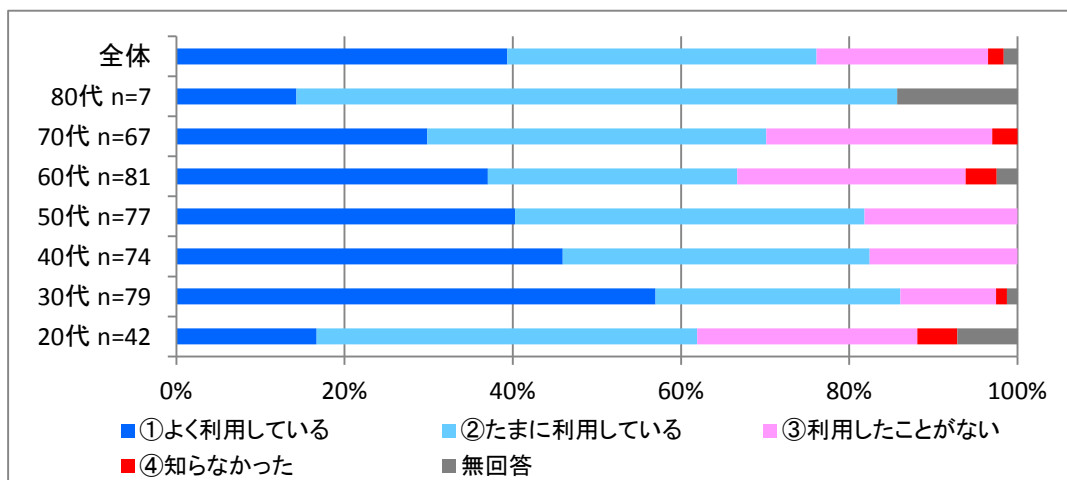


(4) リサイクルについて

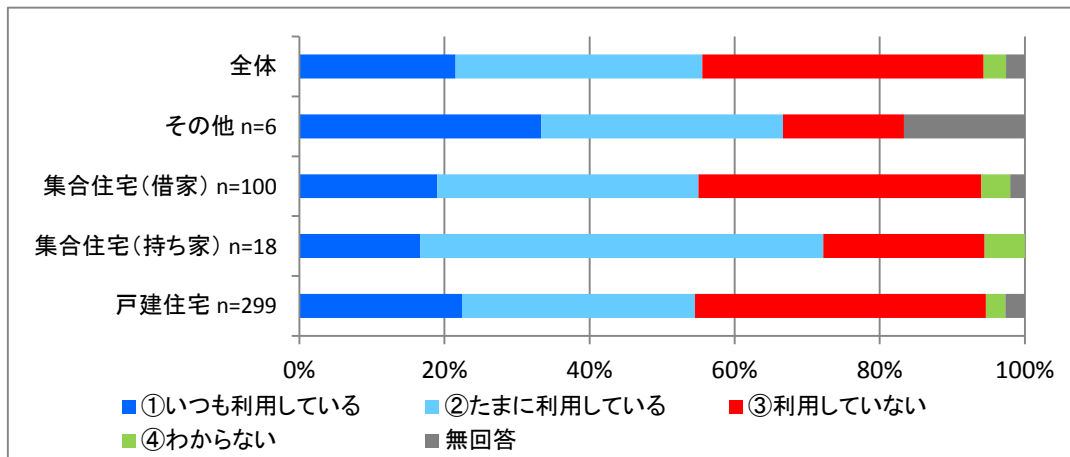
問 9 小中学校のPTA 等が行う資源分別回収に古紙等を出していますか？



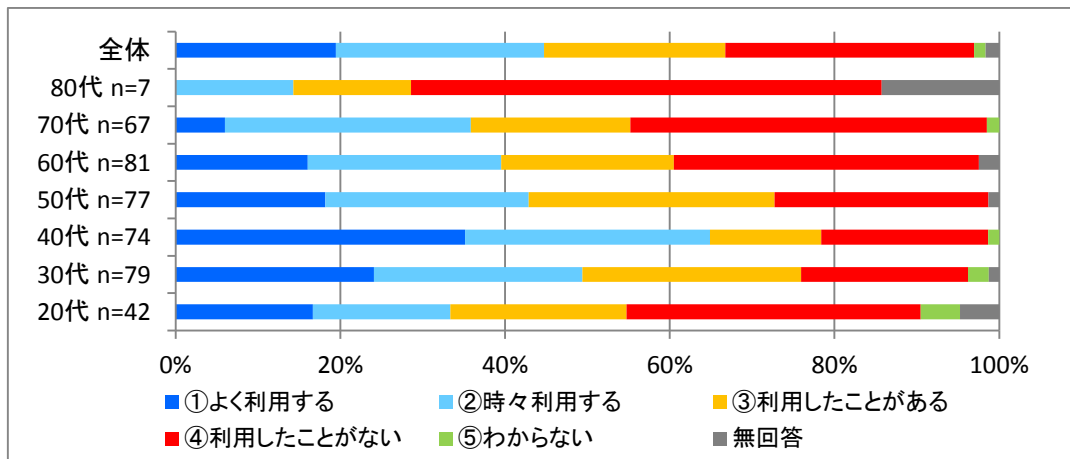
問 10 エコ・ステーションを利用したことがありますか？



問 11 スーパーの店頭に設置してある白色トレイの店頭回収を利用していますか？

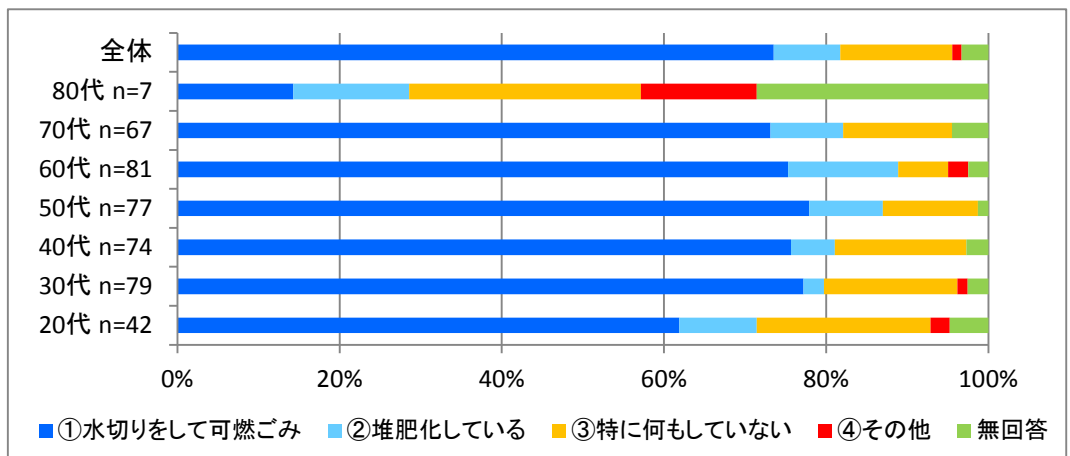


問 12 民間企業が設置している古紙や古着などの回収ボックスを利用したことがありますか？

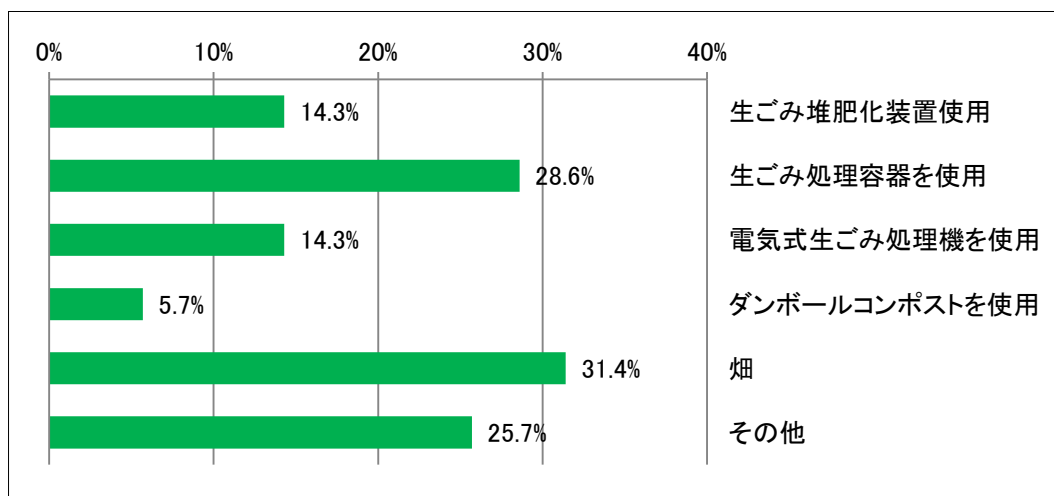


(5) 3Rの取り組みについて

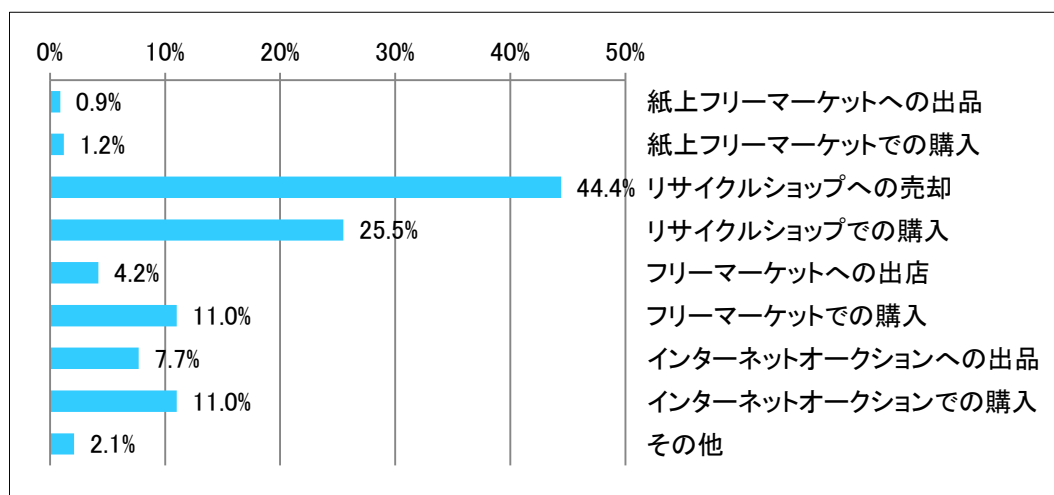
問 13 あなたの家では台所から出る生ごみの減量化に取り組んでいますか？



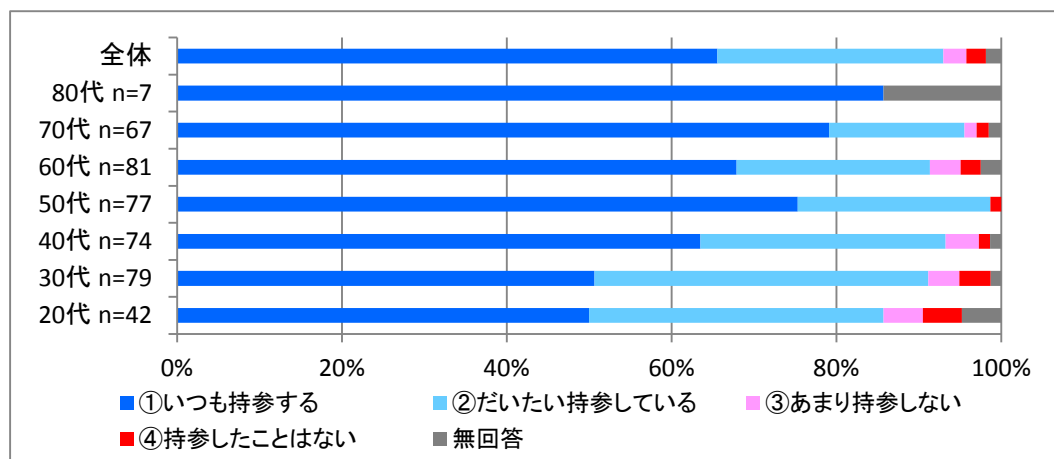
問 14 問 13 で「② 堆肥化している」と回答した人にお聞きします。あなたの家ではどのような方法で生ごみを堆肥化していますか？（複数回答可）



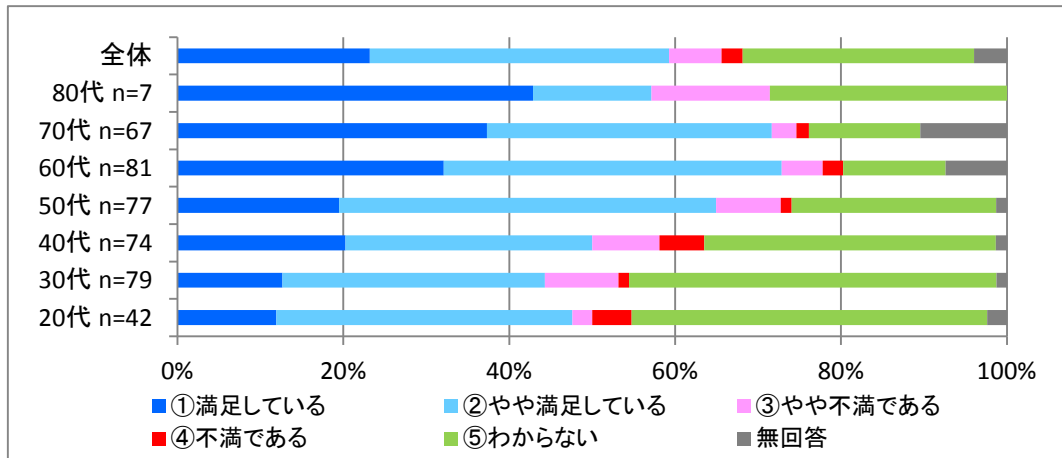
問 15 あなたが行ったことのある再利用（リユース）の取り組みはどれですか？（複数回答可）



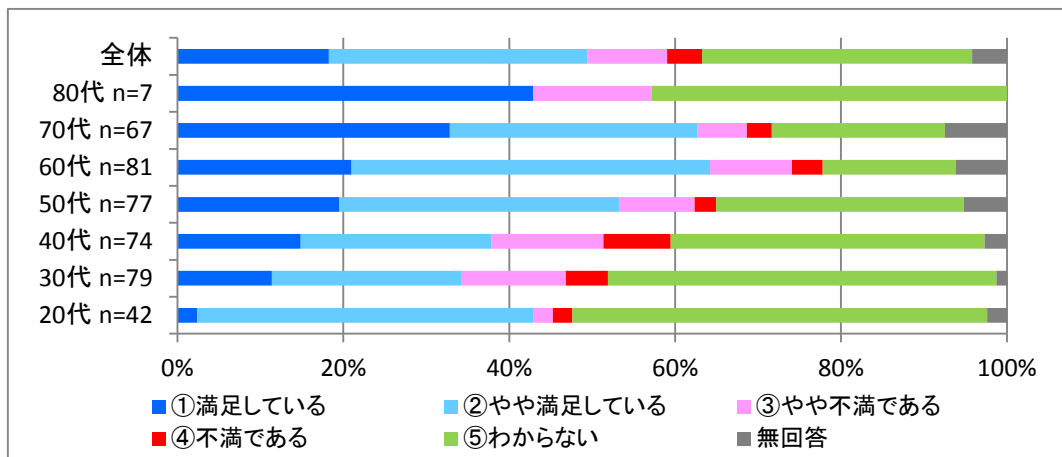
問 16 あなたは買い物をする時、エコバックを持参しますか？



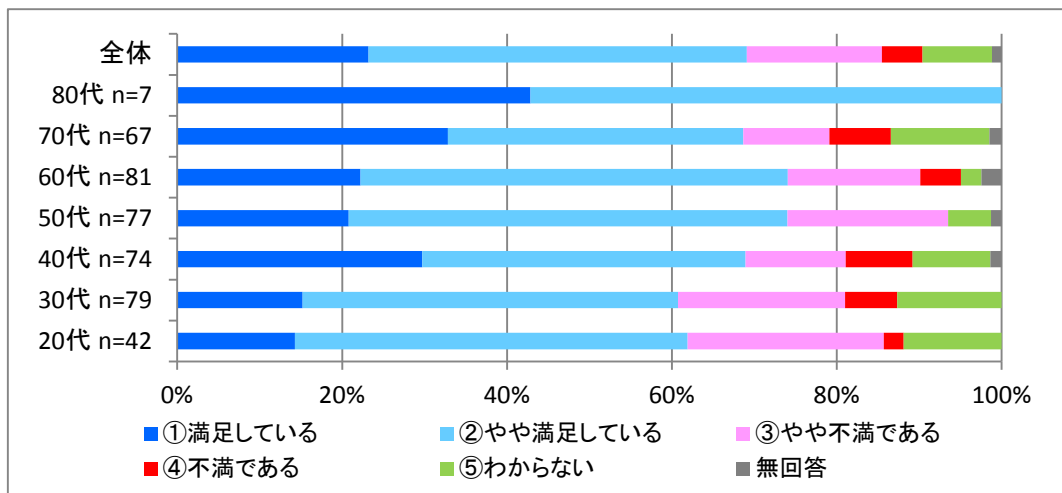
問 17 岐南町の3R（ごみ減量・再使用・リサイクル）への取り組みに満足していますか？



問 18 ごみ処理や3R（ごみ減量・再使用・リサイクル）の情報公開や提供に満足していますか？

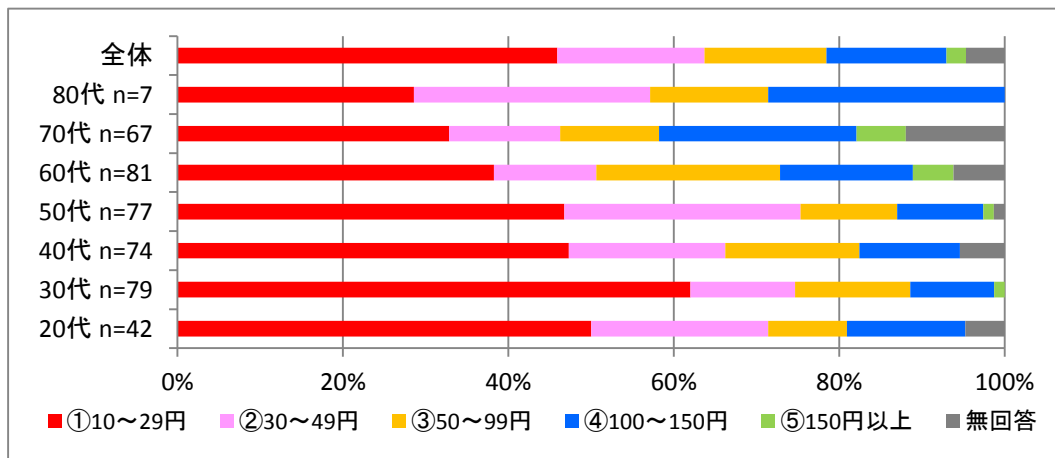


問 19 岐南町の街の清潔さに満足していますか？

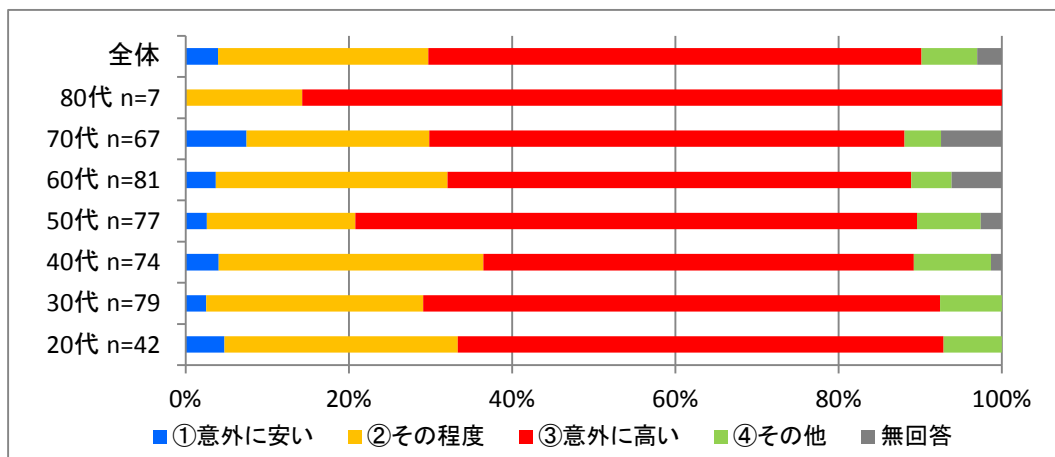


(6) ごみ処理費用について

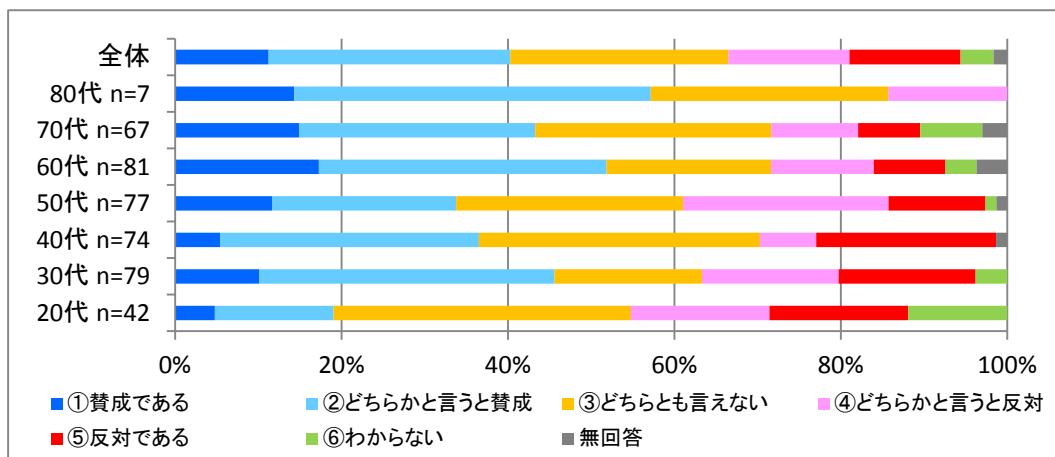
問 20 可燃ごみを処理する費用は、45 リットル 1 袋 (7kg) あたり 200 円程度必要です。あなたがごみ処理手数料として払っても良いと思う金額はいくらですか？



問 21 岐南町では平成 26 年度のごみ処理に約 3 億 8,000 万円を要しました。これを住民一人あたりに換算すると約 15,000 円になります。この費用についてどう思いますか？



問 22 ごみの減量化や費用負担の公平化を図るため、ごみの排出量に応じて各家庭がその費用の一部を負担する「ごみ袋の有料化」についてどのようにお考えですか？



資料5 パブリックコメント

パブリックコメントに寄せられたご意見と、意見に対する町の考え方は、以下に示すとおりです。

1. 概要

実施方法：岐南町パブリックコメント手続実施要綱による

意見募集期間：平成28年1月20日～平成28年2月19日

意見提出方法：書面の提出、郵送、ファクシミリ、電子メール

2. ご意見の件数

意見提出者数：1名

意見提出件数：10件

3. いただいたご意見の概要とそれに対する考え方

No.	意見の概要	町の考え方
1-1	<p>一般廃棄物システム評価支援ツールによる、生活系「不燃・粗大ごみ」等の排出量の評価値が類似市町村（岐阜県平均）と比べて低い。公共サービスという側面も理解できるが、ごみ処理有料化を行うべきではないか。</p> <p>（その理由）</p> <p>ごみ処理基本計画（施策2）及び目標達成の施策・18の取り組みには、家庭・事業系可燃ごみの有料化を検討及び実施すると示されているが、上記生活系「不燃・粗大ごみ」等には施策の計画が明記されていない。理由として、周辺自治体（岐阜市等）では有料化がすでに実施され、他地域からのごみの流入も懸念される。加えて、「不燃・粗大ごみ」等は収集運搬や破碎・選別に処理コスト負担が大きく、環境負荷削減の面からも優先的に施策を前倒しすべきと思われます。</p>	<p>不燃ごみ・粗大ごみの有料化を実施し、品目別の料金設定を行うためには、現状のステーション収集から、予約制による戸別回収方式もしくは持込施設への直接搬入方式へ変更する必要があります。</p> <p>現在、岐南町には町民の皆様が持ち込む不燃ごみ・粗大ごみを受入れることができる施設がないことから、搬入場所を含めた不燃ごみ・粗大ごみ有料化の手法の検討を施策に追加します。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
1-2	<p>前計画のごみ袋の有料化と適正な利用方法について、本計画の施策導入も含めての再検討と見直しをすべき。</p> <p>(その理由)</p> <p>現行の指定ごみ袋の価格帯(約 135 円/10 枚)はステークホルダーにとっては負担が軽い反面、排出抑制の意識の低下を招く。ごみ焼却処理コストは容量容積ではなく、従量制で決まる事を改めて周知し、ごみ処理手数料(収集運搬+焼却)の有料化が経済的インセンティブにより、ごみ減量化に繋がる。</p>	<p>ご指摘いただきましたごみ袋の有料化については、施策 1-3「可燃ごみ指定袋料金適正化の検討」として、効果的な料金設定の見直しを実施します。</p>
1-3	<p>前計画の再生利用率の減少実績の評価と本計画の再生利用率増加のための対策と見直し。</p> <p>イ. 資源集団回収奨励金制度の復活を再検討。</p> <p>ロ. 「雑がみ回収」本事業の普及啓発の促進</p> <p>ハ. 有価物(新聞・雑誌・段ボール・ペットボトル・アルミ缶等)の民間回収事業者への廃棄抑制</p> <p>ニ. 行政による資源・有価物の売却益の広報誌などに公開</p> <p>ホ. 潜在ごみ及び資源集団回収等の排出量の数値の把握(聞き取り調査含めて)</p> <p>(その理由)</p> <p>イ.に関しては、何より住民の方の大きな協力が得られる。</p> <p>ロ.はごみ減量化の切り札となり得る有効な施策ですから、中長期的事業として継続し、なお実績を定量化して評価していく必要がある。</p> <p>ハ.は市場(取引値)が有償化の現状である以上、自区内で売却し、その益を得るべき</p> <p>ニ.は売却益の金銭を定量化して、公表することで住民の理解と協力が得られる</p> <p>ホ.は実数として捉えることが難しい側面はあるにせよ、ごみ減量化の分析評価に役立つ</p>	<p>イ. 資源集団回収奨励金制度の復活については、考えておりません。</p> <p>ロ. 雑がみ分別収集については、ご意見の通り積極的に啓発活動を推進していきます。</p> <p>ハ. 民間回収業者が集めることは、廃棄物処理法で認められた事業活動であり、適正に資源化が行われている限りにおいて、本町が規制を行うことはできません。</p> <p>ニ. 広報誌「マイタウンぎなん」でごみ処理費用をお知らせしていますが、今後は資源物の売却益について掲載することも検討していきます。</p> <p>ホ. 潜在ごみ量の把握は困難であるため、実施しません。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
1-4	<p>段ボールコンポスト購入助成金の見直しが必要。</p> <p>(その理由)</p> <p>助成金制度の導入も古いですが、近年（H22～25）の実績比較をすると、激減している。“水切り”啓発効果は認められるが、いまひとつコストパフォーマンスや温室効果ガス低減効果が低い。</p>	<p>ダンボールコンポストは、庭や畑に設置する生ごみ処理容器と比較してその能力は低くなりますが、ダンボールで簡単に作ることができ、ベランダにも置ける大きさであるという利点があります。</p> <p>集合住宅の多い岐南町では、ダンボールコンポストの利用促進を行うことが、ごみ減量に有効な施策の1つであると考えています。</p>
1-5	<p>事業系ごみの有料化の検討・実施。分別意識の向上とごみ減量化の推進。</p> <p>(その理由)</p> <p>1日1人あたりのごみ総排出量と家庭系可燃ごみの評価値からも事業系ごみが多いと分析できる。当該地域の特性として商店・外食・オフィス・事業所が多く集まっている。故に多種多様な混合ごみとなり、分別が疎かになる傾向がある。事業系ごみは有料であり、事業者責任として適正に処理されていると思われがちですが、その費用負担は収集運搬手数料のみで、中間処理費のもう一つのコストである焼却処理手数料は税負担となっている。よって、事業系といえどもごみ減量に協力する義務を有すると思う。事業者の社会的拡大責任の観点からすれば、全額負担も本計画（H31年）で検討・実施も組み込まねばなりません。くわえて、ごみ減量化や再資源化の推進のための指導や立ち入り調査なども併せて実施し、目標達成して目指す必要があります。</p>	<p>ご指摘いただきました事業系ごみについては、事業系ごみの削減にむけて、施策 1-1「多量排出事業者への原料・資源化指導」として立入検査や指導を実施するとともに、施策 1-2「事業系可燃ごみの有料化」として処理費用の有料化を実施します。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
1-6	<p>地域連合である笠松町とは、地域特性も同意点が多く、また可燃ごみ積み替え施設や県外焼却処分も共有する諸事情があります。よって、2町が情報交換のみならず、共働と連携は欠かせません。2町連合の廃棄物減量等推進協議会の早期設立を望みます。</p> <p>(その理由)</p> <p>広域処理と言っても、隣接した地域連合が形成可能ですから、ごみ行政が互いに協働して、意思疎通を図り、効率よく連携することで、自治体のごみ処理コストの低減とごみ減量の目標達成が実現可能となるからです。</p>	<p>廃棄物減量等推進協議会は市町村が条例で定める機関であり、岐南町及び笠松町が共同で設立・運営を行うことは困難ですが、ごみ処理の共同運営については、両町で協議する機会を設け検討を行います。</p>
1-7	<p>高齢化社会を迎えて、独居世帯や要介護者等のごみ出しを支援する制度が必要になります。介護保険制度に頼るだけでなく、地域づくりの自主的な活動と捉え、制度作りと人材育成を推進すべき。別案として、後期高齢者からの大量廃棄が予想される“紙オムツ”の再生利用化の確立も長期目標として施策を計画してほしい。</p> <p>(その理由)</p> <p>介護保険制度下では、在宅介護員のサービスにも限りがあります。理想的には単独世帯や生涯を抱えた高齢者宅への戸別収集が早期に望まれます。</p>	<p>ご指摘いただきました高齢者宅への戸別収集については、施策 5-1「高齢者等訪問収集の検討」として、実施方法を検討します。</p> <p>紙おむつの再資源化については、長期目標として今後検討します。</p>
1-8	<p>自区内環境保全とごみ減量化の更なる推進活動を実践するために、「ごみ減量化推進員」制度を設立し、校区に1名(計3名)を委嘱して環境美化監視員との連携を図る。</p> <p>(その理由)</p> <p>環境美化監視員の活動(監視活動・分別指導等)と協働してスキルアップを図る。</p> <p>環境保全という分野でのごみ問題・地球温暖化対策・省資源・省エネなどの側面で、総括的なフォローアップに繋げていく。</p>	<p>ボランティアによる自主活動に対して育成支援をするなど、環境美化監視員と連携し協働できる様検討します。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
1-9	<p>前計画の「雑がみ回収モデル事業」の成果や評価の検証し、来年度事業にそれら反省や課題も踏まえて繋げてほしい。本計画においては「雑がみ」+「紙製容器包装類」を混合古紙として一本化して、再生利用の効率化を目指してほしい。</p> <p>(その理由)</p> <p>現在のフローでは「雑がみ」は古紙原料として直接資源再生者へ。一方「紙製容器包装類」は容り法の下、許可業者による選別保管の後、資源再生者へ(行政ルート) これらを一本化することは、行政の適正な中間処理として問題はないと思う。住民においては、紙類の適正分別排出において周知、理解されにくい面があるからです。簡素化を図り、よりスムーズな適正処理ができるようなフローの見直しが必要です。</p>	<p>現在は雑がみと紙製容器包装の資源再生業者が異なるため、今後検討します。</p>
1-10	<p>再生利用率の将来予測の中で、来年度より民間焼却施設から発生する燃え殻(スラッジ)や飛灰の焼成による土木資材としての再資源化で、大幅な再生利用率UPが見込まれる。</p> <p>現行の羽島衛生組合との比較(処理方式・焼却コストなど)も併せてもう少し詳しくご説明ください。</p>	<p>廃棄物処理法で一般廃棄物の処理は自らの区域内で行うことが原則とされています。</p> <p>このため、岐阜羽島衛生施設組合のごみ処理施設稼働停止に伴う可燃ごみ処理の民間業者への委託は例外的な措置であり、処理方式やコストの比較を行うことは適切ではないと考えます。</p> <p>なお、次期ごみ処理施設の建設においても、資源化率が高く最終処分量が少なくなる熔融方式を採用することとなっています。</p>

一般廃棄物処理基本計画

平成28年2月

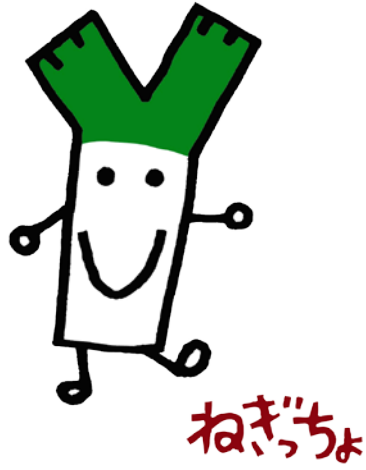
発行：岐阜県 岐南町

編集：民生部 住民環境課

岐阜県羽島郡岐南町八剣7丁目107番地

TEL：058-247-1331(代表)

FAX：058-247-9904



この計画書の本文は古紙パルプ配合率 100%・白色度 72%の
エコマーク事務局認定・環境保全型商品を使用しています。